
京田辺市
子ども・子育て支援に関するアンケート調査
(就学前児童の保護者)
報告書

令和6（2024）年8月

目次

I 調査概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の実施について.....	1
3. 調査票の回収状況.....	1
4. 留意点.....	1
II 調査結果	2
1. お子さんとご家族について.....	2
2. ご家族の生活状況について.....	6
3. お子さんの育ちをめぐる状況について.....	9
4. お子さんの保護者の就労状況について.....	19
5. お子さんの平日の定期的な教育・保育の利用状況.....	28
6. お子さんの長期休暇中の定期的な教育・保育の利用希望について.....	39
7. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について.....	45
8. お子さんの病気の際の対応について.....	52
9. お子さんの不定期の教育・保育利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について ..	57
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	66
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	74
12. 子育てのストレスについて	89
13. 子育て支援対策の全般について	93
III 調査結果からの分析	100
1. ご家族の生活状況について.....	100
2. お子さんの育ちをめぐる状況について.....	100
3. お子さんの保護者の就労状況について.....	100
4. お子さんの平日の定期的な教育・保育の利用状況.....	101
5. お子さんの長期休暇中の定期的な教育・保育の利用希望について.....	101
6. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について.....	101
7. お子さんの病気の際の対応について.....	102
8. お子さんの不定期の教育・保育利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について ..	102
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	102
10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	103
11. 子育てのストレスについて	103
12. 子育て支援対策の全般について	104

I 調査概要

1. 調査の目的

「(仮称) 京田辺市こども計画」の策定に向け、京田辺市の実態を把握し、新たな計画期間の「量の見込み」や「確保方策」などを設定する必要があるため、「子ども・子育て支援に関するアンケート調査（就学前児童の保護者）」を実施しました。

2. 調査の実施について

調査対象者	就学前児童の保護者（無作為抽出）
調査期間	令和6（2024）年2月22日（木）～令和6（2024）年3月7日（木）
調査方法	郵送による配布、郵送・Webによる回答

3. 調査票の回収状況

調査票	調査対象者数（配布数）	有効回収数	有効回収率
就学前児童の保護者	1,500世帯	702件	46.8%

4. 留意点

分析結果をみる際の留意点は以下のとおりとなっています。

- ① 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
- ② 単数回答の場合、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
- ③ 複数回答の場合、図中にMA（Multiple Answer=いくつでも）、3LA（3 Limited Answer=3つまで）と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。
- ④ 表内において、全体・属性ごとに最も高い項目を紺色、2番目に高い項目を水色としています。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号をつけています。

II 調査結果

1. お子さんとご家族について

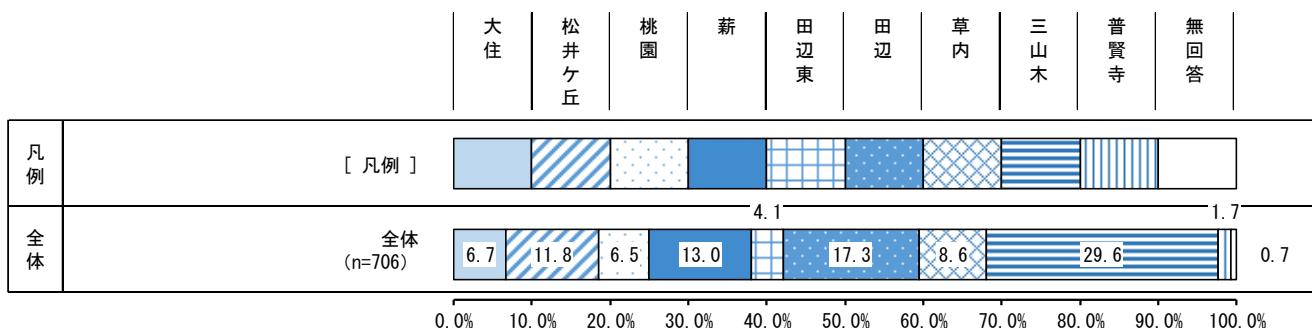
(1) 小学校区

問1 宛名のお子さんのお住まいの小学校区はどこですか。

【全体】

- 小学校区について、「三山木」が 29.6%で最も多く、次いで「田辺」が 17.3%、「薪」が 13.0%となっています。

【小学校区】



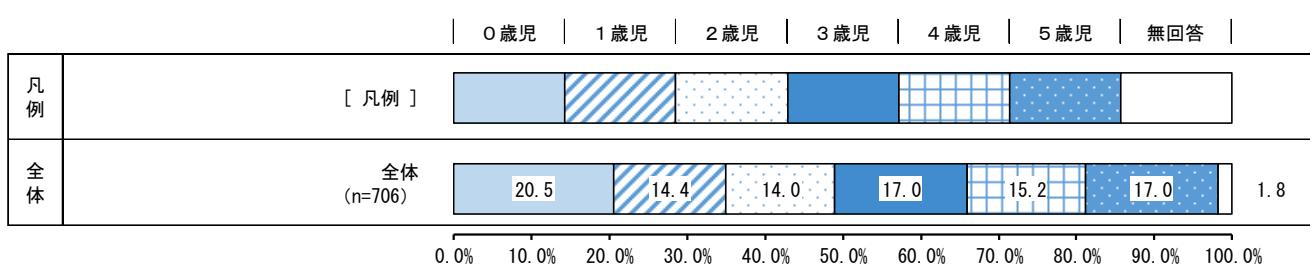
(2) お子さんの生年月日

問2 宛名のお子さんの生年月をお答えください。

【全体】

- お子さんの年齢について、「0歳児」が 20.5%で最も多く、次いで「3歳児」「5歳児」が 17.0%、「4歳児」が 15.2%となっています。

【お子さんの年齢】

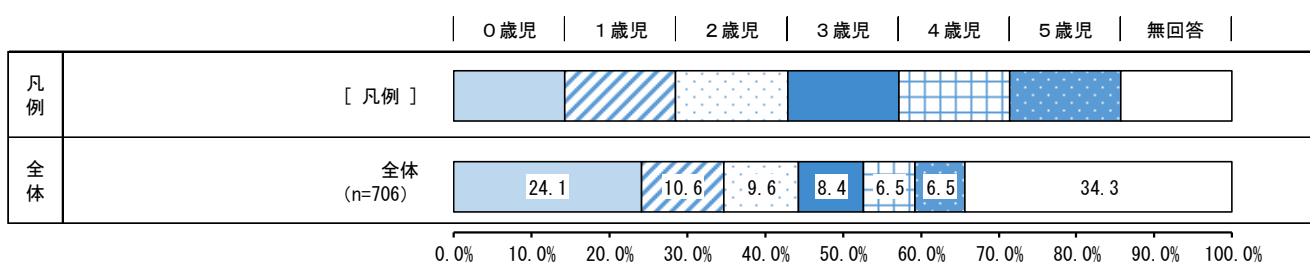


問3-2 2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をお答えください。

【全体】

- 末子の年齢について、「0歳児」が 24.1%で最も多く、次いで「1歳児」が 10.6%、「2歳児」が 9.6%となっています。

【末子の年齢】



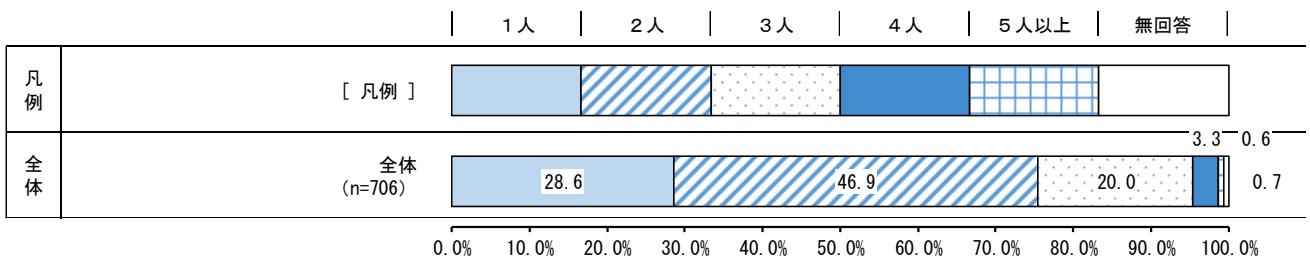
(3) お子さんの人数

問3-1 宛名のお子さんを含め、お子さんは何人ですか。

【全体】

- きょうだいの人数について、「2人」が 46.9%で最も多く、次いで「1人」が 28.6%、「3人」が 20.0%となっています。

【きょうだいの人数】



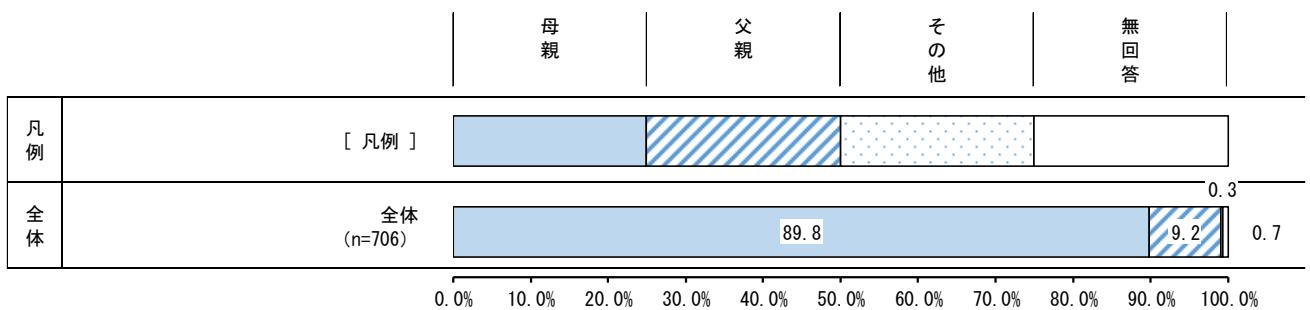
(4) 保護者について

問4 調査票にご回答いただく方はどなたですか。

【全体】

- 回答者について、「母親」が 89.8%で最も多く、次いで「父親」が 9.2%、「その他」が 0.3%となっています。

【回答者】

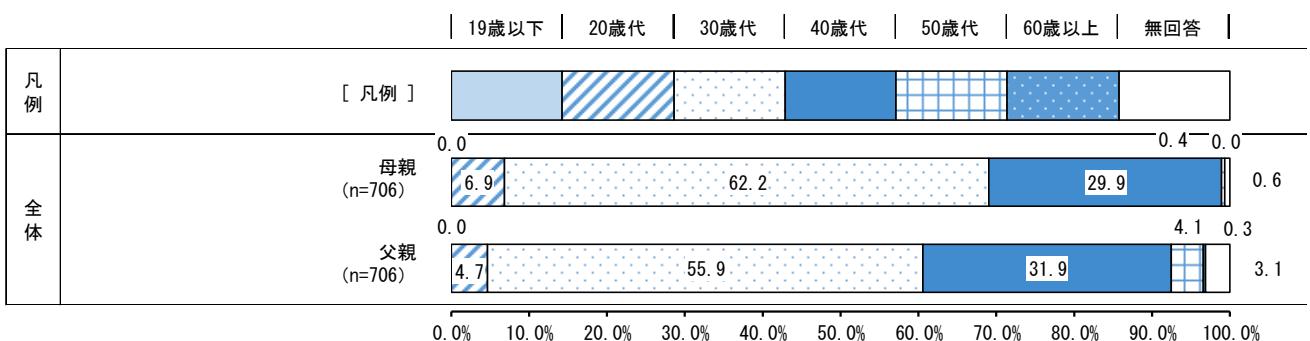


問6 該当する年齢階層についてお答えください。

【全体】

- 年齢階層について、母親、父親ともに「30歳代」が最も多く、次いで「40歳代」、「20歳代」となっています。

【年齢階層】

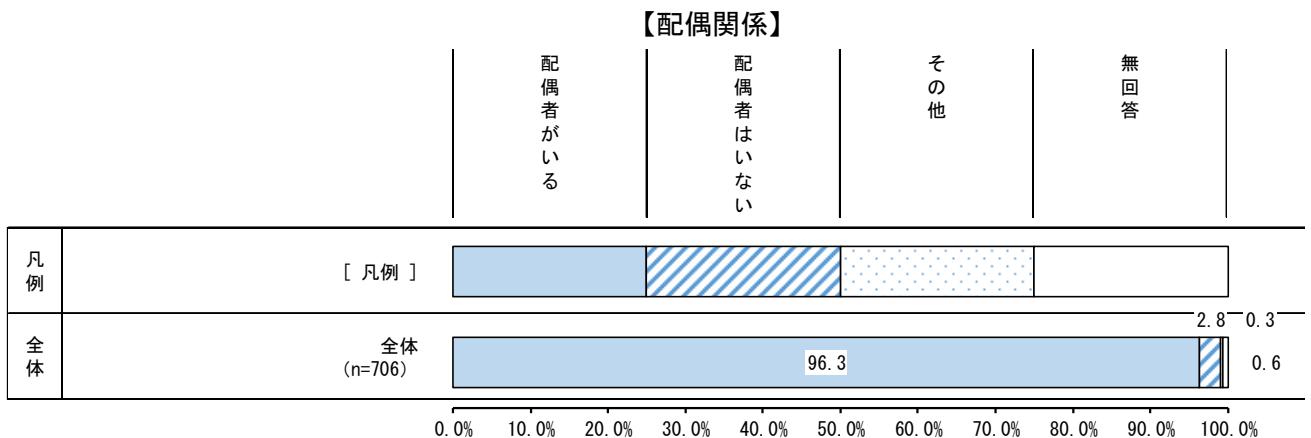


(5) 婚姻状況

問5 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

【全体】

- 配偶関係について、「配偶者がいる」が 96.3%で最も多く、次いで「配偶者はいない」が 2.8%、「その他」が 0.3%となっています。

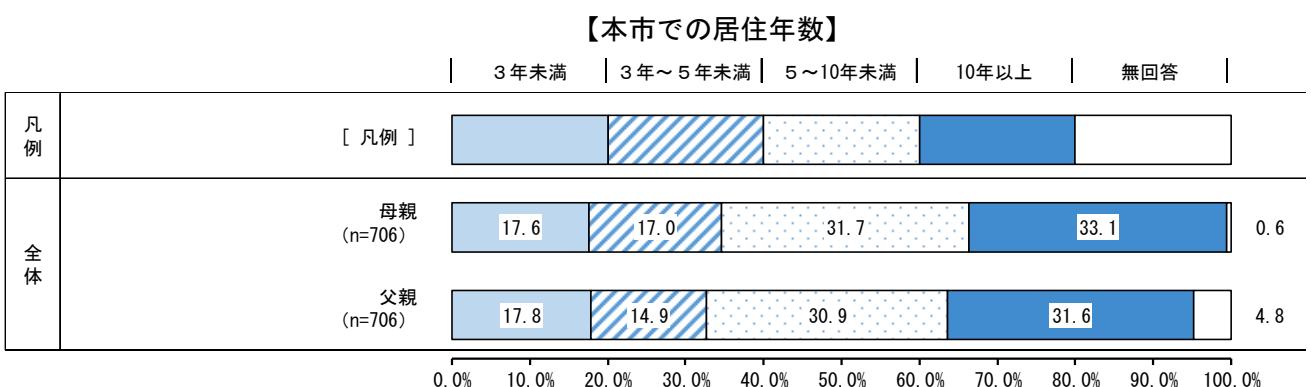


(6) 本市の居住年数

問7 本市での居住年数をお答えください。

【全体】

- 本市での居住年数について、母親、父親ともに「10 年以上」が最も多く、次いで「5~10 年未満」、「3 年未満」となっています。

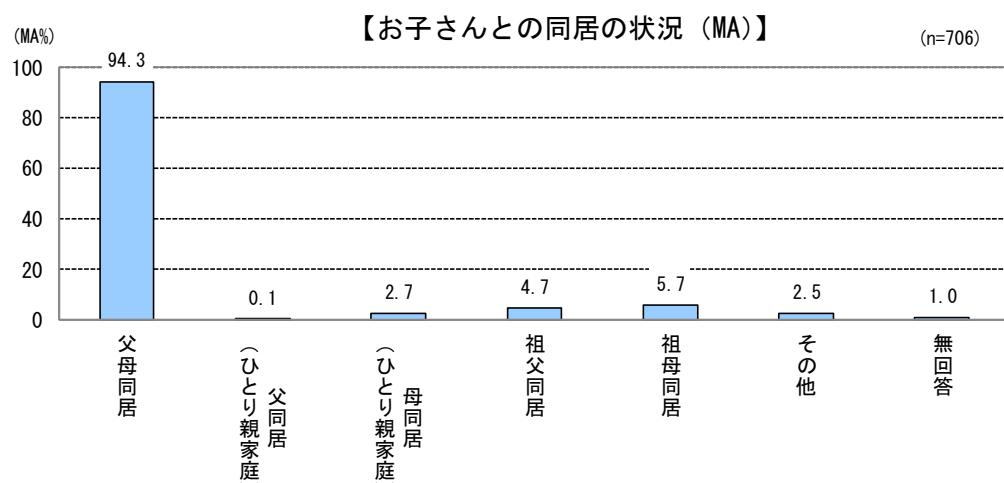


(7) 同居家族

問8 お子さんとの同居の状況についてお答えください。 (MA)

【全体】

- お子さんとの同居の状況について、「父母同居」が 94.3%で最も多く、次いで「祖母同居」が 5.7%、「祖父同居」が 4.7%となっています。
- その他の内訳として、父が単身赴任（6 件）、曾祖父母（4 件）、おじ・おば（3 件）、祖父母（1 件）、きょうだい（1 件）、父が別居（1 件）となっています。

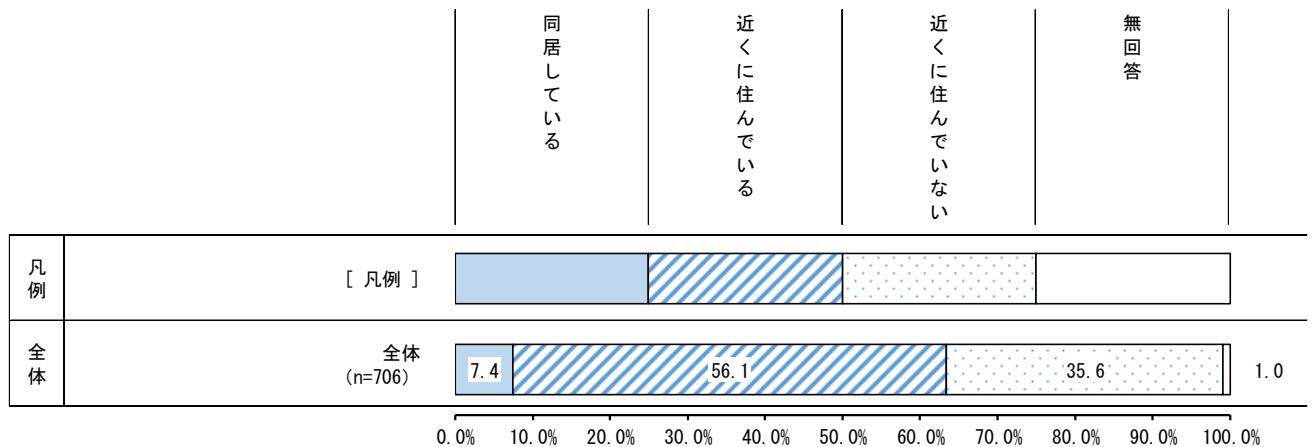


問9 お子さんの祖父母が近くにお住まいですか。

【全体】

- 祖父母の居住先について、「近くに住んでいる」が 56.1%で最も多く、次いで「近くに住んでいない」が 35.6%、「同居している」が 7.4%となっています。

【祖父母の居住先】



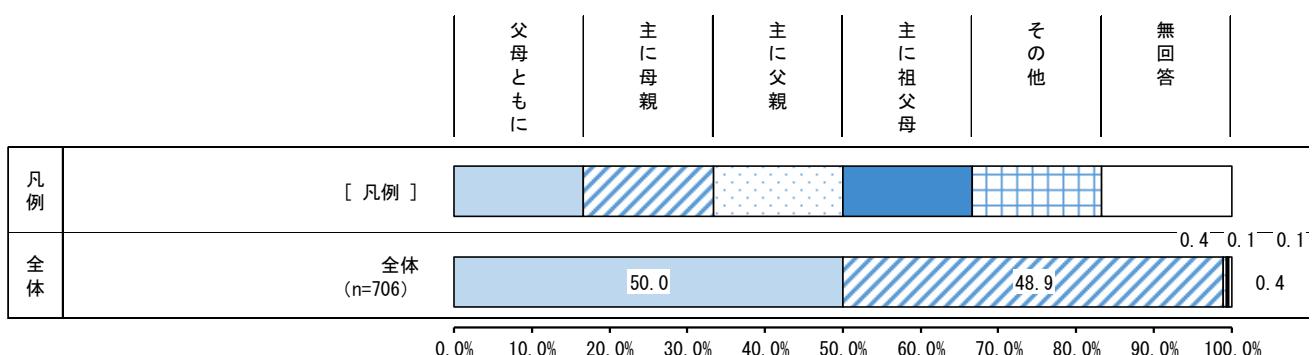
(8) 子育てを主に行っている人

問10 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。

【全体】

- 子育てを主に行っている人について、「父母ともに」が 50.0%で最も多く、次いで「主に母親」が 48.9%、「主に父親」が 0.4%となっています。

【子育てを主に行っている人】



2. ご家族の生活状況について

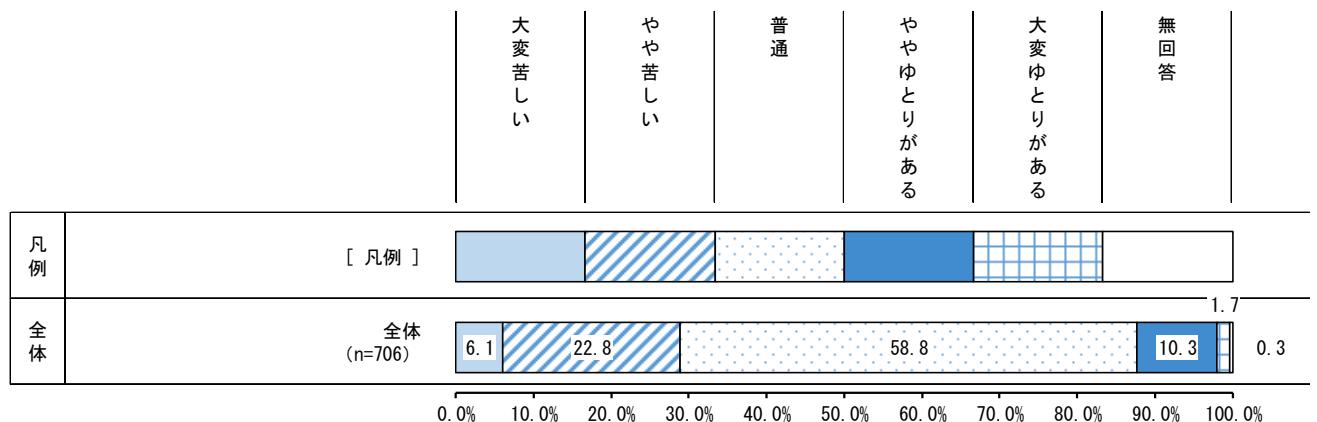
(1) 暮らしの状況についての認識

問11 あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

【全体】

- 現在の暮らしの状況で感じることについて、「普通」が 58.8%で最も多く、次いで「やや苦しい」が 22.8%、「ややゆとりがある」が 10.3%となっています。
- 「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい人”は 28.9%となっています。

【現在の暮らしの状況で感じること】

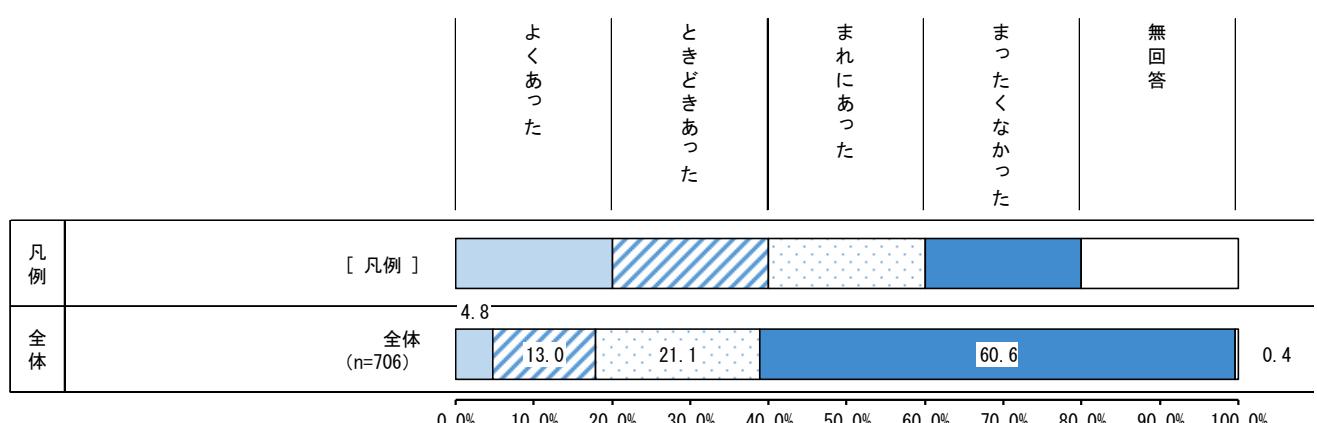


問12 あなたの世帯では、過去1年の中に、急な出費などで家計のやりくりができないことがありましたか。

【全体】

- 家計のやりくりができなかつたことについて、「まったくなかった」が 60.6%で最も多く、次いで「まれにあった」が 21.1%、「ときどきあつた」が 13.0%となっています。

【家計のやりくりができなかつたこと】

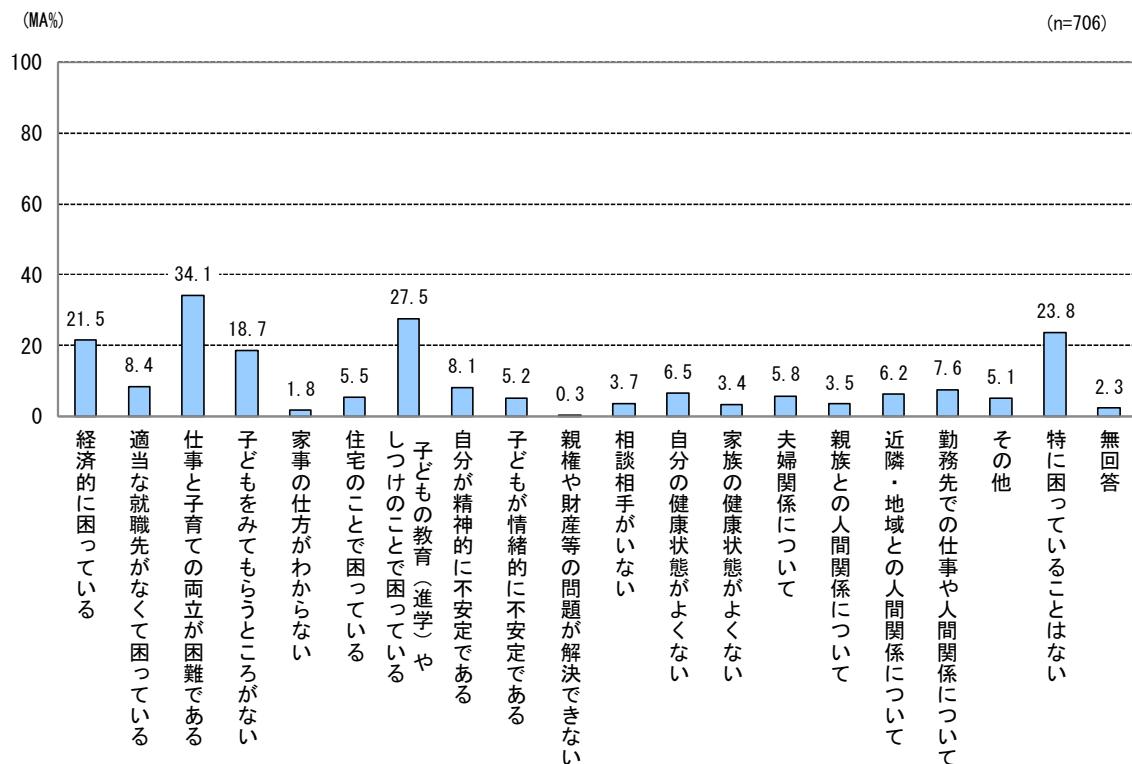


問13 あなたは、現在、どのような悩みや不安を感じていますか。（MA）

【全体】

- 悩みや不安を感じることについて、「仕事と子育ての両立が困難である」が 34.1%で最も多く、次いで「子どもの教育（進学）やしつけのことで困っている」が 27.5%、「特に困っていることはない」が 23.8%となっています。
- その他の意見の内訳として、自身や配偶者の親（4件）、子どもの遊び場や交流（4件）、子どもの特性やケア（4件）、預け先/保育園/教育環境（3件）、収入（3件）、市の支援・補助（3件）、仕事・職場・就労（3件）、頼れる人・場所がない（3件）、家事・育児時間（3件）、ママ友がいない（2件）、自分の時間（2件）となっています。また、配偶者との関係、安心・安全、公共交通機関が少ないなどの意見も挙がっています。

【悩みや不安を感じること（MA）】



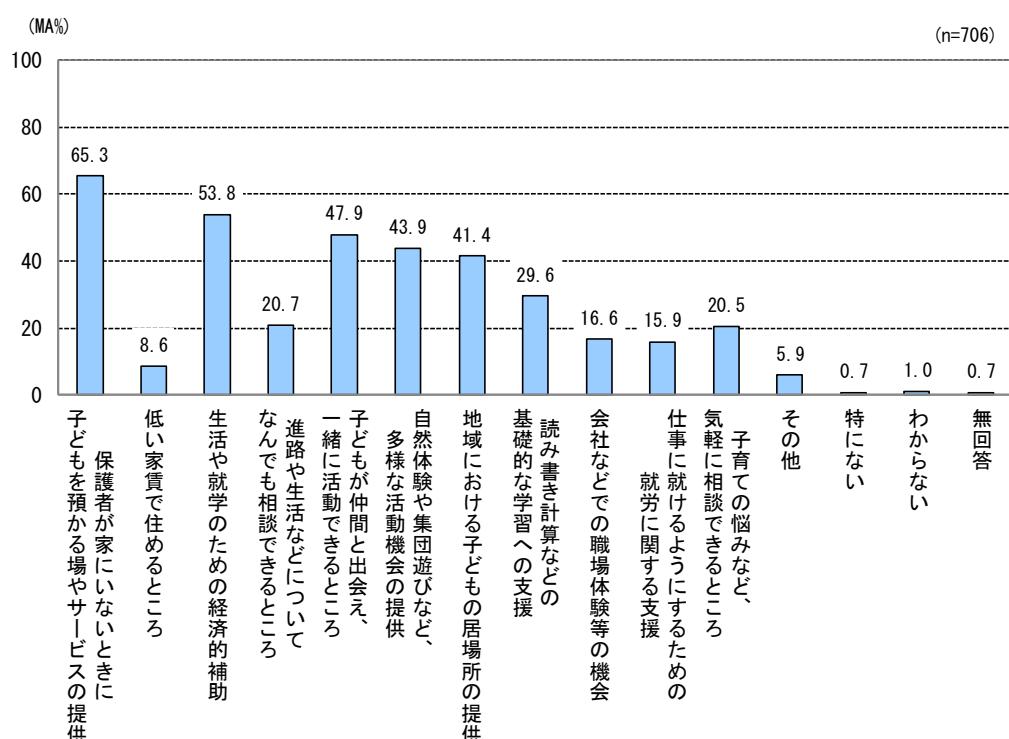
(2) 子育て支援

問14 子どもや保護者にとって、現在または将来的に、どのような支援があると良いと思いますか。 (MA)

【全体】

- あると良いと思う支援について、「保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供」が 65.3%で最も多く、次いで「生活や就学のための経済的補助」が 53.8%、「子どもが仲間と出会え、一緒に活動できるところ」が 47.9%となっています。
- その他の意見の内訳として、子育て支援/政策（8件）、一時預かり/泊り保育/病児保育（8件）、児童用施設（8件）、小中学校/学習支援（5件）、保育園/幼稚園について（4件）、保育・教育無償化（2件）、学童保育（2件）となっています。また、習い事を気軽にできる環境、学童の給食化・弁当委託、土曜保育の延長、母親同士のつながりなどの意見も挙がっています。

【あると良いと思う支援 (MA)】



3. お子さんの育ちをめぐる状況について

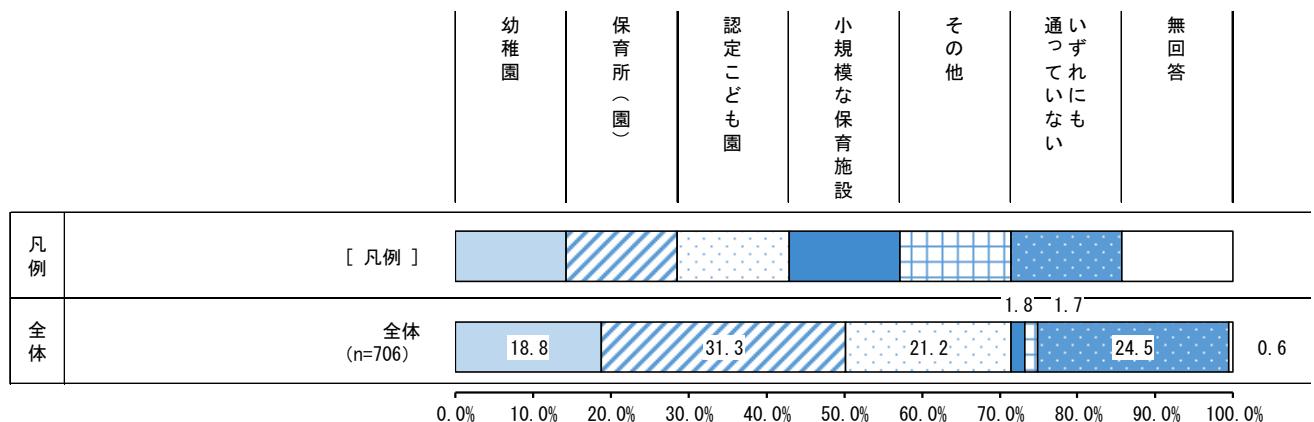
(1) お子さんが通っている施設

問15 お子さんが日常的に通っている施設はどれですか。

【全体】

- お子さんが日常的に通っている施設について、「保育所（園）」が31.3%で最も多く、次いで「いざれにも通っていない」が24.5%、「認定こども園」が21.2%となっています。
- その他の内訳として、認可外保育施設（5件）、療育や発達支援（4件）となっています。

【お子さんが日常的に通っている施設】



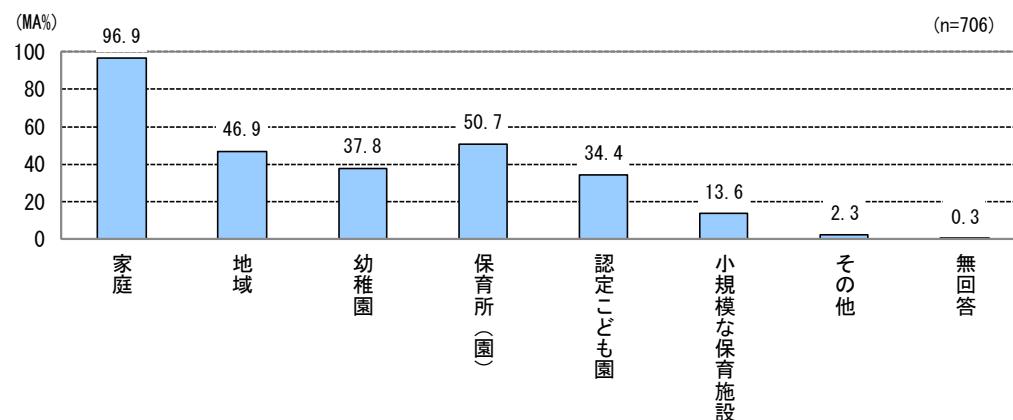
(2) 子育てに影響する環境

問16 お子さんの子育てに大きく影響すると思われる環境についてお答えください。(MA)

【全体】

- 子育てに大きく影響すると思われる環境について、「家庭」が96.9%で最も多く、次いで「保育所（園）」が50.7%、「地域」が46.9%となっています。
- その他の内訳として、療育・発達支援（6件）、友だち（2件）、認可外保育（2件）、環境（1件）、職場（1件）となっています。

【子育てに大きく影響すると思われる環境 (MA)】

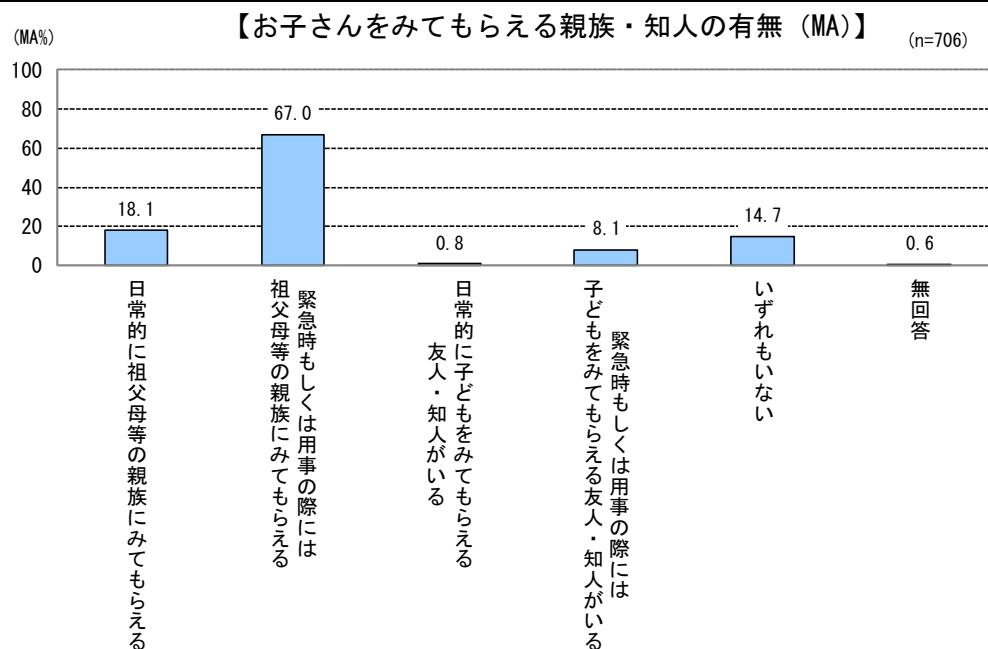


(3) お子さんをみてもらえる環境

問17 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(MA)

【全体】

- お子さんをみてもらえる親族・知人の有無について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 67.0%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 18.1%、「いずれもいない」が 14.7%となっています。



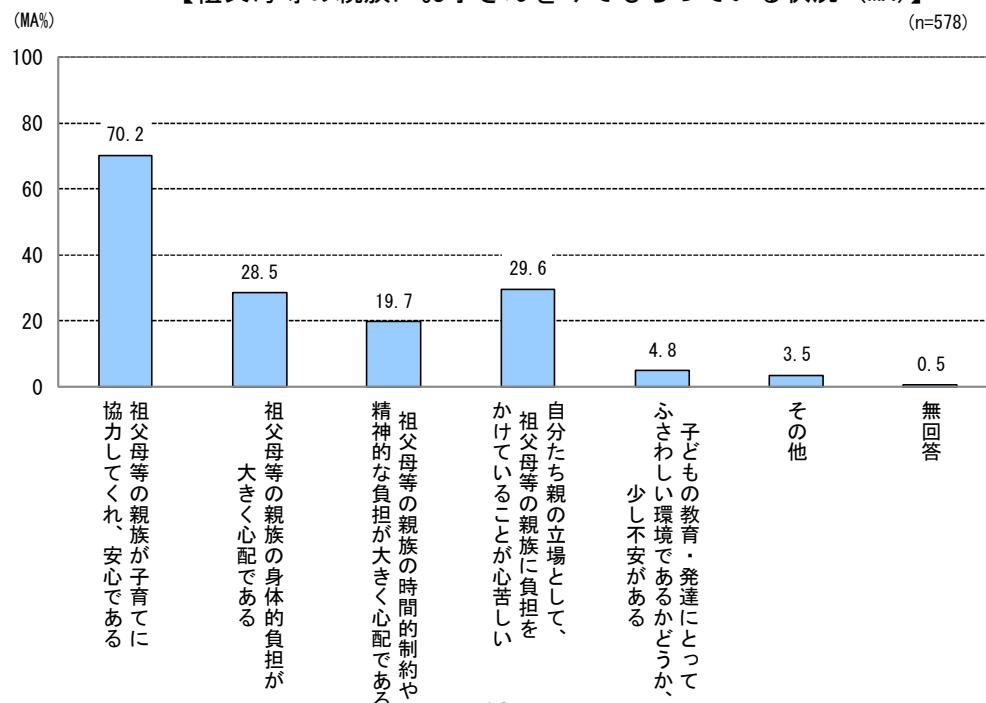
問17-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(MA)

(問17で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」を選んだ方)

【全体】

- 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、「祖父母等の親族が子育てに協力してくれ、安心である」が 70.2%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、祖父母等の親族に負担をかけていることが心苦しい」が 29.6%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が 28.5%となっています。
- その他の内訳として、遠方であるため頼りにくい（5件）、祖父母の年齢・病気等のため頼りにくい（5件）、頼りにくい・みてもらいづらい（4件）、できれば頼りたくない（2件）となっています。また、経済的負担、任せている、ほとんどみてもらわないなどの意見も挙がっています。

【祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況 (MA)】

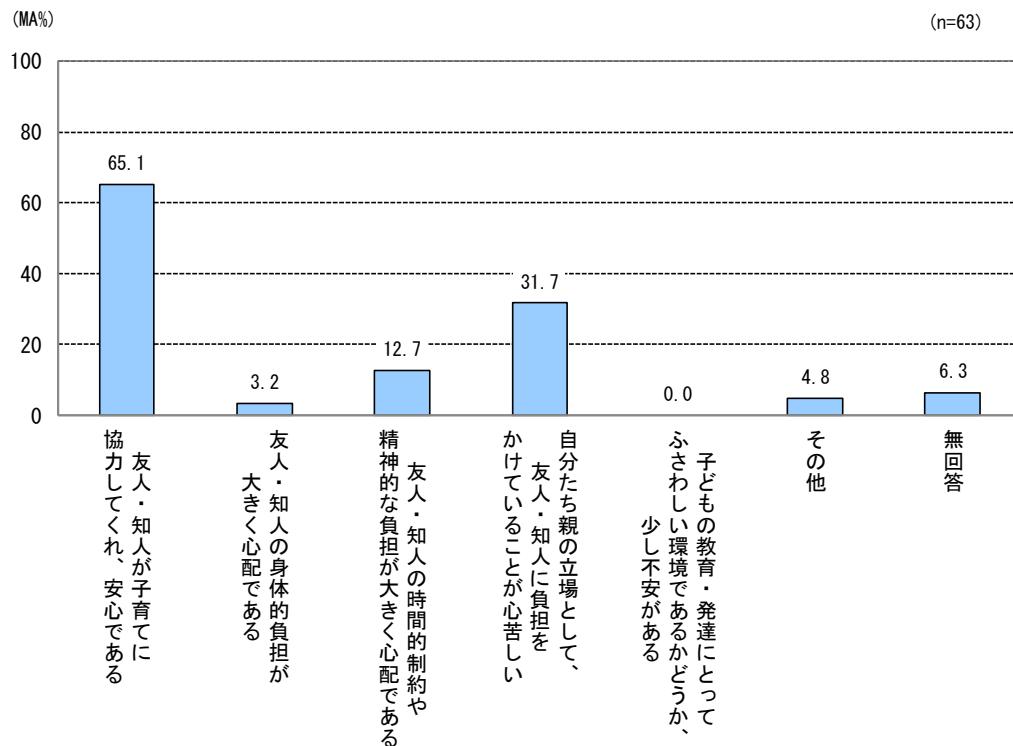


問17-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(MA)
 (問17で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」を選んだ方)

【全体】

- 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、「友人・知人が子育てに協力してくれ、安心である」が 65.1% で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、友人・知人に負担をかけていることが心苦しい」が 31.7%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 12.7% となっています。

【友人・知人にお子さんをみてもらっている状況 (MA)】



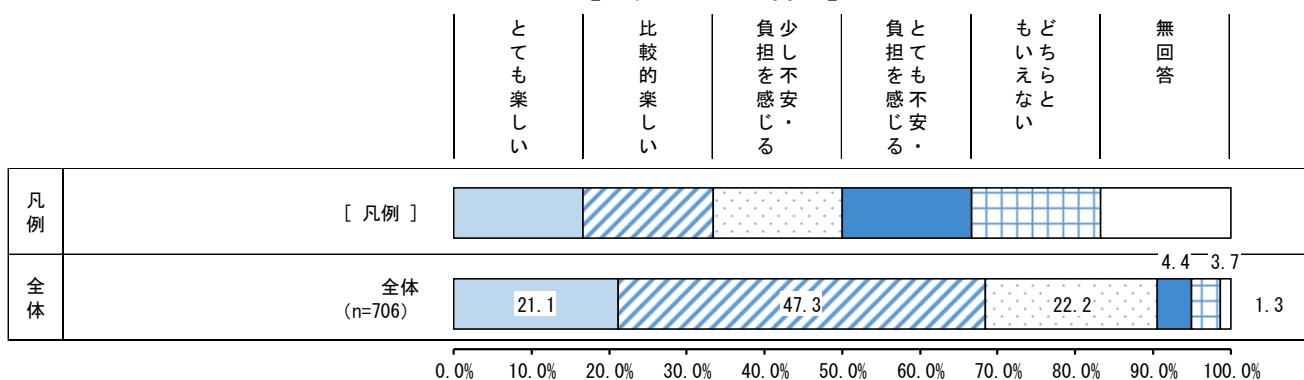
(4) 子育てへの気持ち

問18 子育てについて、今のお気持ちに一番近いものをお答えください。

【全体】

- 子育てへの気持ちについて、「比較的楽しい」が 47.3% で最も多く、次いで「少し不安・負担を感じる」が 22.2%、「とても楽しい」が 21.1% となっています。
- 「とても楽しい」「比較的楽しい」を合わせた“楽しい人”は 68.4% となっています。
- 「少し不安・負担を感じる」「とても不安・負担を感じる」を合わせた“不安・負担を感じる人”は 26.6% となっています。

【子育てへの気持ち】



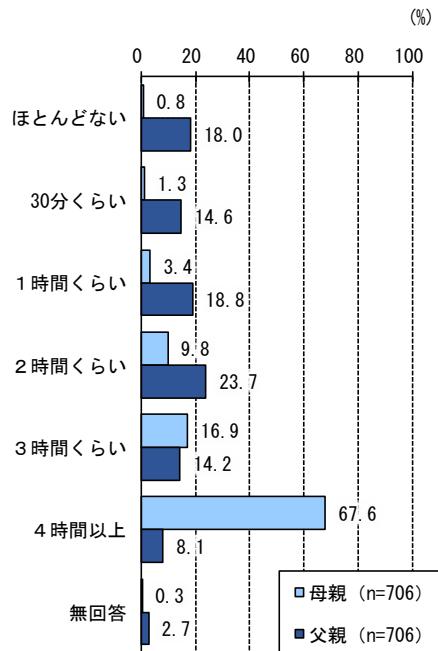
(5) お子さんと関わる時間

問19-1 宛名のお子さんと平日に関わる時間（会話、食事、一緒にテレビを見る、一緒に遊ぶ、風呂に入る、身の回りの世話、勉強を見るなど）はだいたいどのくらいありますか。

【全体】

- お子さんと平日に関わる時間について、母親では「4時間以上」が67.6%で最も多く、父親では「2時間くらい」が23.7%で最も多くなっています。

【お子さんと平日に関わる時間】

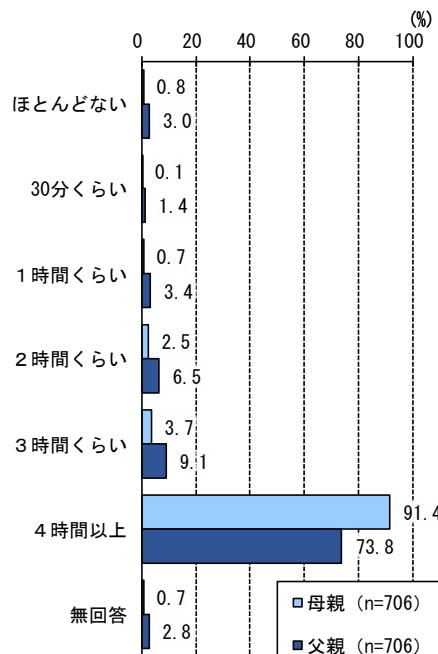


問19-2 宛名のお子さんと休日に関わる時間（会話、食事、一緒にテレビを見る、一緒に遊ぶ、風呂に入る、身の回りの世話、勉強を見るなど）はだいたいどのくらいありますか。

【全体】

- お子さんと休日に関わる時間について、母親、父親ともに「4時間以上」が最も多く、次いで「3時間くらい」、「2時間くらい」となっています。

【お子さんと休日に関わる時間】



(7) 子育てへの不安

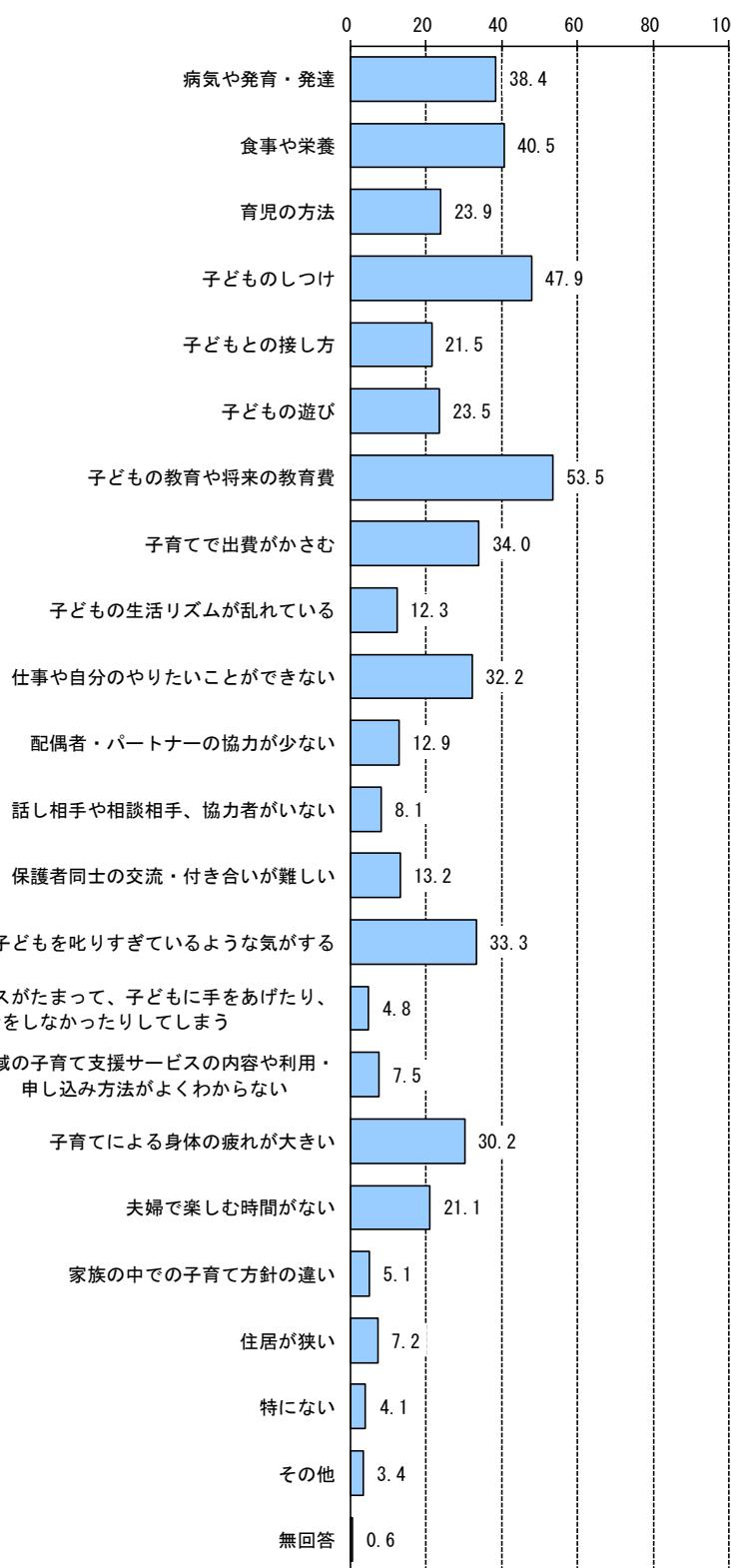
問20 お子さんを育てていて、あなたが日頃悩んでいること、不安に感じることはどのようなことですか。(MA)

【全体】

- 悩んでいることや不安に感じることについて、「子どもの教育や将来の教育費」が 53.5%で最も多く、次いで「子どものしつけ」が 47.9%、「食事や栄養」が 40.5%となっています。
- その他の内訳として、子どもとの時間（5件）、子育てに関して・母親として（5件）、就労・仕事に関して（4件）、保育園・預け先（3件）、家族との関係性（2件）、自身の通院・病気治療（2件）、家事、子育てへのストレス（2件）、情報収集（1件）となっています。

【悩んでいることや不安に感じること (MA)】

(n=706) (MA%)



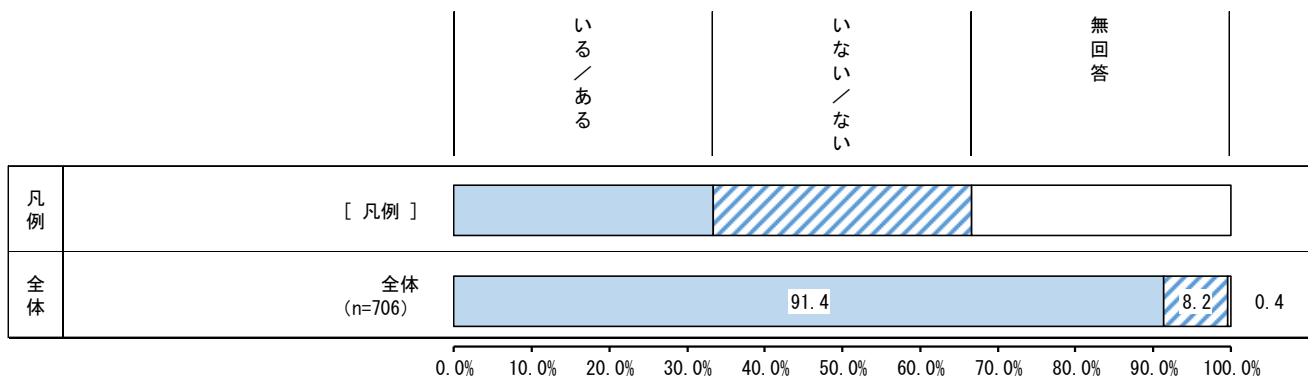
(8) 相談できる人・場所

問21 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。

【全体】

- 相談できる人や場所の有無について、「いる／ある」が 91.4%、「いない／ない」が 8.2%となって います。

【相談できる人や場所の有無】



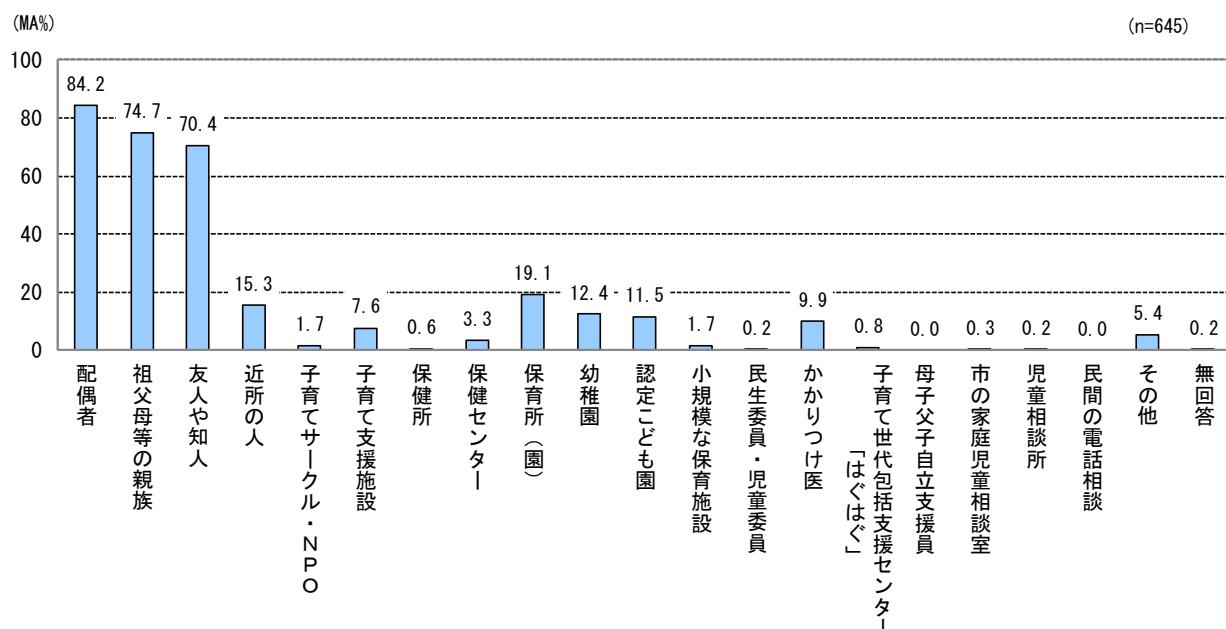
問21-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（MA）

（問21で「1. いる／ある」を選んだ方）

【全体】

- 相談先について、「配偶者」が 84.2%で最も多く、次いで「祖父母等の親族」が 74.7%、「友人や知人」が 70.4%となっています。
- その他の内訳として、発達支援事業所・療育施設（12 件）、職場（同僚・同世代）（7 件）、SNS やインターネット（3 件）、母乳育児相談室・助産師（3 件）、ファミリーサポート（2 件）となっています。

【相談先（MA）】



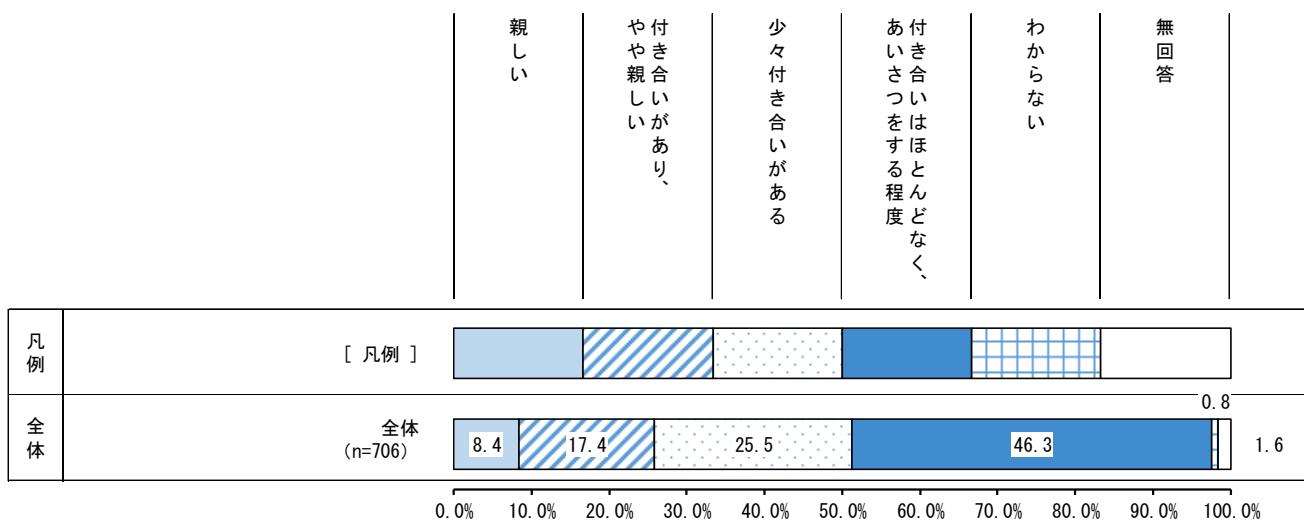
(9) 地域とのつながり

問22 あなたのご家庭では、ご近所や地域の人々とのお付き合いはどうですか。

【全体】

- 近所や地域の人々との付き合いについて、「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」が 46.3%で最も多く、次いで「少々付き合いがある」が 25.5%、「付き合いがあり、やや親しい」が 17.4%となっています。

【近所や地域の人々との付き合い】

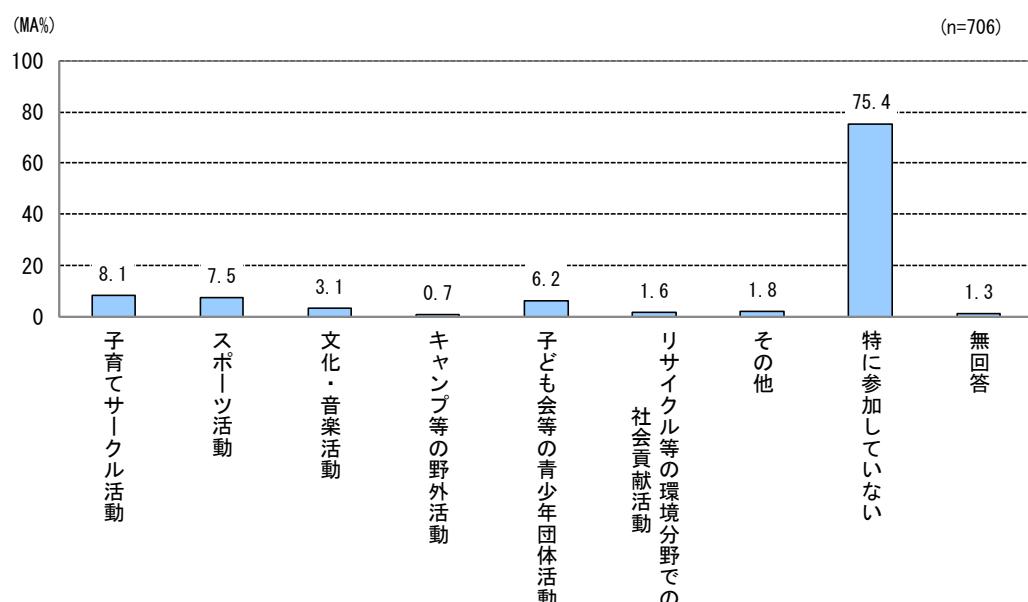


問23 お子さんは次の地域での催しへ参加していますか。 (MA)

【全体】

- お子さんの地域の催しへの参加について、「特に参加していない」が 75.4%で最も多く、次いで「子育てサークル活動」が 8.1%、「スポーツ活動」が 7.5%となっています。
- その他の内訳として、地域イベント（5件）、子供会（2件）、清掃（2件）親子教室（1件）、学童（1件）となっています。

【お子さんの地域の催しへの参加 (MA)】



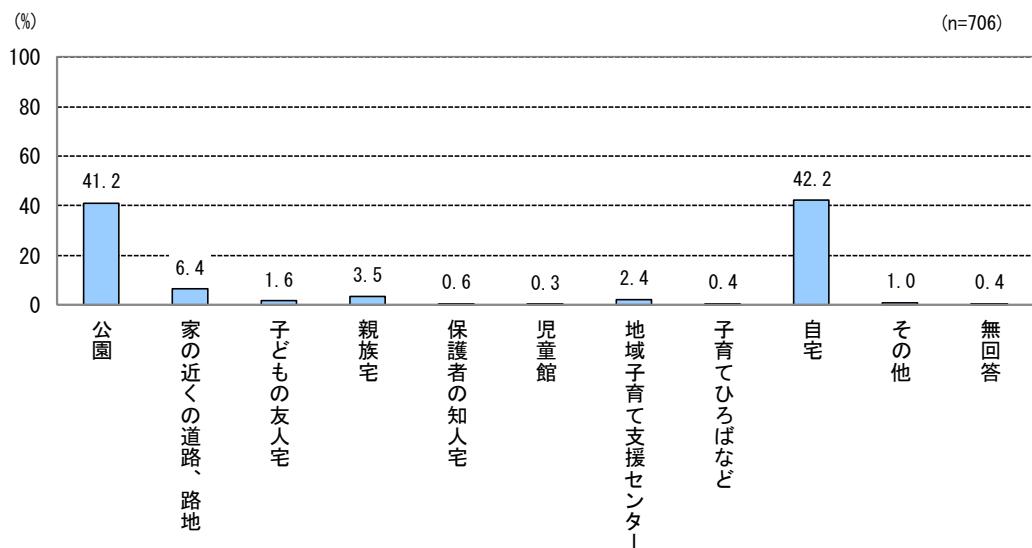
(10) お子さんの遊び場

問24 お子さんはどこで遊ぶことが多いですか。

【全体】

- お子さんの遊ぶ場所について、「自宅」が 42.2%で最も多く、次いで「公園」が 41.2%、「家の近くの道路、路地」が 6.4%となっています。
- その他の内訳として、保育所・幼稚園・小学校（7件）、商業施設（5件）、畠・空き地・山・川・里山・田んぼ・キャンプ場（3件）となっています。

【お子さんの遊ぶ場所】

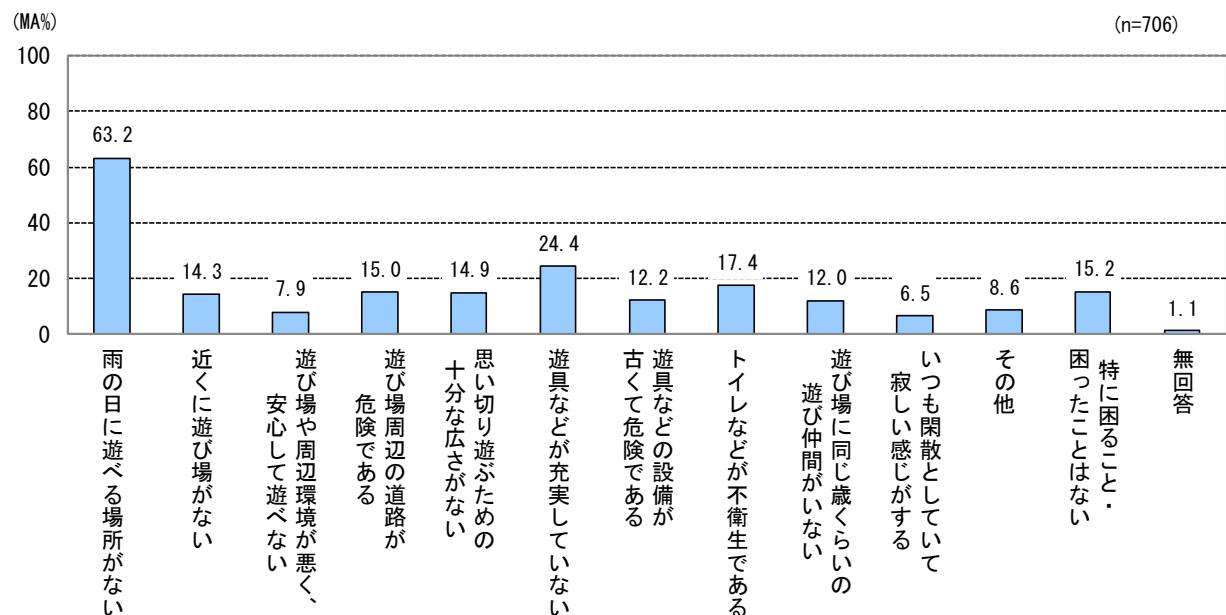


問25 遊び場で困ること・困ったことは何ですか。(MA)

【全体】

- 遊び場で困ること・困ったことについて、「雨の日に遊べる場所がない」が 63.2%で最も多く、次いで「遊具などが充実していない」が 24.4%、「トイレなどが不衛生である」が 17.4%となっています。
- その他の内訳として、公園の整備や公園が非衛生的（13 件）、駐車・駐輪スペースがない（12 件）、ボール遊びができる公園がない（10 件）、大きな子どもの遊び方（7 件）、土日に遊べる室内の場所がない（7 件）、雨や日差しをよけて遊ぶ場所がない（3 件）、トラブルが多い（3 件）、いろんな年齢の子どもが遊べる場所がない（2 件）、遊具（2 件）となっています。

【遊び場で困ること・困ったこと (MA)】



(11) お子さんと外出

問26 お子さんと外出する際に、困ること・困ったことは何ですか。(MA)

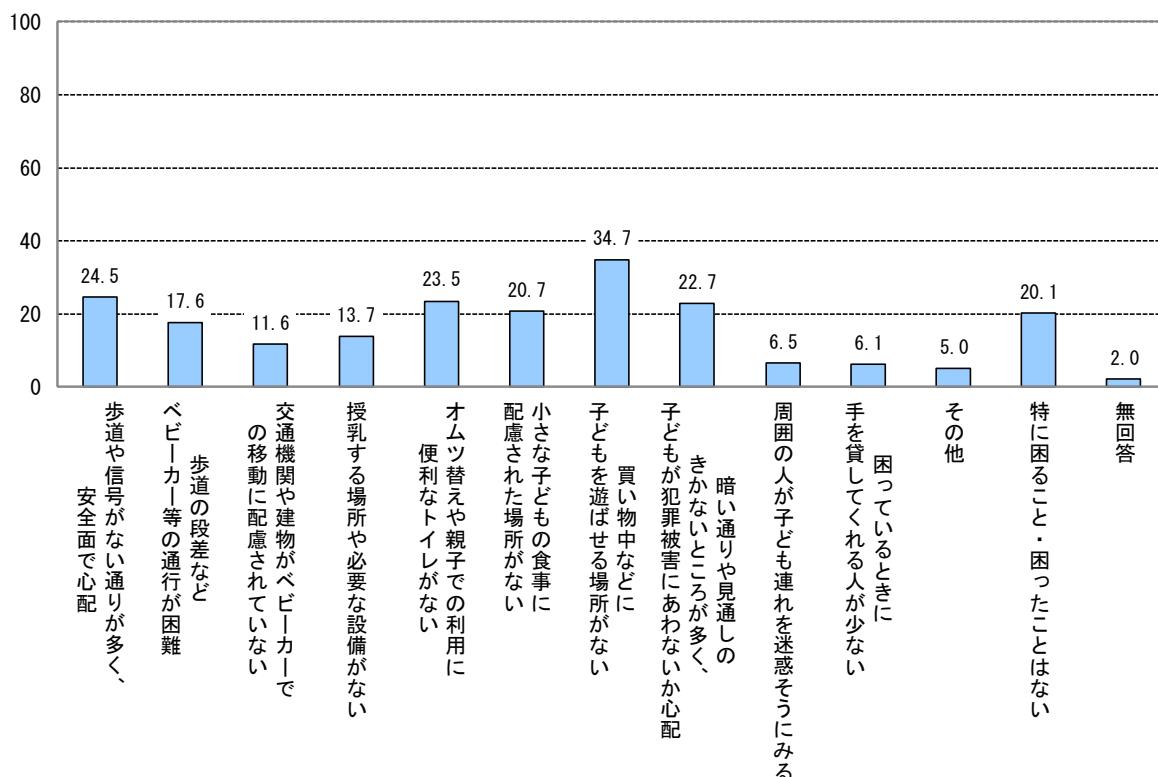
【全体】

- 外出する際に、困ること・困ったことについて、「買い物中などに子どもを遊ばせる場所がない」が 34.7%で最も多く、次いで「歩道や信号がない通りが多く、安全面で心配」が 24.5%、「オムツ替えや親子での利用に便利なトイレがない」が 23.5%となっています。
- その他の内訳として、道路が整備されていない（14 件）、公園や施設が整備されていない（7 件）、子どもの特性（3 件）、施設がない/利用時間が短い（3 件）、公共交通機関が少ない（2 件）、駐車スペースがない（2 件）、地域住民（2 件）となっています。

【外出する際に、困ること・困ったこと (MA)】

(MA%)

(n=706)



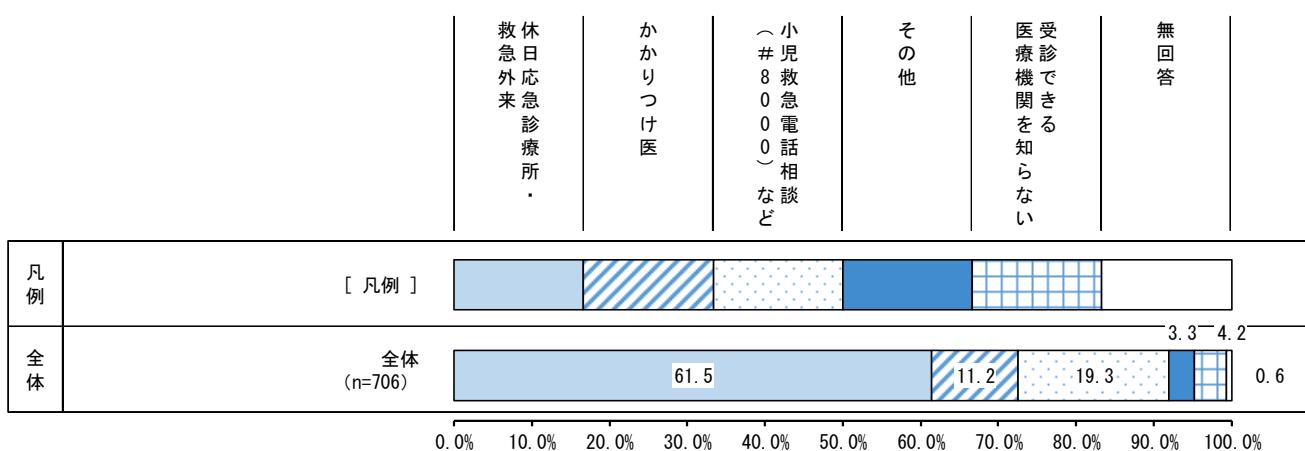
(12) 急な発病時の対応

問27 お子さんの休日や夜間の急な発病時には、どのように対応していますか。

【全体】

- 休日や夜間の急な発病時の対応について、「休日応急診療所・救急外来」が 61.5%で最も多く、次いで「小児救急電話相談（#8000）など」が 19.3%、「かかりつけ医」が 11.2%となっています。
- その他の内訳として、自宅で様子を見る（13 件）、オンラインサービスや知り合いの医師に相談（3 件）、調べて連れていく（2 件）、対応したことがない（5 件）となっています。

【休日や夜間の急な発病時の対応】



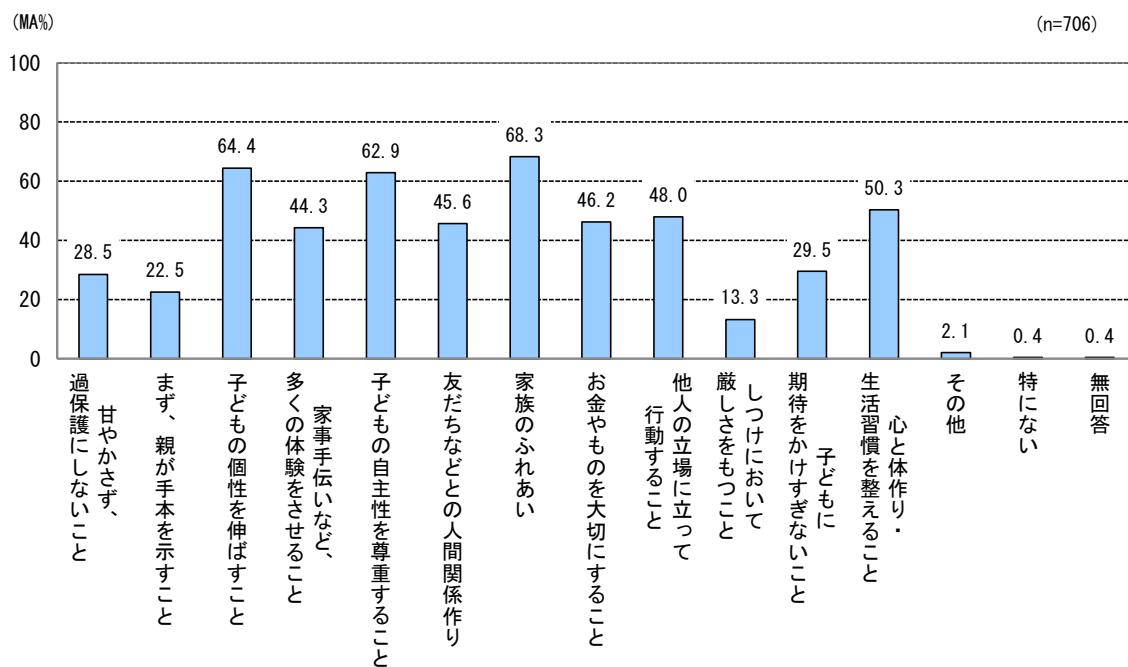
(13) 子育てで重視しているところ

問28 あなたの家庭では、どのような点を重視して育てていますか。(MA)

【全体】

- 子育てで重視する点について、「家族のふれあい」が 68.3%で最も多く、次いで「子どもの個性を伸ばすこと」が 64.4%、「子どもの自主性を尊重すること」が 62.9%となっています。
- その他の内訳として、道徳心・思いやり（5件）、自立（4件）、自己肯定感（2件）、愛情を注ぐ（2件）、いろいろな体験（1件）となっています。

【子育てで重視する点 (MA)】



問29 子育てをするうえで、どのような子育て環境が望ましいと思いますか。そして、そのためには、周囲（身近な人、行政など）からどのようなサポートがあれば良いとお考えでしょうか。ご自由にご記入ください。

【全体】

- 子育てをするうえで望ましい環境と、そのためのサポートについて、子どもを預ける施設・保育や、サービスの充実（102 件）、子供の居場所・遊び場・体験の場（94 件）、地域の状況・環境（47 件）、金銭的・物的補助（46 件）、相談窓口、相談の場（28 件）、設備や施設の整備（25 件）、両親・家庭環境（24 件）、安全・安心（18 件）、母親への負担減（15 件）、教育、保育料の支援（14 件）、職場環境（13 件）、病児保育などの充実（10 件）、小・中学校の整備（9 件）、保護者同士や同世代とのネットワーク（9 件）、情報の提供（6 件）、医療（4 件）、教育環境（4 件）となっています。

4. お子さんの保護者の就労状況について

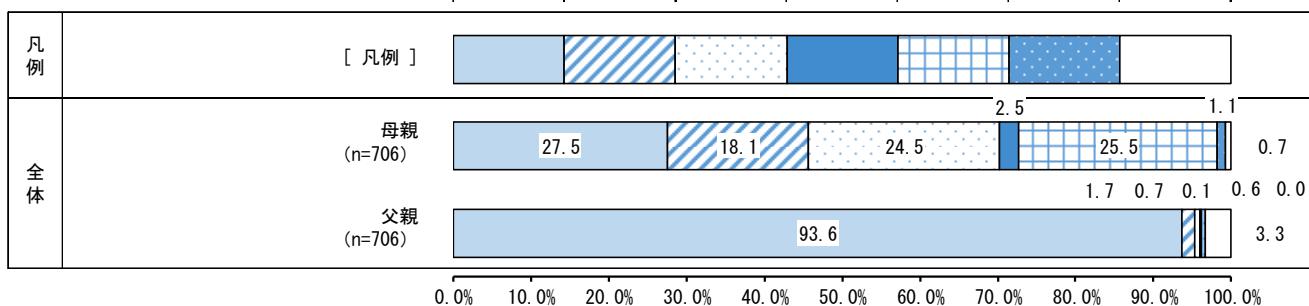
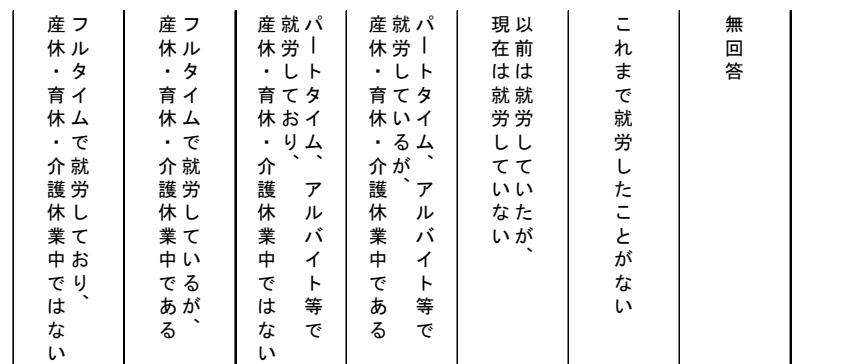
(1) 保護者の就労状況

問30 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

【全体】

- 現在の就労状況について、母親、父親ともに「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多くなっています。次いで、母親は「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 25.5%、「パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 24.5%となっているのに対し、父親は「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 1.7%、「パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 0.7%となっています。

【現在の就労状況】

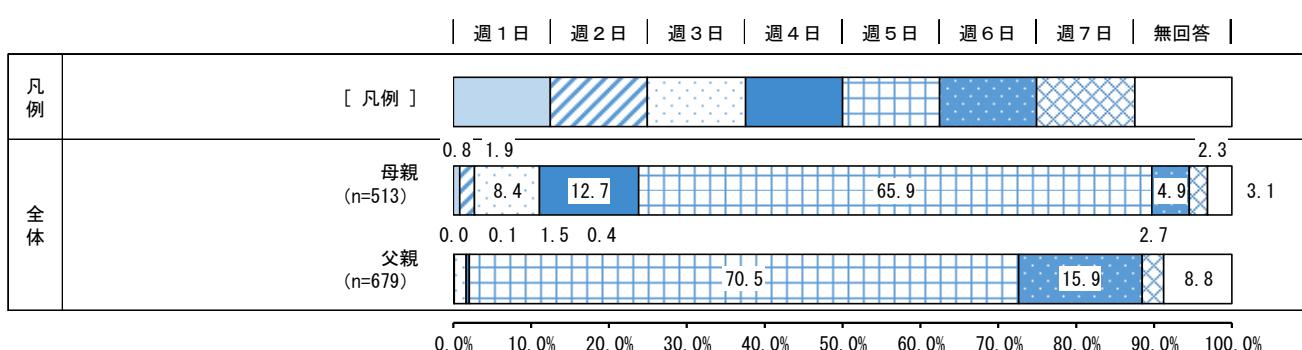


問30-1 (1) 1週間あたりの就労日数をお答えください。（問30で「1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」から「4. パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を選んだ方）

【全体】

- 就労日数について、母親、父親ともに「週 5 日」が最も多くなっています。次いで、母親は「週 4 日」が 12.7%、「週 3 日」が 8.4%となっているのに対し、父親は「週 6 日」が 15.9%、「週 7 日」が 2.7%となっています。

【就労日数】

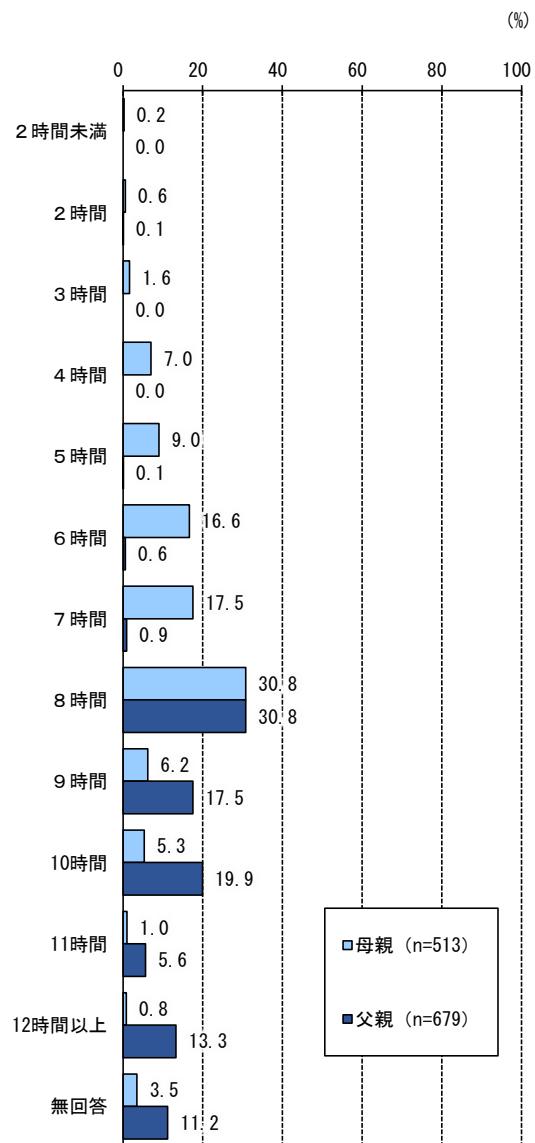


問30-1 (2) 1日あたりの就労時間（残業時間を含む）をお答えください。（問30で「1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」から「4. パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を選んだ方）

【全体】

- 就労時間について、母親、父親ともに「8時間」が最も多くなっています。次いで、母親は「7時間」が17.5%、「6時間」が16.6%となっているのに対し、父親は「10時間」が19.9%、「9時間」が17.5%となっています。

【就労時間】

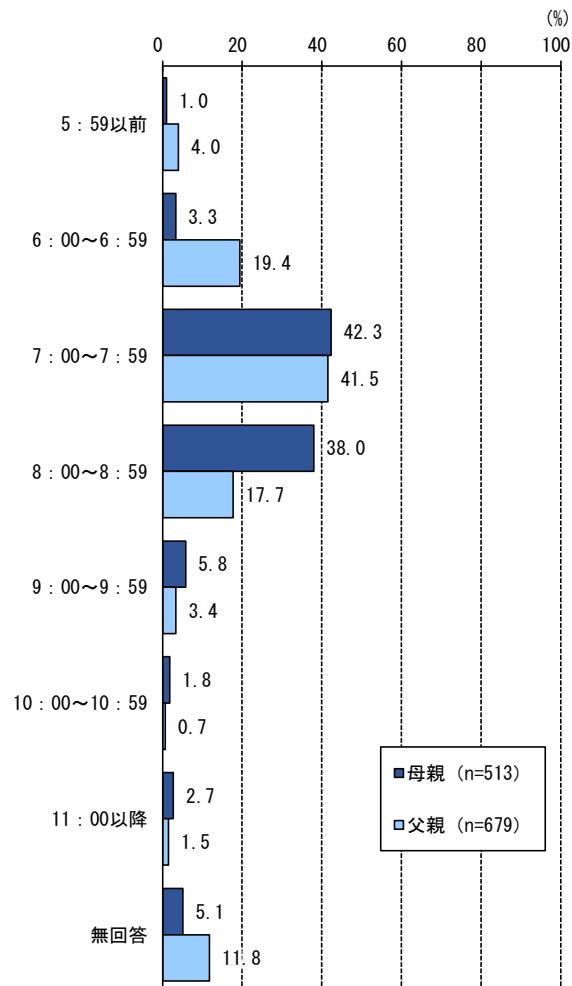


問30-1 (3) 家を出る時刻をお答えください。(問30で「1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」から「4. パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を選んだ方)

【全体】

- 家を出る時刻について、母親、父親ともに「7：00～7：59」が最も多くなっています。次いで、母親は「8：00～8：59」が38.0%、「9：00～9：59」が5.8%となっているのに対し、父親は「6：00～6：59」が19.4%、「8：00～8：59」が17.7%となっています。

【家を出る時刻】

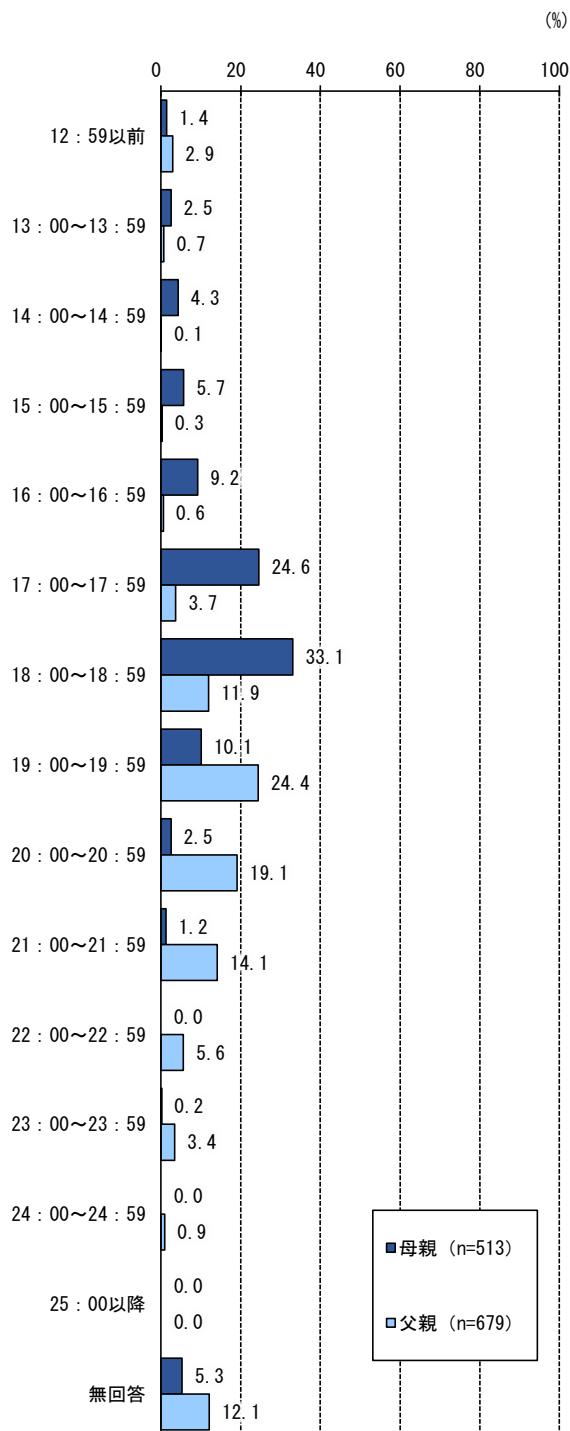


問30-1 (4) 帰宅時刻をお答えください。(問30で「1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」から「4. パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を選んだ方)

【全体】

- 母親の帰宅時刻について、「18：00～18：59」が 33.1%で最も多く、次いで「17：00～17：59」が 24.6%、「19：00～19：59」が 10.1%となっています。
- 父親の帰宅時刻について、「19：00～19：59」が 24.4%で最も多く、次いで「20：00～20：59」が 19.1%、「21：00～21：59」が 14.1%となっています。

【帰宅時刻】

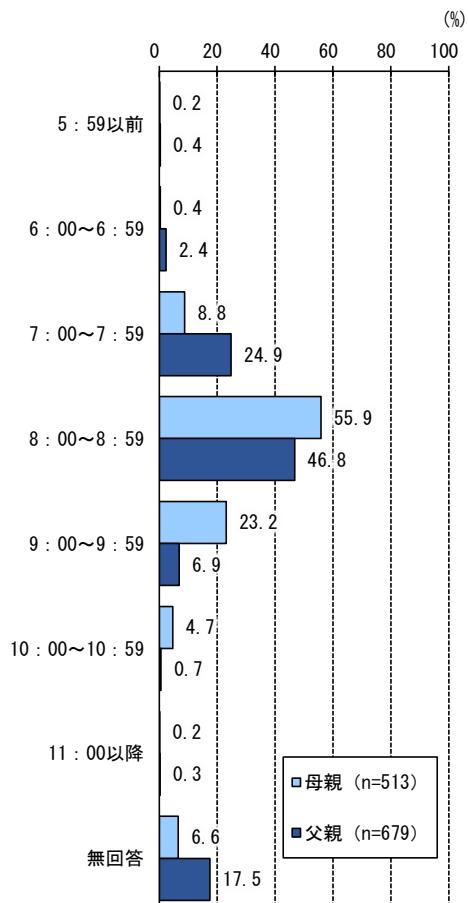


問30-2 (1) 家を出る理想の時刻をお答えください。(問30で「1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」から「4. パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を選んだ方)

【全体】

- 家を出る理想の時刻について、母親、父親ともに「8:00~8:59」が最も多くなっています。次いで、母親は「9:00~9:59」が23.2%、「7:00~7:59」が8.8%となっているのに対し、父親は「7:00~7:59」が24.9%、「9:00~9:59」が6.9%となっています。

【家を出る理想の時刻】

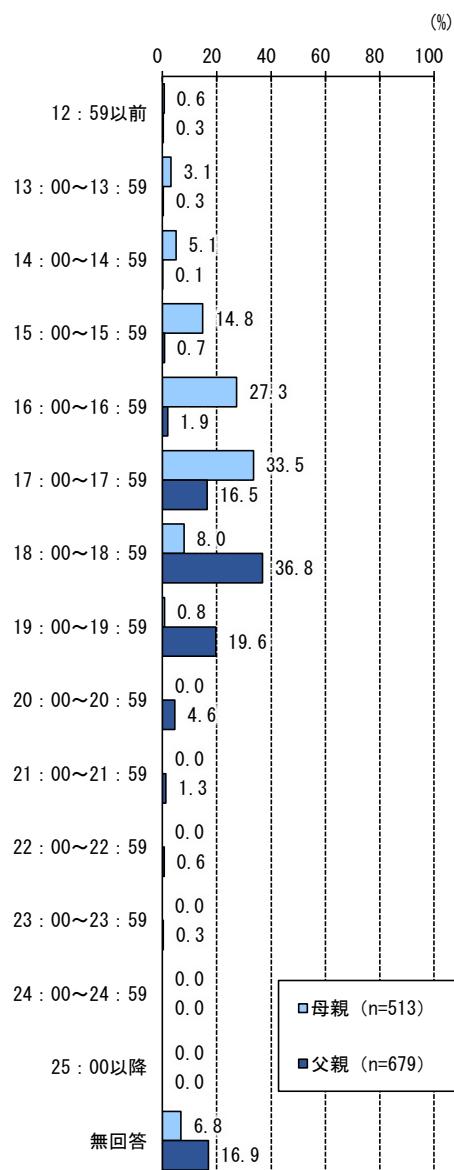


問30-2 (2) 理想の帰宅時刻をお答えください。(問30で「1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」から「4. パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を選んだ方)

【全体】

- 母親の理想の帰宅時刻について、「17：00～17：59」が 33.5%で最も多く、次いで「16：00～16：59」が 27.3%、「15：00～15：59」が 14.8%となっています。
- 父親の理想の帰宅時刻について、「18：00～18：59」が 36.8%で最も多く、次いで「19：00～19：59」が 19.6%、「17：00～17：59」が 16.5%となっています。

【理想の帰宅時刻】

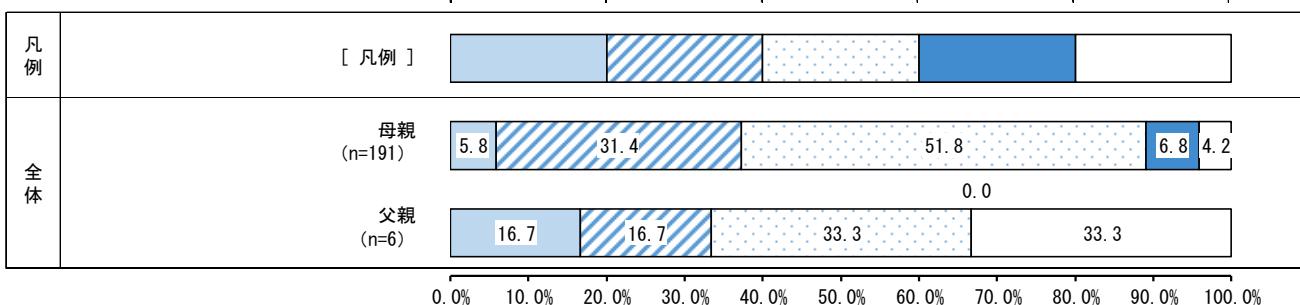
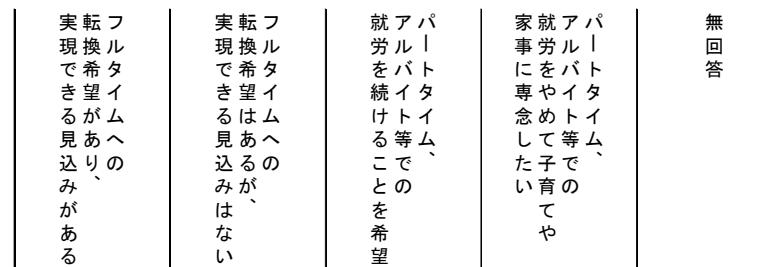


問30-3 フルタイムへの転換希望はありますか。(問30で「3. パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「4. パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を選んだ方)

【全体】

- フルタイムへの転換希望について、母親、父親ともに「パートタイム、アルバイト等での就労を続けることを希望」が最も多くなっています。次いで、母親は「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 31.4%、「パートタイム、アルバイト等での就労をやめて子育てや家事に専念したい」が 6.8%となっているのに対し、父親は「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 16.7%となっています。

【フルタイムへの転換希望】

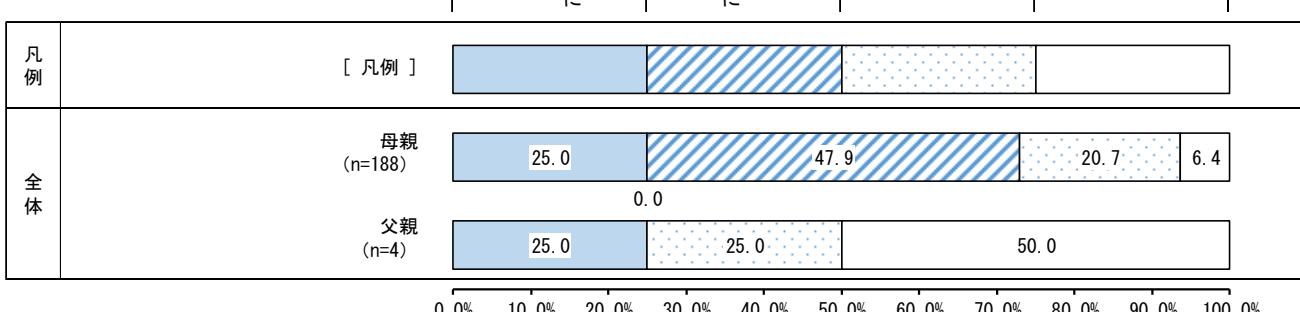
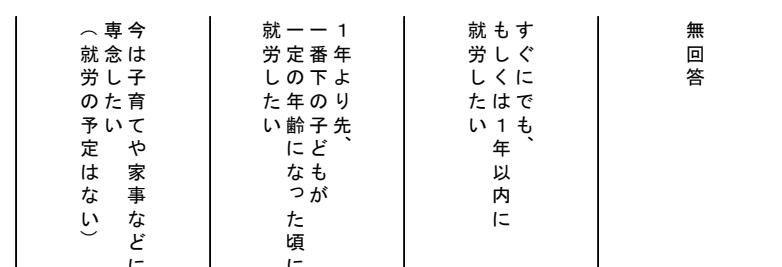


問30-4 就労したいという希望はありますか。(問30で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」「6.これまで就労したことがない」を選んだ方)

【全体】

- 母親の就労希望について、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢になった頃に就労したい」が 47.9%で最も多く、次いで「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 25.0%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 20.7%となっています。
- 父親の就労希望について、「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 25.0%で最も多くなっています。

【就労希望】

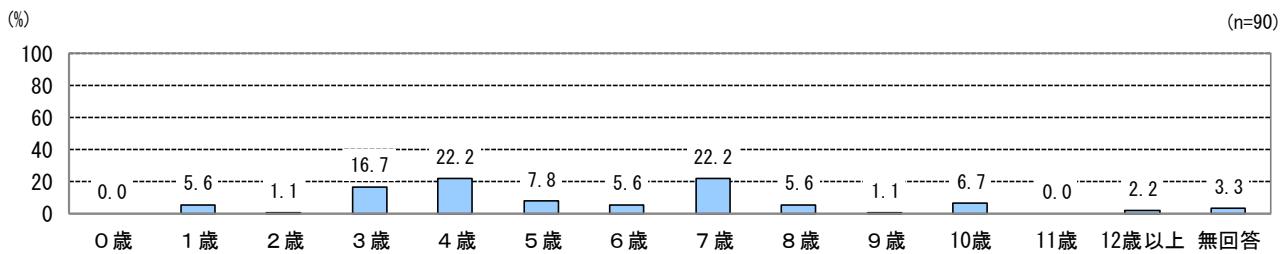


問30-4 (1) 就労希望時のお子さんの年齢をお答えください。(前の質問で「2. 1年より先、一番下の子どもが一定の年齢になった頃に就労したい」を選んだ方)

【全体】

- 母親の就労したい子どもの年齢について、「4歳」「7歳」が22.2%で最も多く、次いで「3歳」が16.7%、「5歳」が7.8%となっています。
- 父親の就労したい子どもの年齢について、有効回答がありませんでした。

【就労したい子どもの年齢】

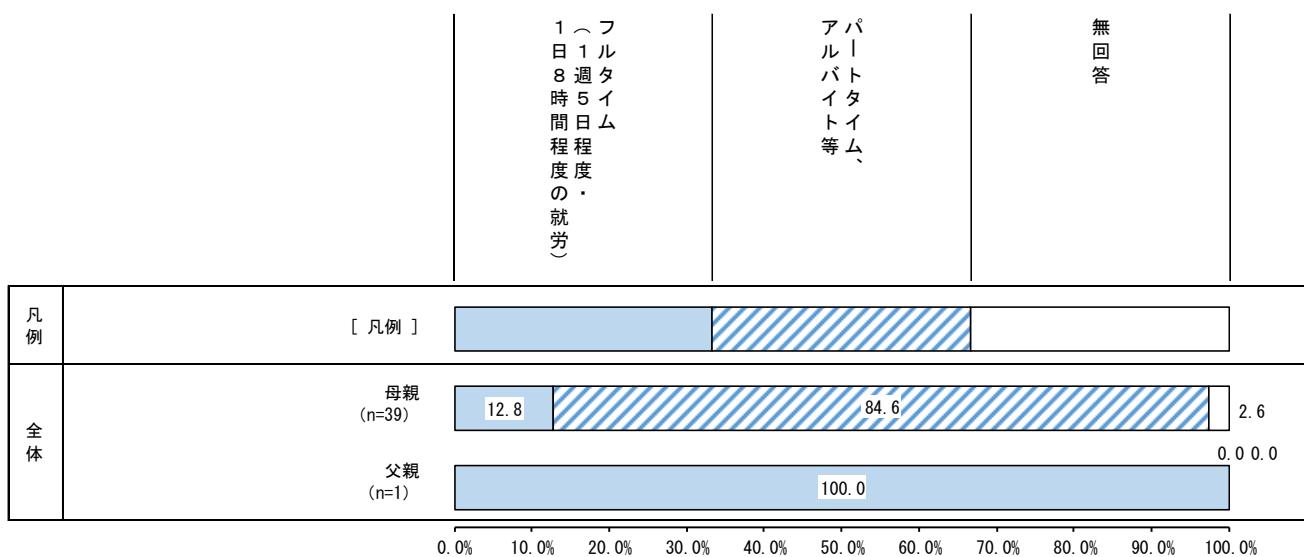


問30-4 (2) 希望する就労形態をお答えください。(前の質問で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方)

【全体】

- 母親の希望する就労形態について、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が12.8%、「パートタイム、アルバイト等」が84.6%となっています。
- 父親の希望する就労形態について、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が100.0%となっています。

【希望する就労形態】

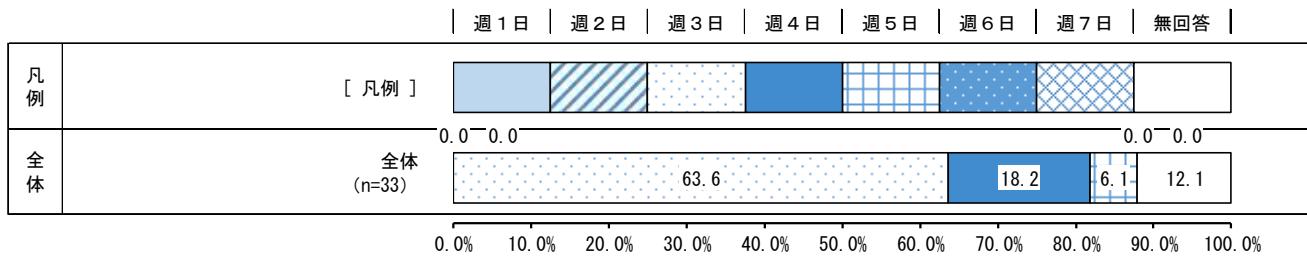


問30-4 (3) パート・アルバイト等の希望就労日数をお答えください。(前の質問で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方)

【全体】

- 母親のパート・アルバイト等の希望就労日数について、「週3日」が63.6%で最も多く、次いで「週4日」が18.2%、「週5日」が6.1%となっています。
- 父親のパート・アルバイト等の希望就労日数について、有効回答がありませんでした。

【パート・アルバイト等の希望就労日数】

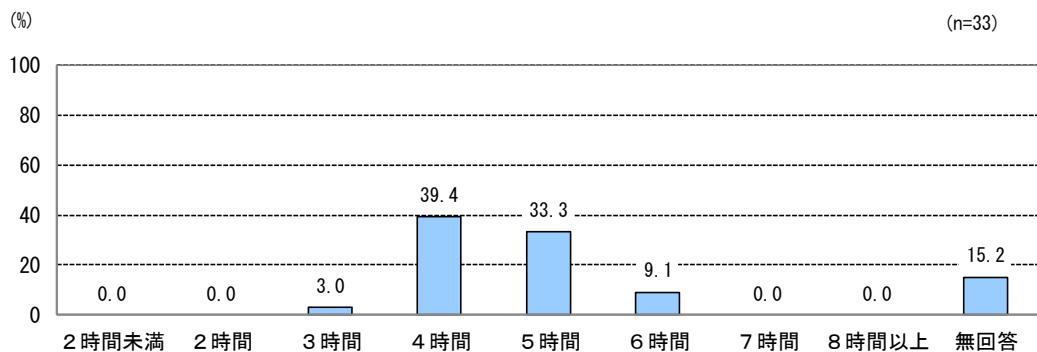


問30-4 (4) パート・アルバイト等の希望就労時間をお答えください。(前の質問で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方)

【全体】

- 母親のパート・アルバイト等の希望就労時間について、「4時間」が39.4%で最も多く、次いで「5時間」が33.3%、「6時間」が9.1%となっています。
- 父親のパート・アルバイト等の希望就労日数について、有効回答がありませんでした。

【パート・アルバイト等の希望就労時間】



5. お子さんの平日の定期的な教育・保育の利用状況

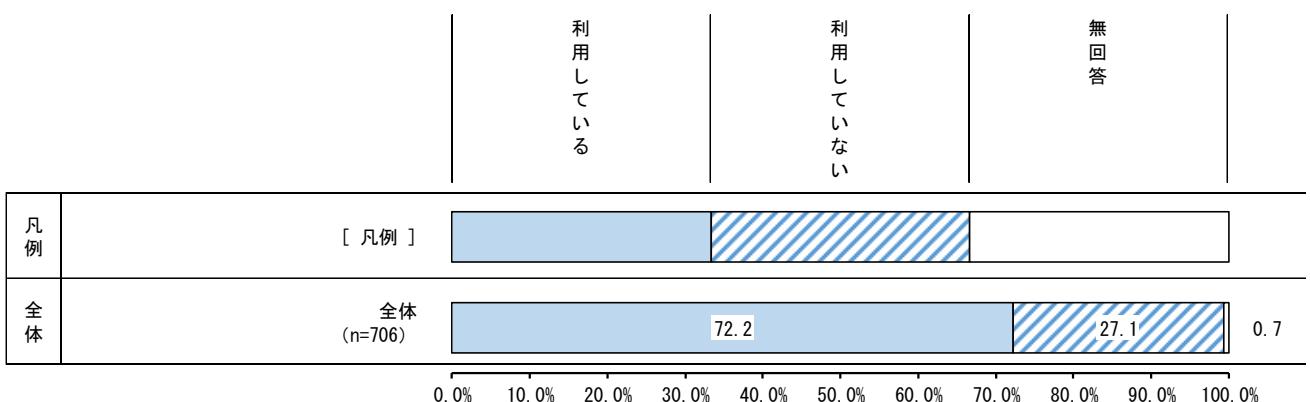
(1) 教育・保育の利用

問31 お子さんは現在、「定期的な教育・保育」を利用していますか。

【全体】

- 「定期的な教育・保育」の利用の有無について、「利用している」が 72.2%、「利用していない」が 27.1%となっています。

【「定期的な教育・保育」の利用の有無】

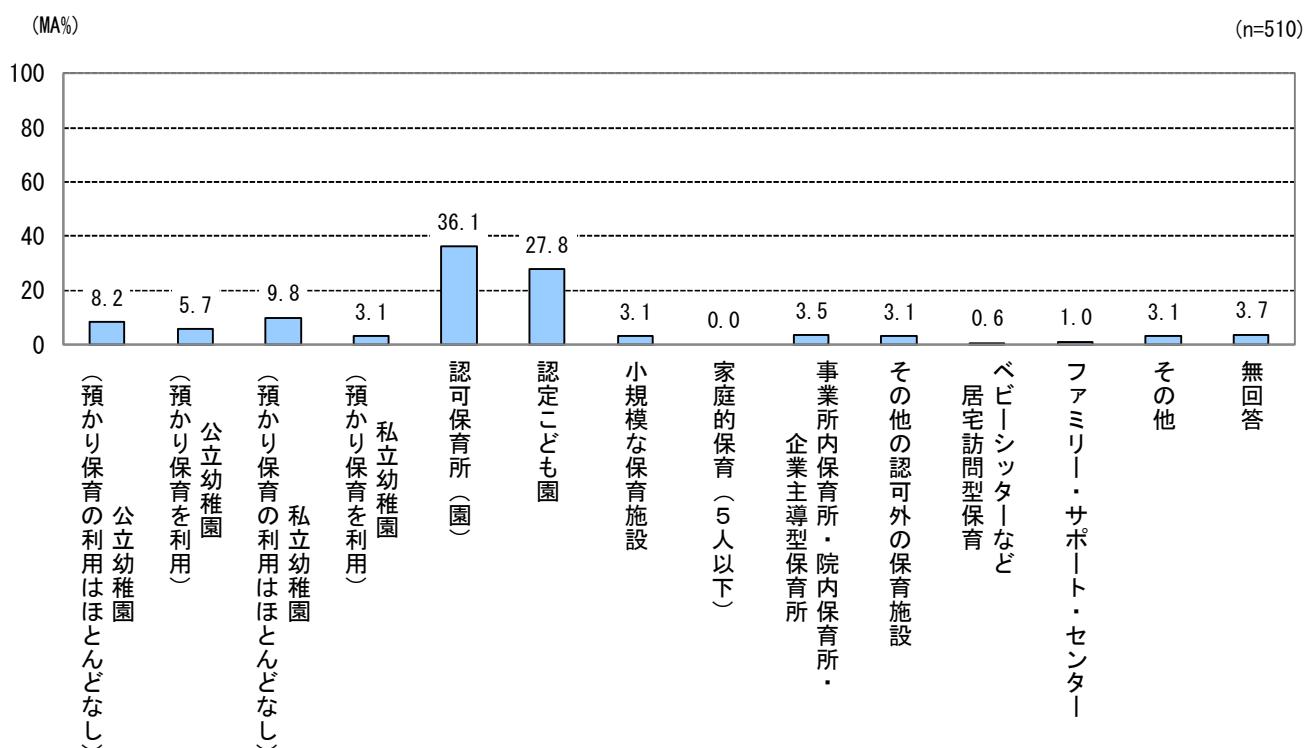


問31-1 (1) お子さんは、平日どのような教育・保育を利用していますか。(MA) (問31で「1. 利用している」を選んだ方)

【全体】

- 平日に利用している教育・保育について、「認可保育所（園）」が 36.1%で最も多く、次いで「認定こども園」が 27.8%、「私立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）」が 9.8%となっています。
- その他の内訳として、一時保育・一時預かり（7件）、療育・発達支援（6件）、公立保育所（2件）、認可外保育施設（3件）となっています。

【平日に利用している教育・保育 (MA)】

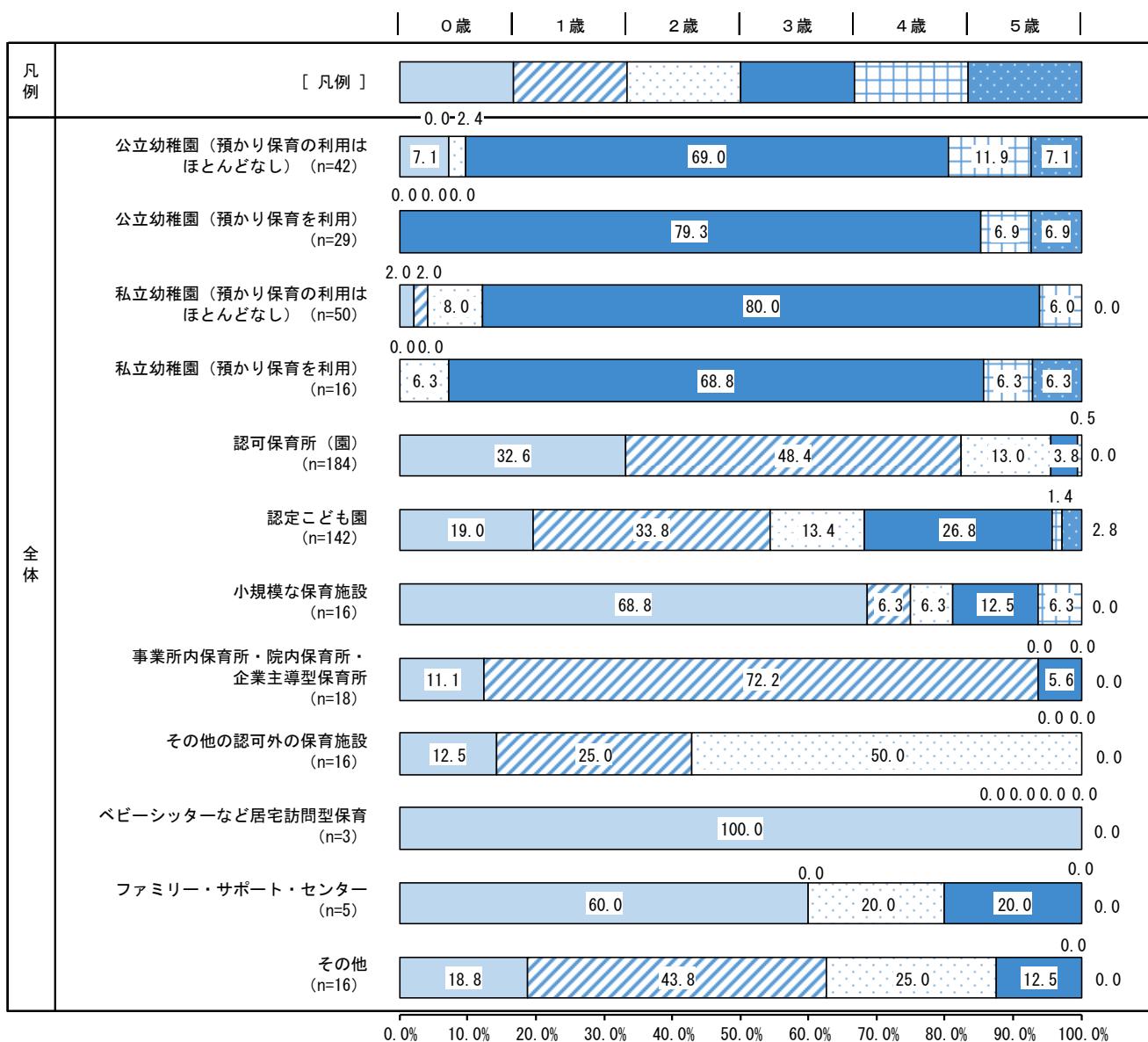


問31-1 (2) 利用している教育・保育の開始年齢をお答えください。(問31で「1. 利用している」を選んだ方)

【全体】

- 利用している子どもの開始年齢について、「0歳」は小規模な保育施設が68.8%と多くなっています。
- 年齢が高いほど「公立幼稚園」「私立幼稚園」が、年齢が低いほど「事業所内保育所・院内保育所・企業主導型保育所」「認可保育所(園)」が多くなる傾向がみられます。

【利用している子どもの開始年齢】

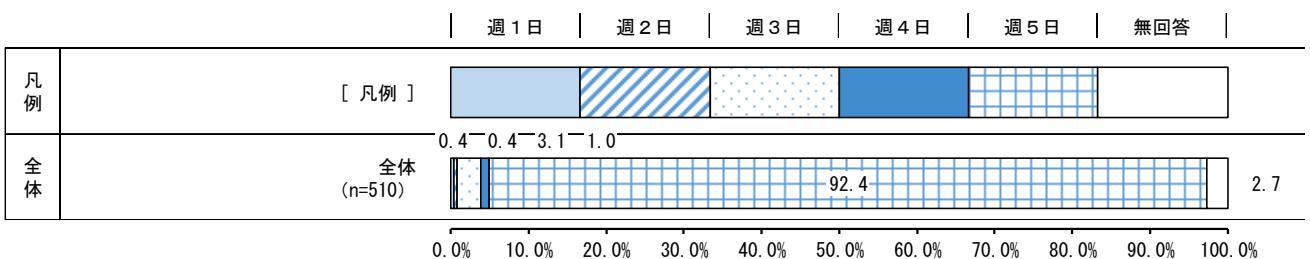


問31-2 (1) a 平日の定期的な教育・保育事業の利用日数をお答えください。(問31で「1. 利用している」を選んだ方)

【全体】

- 平日の定期的な教育・保育事業の利用日数について、「週5日」が92.4%で最も多く、次いで「週3日」が3.1%、「週4日」が1.0%となっています。

【平日の定期的な教育・保育事業の利用日数】

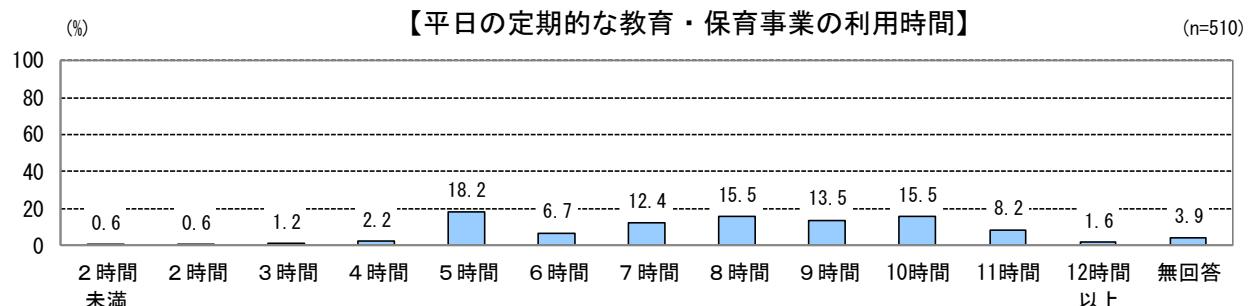


問31-2 (1) b 平日の定期的な教育・保育事業の利用時間をお答えください。(問31で「1. 利用している」を選んだ方)

【全体】

- 平日の定期的な教育・保育事業の利用時間について、「5時間」が18.2%で最も多く、次いで「8時間」「10時間」が15.5%、「9時間」が13.5%となっています。

【平日の定期的な教育・保育事業の利用時間】

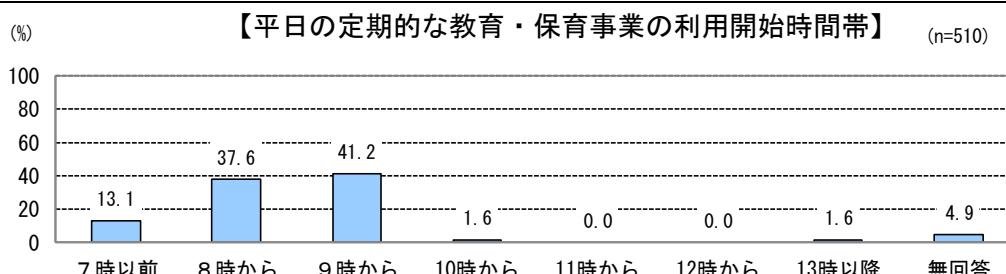


問31-2 (1) c 平日の定期的な教育・保育事業の利用開始時間帯をお答えください。(問31で「1. 利用している」を選んだ方)

【全体】

- 平日の定期的な教育・保育事業の利用開始時間帯について、「9時から」が41.2%で最も多く、次いで「8時から」が37.6%、「7時以前」が13.1%となっています。

【平日の定期的な教育・保育事業の利用開始時間帯】

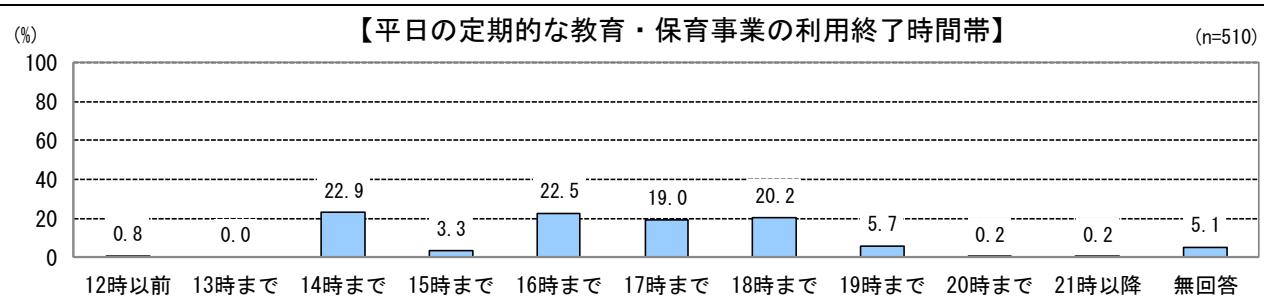


問31-2 (1) d 平日の定期的な教育・保育事業の利用終了時間帯をお答えください。(問31で「1. 利用している」を選んだ方)

【全体】

- 平日の定期的な教育・保育事業の利用終了時間帯について、「14時まで」が22.9%で最も多く、次いで「16時まで」が22.5%、「18時まで」が20.2%となっています。

【平日の定期的な教育・保育事業の利用終了時間帯】

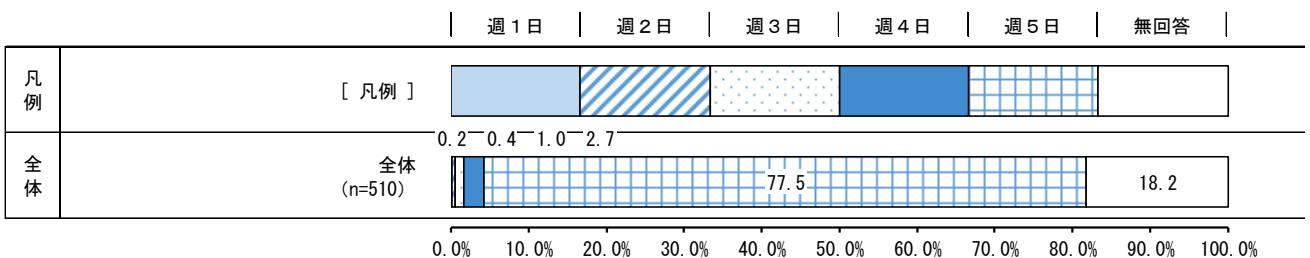


問31-2 (2) a 平日の定期的な教育・保育事業の希望日数をお答えください。(問31で「1. 利用している」を選んだ方)

【全体】

- 平日の定期的な教育・保育事業の希望日数について、「週5日」が77.5%で最も多く、次いで「週4日」が2.7%、「週3日」が1.0%となっています。

【平日の定期的な教育・保育事業の希望日数】

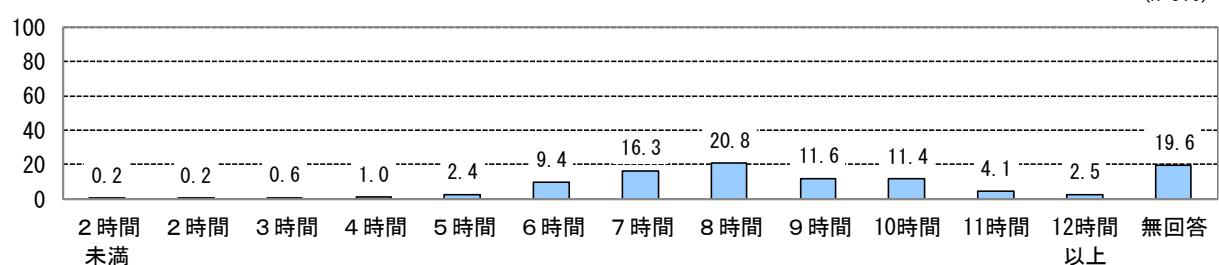


問31-2 (2) b 平日の定期的な教育・保育事業の希望時間をお答えください。(問31で「1. 利用している」を選んだ方)

【全体】

- 平日の定期的な教育・保育事業の希望時間について、「8時間」が20.8%で最も多く、次いで「7時間」が16.3%、「9時間」が11.6%となっています。

【平日の定期的な教育・保育事業の希望時間】(n=510)

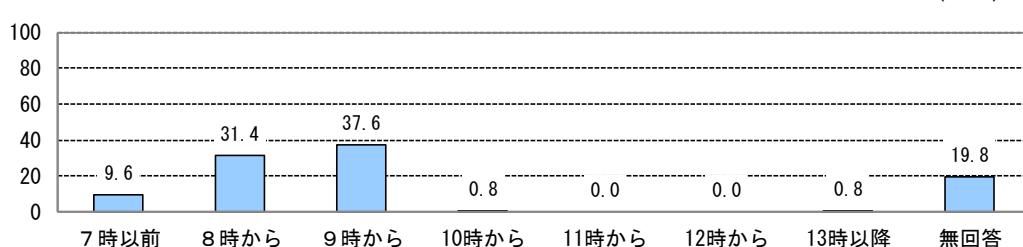


問31-2 (2) c 平日の定期的な教育・保育事業の希望開始時間帯をお答えください。(問31で「1. 利用している」を選んだ方)

【全体】

- 平日の定期的な教育・保育事業の希望開始時間帯について、「9時から」が37.6%で最も多く、次いで「8時から」が31.4%、「7時以前」が9.6%となっています。

【平日の定期的な教育・保育事業の希望開始時間帯】(n=510)

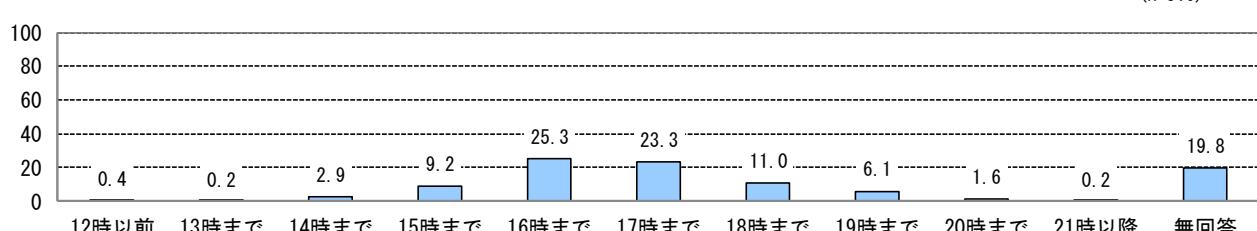


問31-2 (2) d 平日の定期的な教育・保育事業の希望終了時間帯をお答えください。(問31で「1. 利用している」を選んだ方)

【全体】

- 平日の定期的な教育・保育事業の希望終了時間帯について、「16時まで」が25.3%で最も多く、次いで「17時まで」が23.3%、「18時まで」が11.0%となっています。

【平日の定期的な教育・保育事業の希望終了時間帯】(n=510)

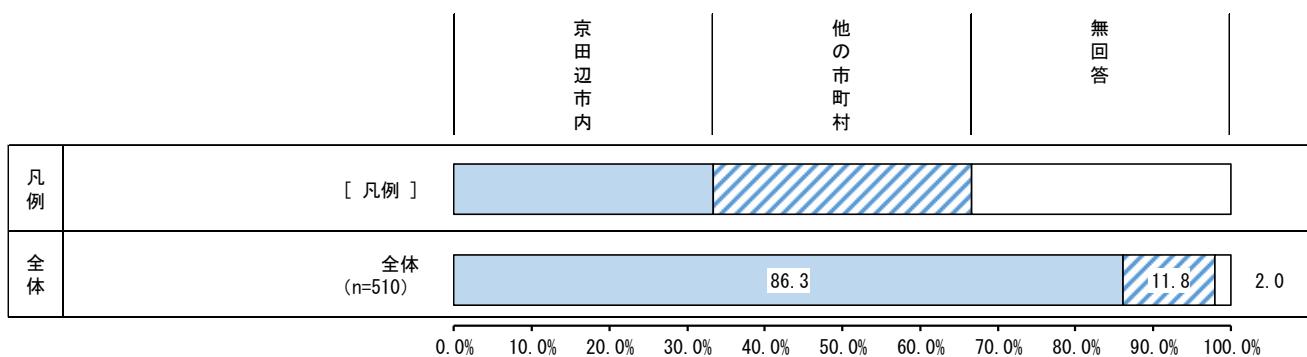


問31-3 現在、利用している教育・保育の場所についてうかがいます。(問31で「1. 利用している」を選んだ方)

【全体】

- 利用している教育・保育の場所について、「京田辺市内」が 86.3%、「他の市町村」が 11.8%となっています。
- 他の市町村の内訳としては、枚方市（30 件）、八幡市（8 件）、精華町（5 件）、城陽市（4 件）、京都都市（2 件）、久御山（1 件）となっています。

【利用している教育・保育の場所】

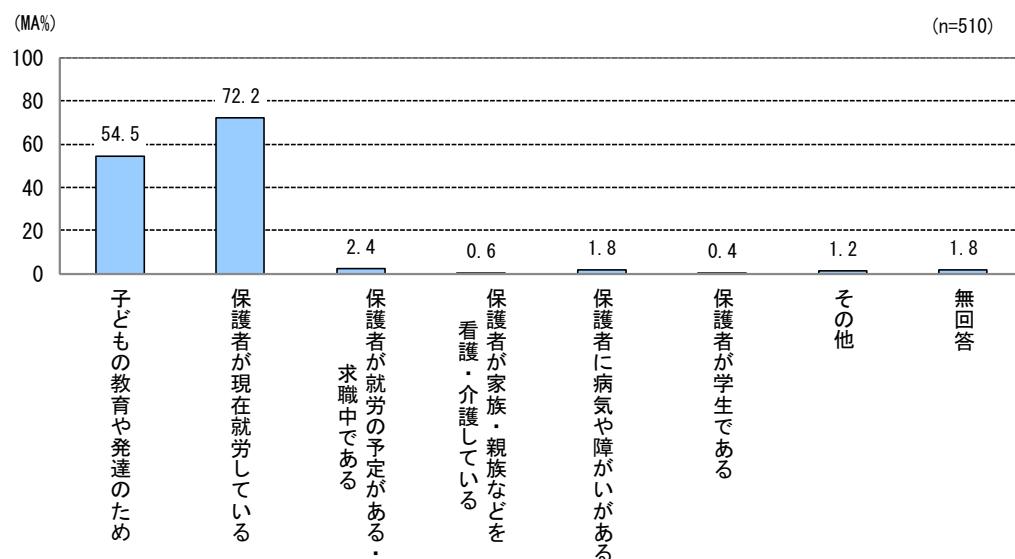


問31-4 平日に定期的に教育・保育を利用されている理由についてうかがいます。(MA) (問31で「1. 利用している」を選んだ方)

【全体】

- 利用している理由について、「保護者が現在就労している」が 72.2%で最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 54.5%、「保護者が就労の予定がある・求職中である」が 2.4%となっています。
- その他の内訳として、家事（3 件）、息抜き（2 件）、通院（1 件）、きょうだいの予定（1 件）となっています。

【利用している理由 (MA)】



問31-5 現在利用している教育・保育に対して満足している点や要望等があればご自由にお書きください。

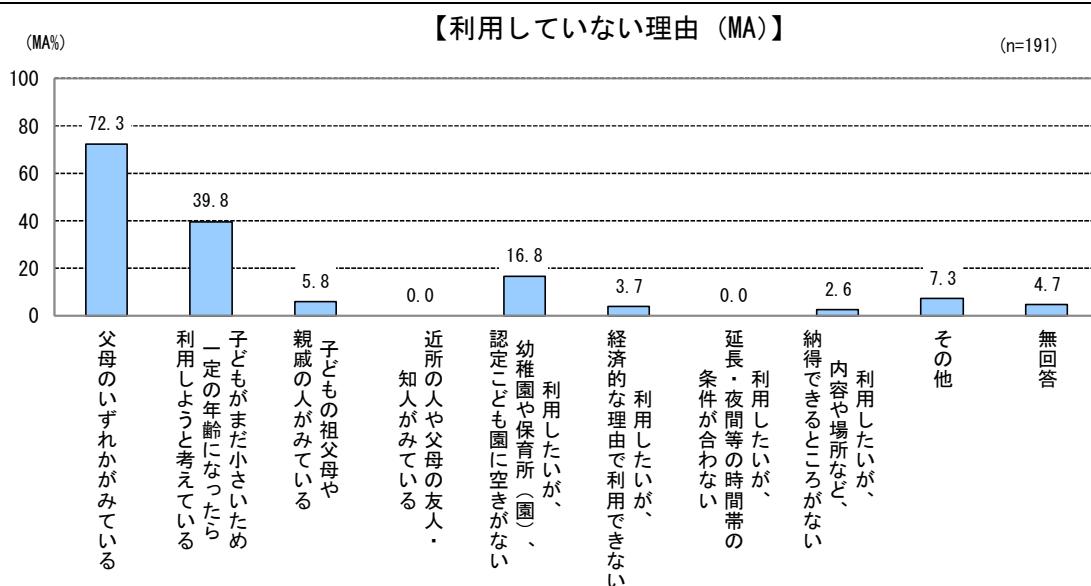
【全体】

- 現在利用している教育、保育に対して、満足している点や要望として、保育/教育内容が良い（147件）、先生方について（79件）、給食（32件）、保育内容の要望（31件）、終了時間が早い（19件）、延長（13件）、平日以外の保育（11件）、費用/保育料（9件）、保護者の負担（8件）、園庭の充実（4件）、設備（4件）、アクセス方法（4件）、登園時間（3件）、途中入所（3件）、駐車場（3件）、病児保育（3件）、個人面談などの先生との会話（3件）、小学校との連携（3件）、無償化を希望（2件）、保育の空き（2件）となっています。
- その他に、連携園が少ない、長期休みの対応、入園者の増加希望、制服、一時保育の利用開始時間を早めてほしい、学区の選択肢が少ない、名札の安全ピンの危険性、一時預かりの申請、学童の周知、待機児童をなくす、市への申請書類などがアナログ、きょうだいの同施設入所などの意見が挙がっています。

問31-6a 利用していない理由は何ですか。（MA）（問31で「2. 利用していない」を選んだ方）

【全体】

- 利用していない理由について、「父母のいずれかがみている」が72.3%で最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため一定の年齢になったら利用しようと考えている」が39.8%、「利用したいが、幼稚園や保育所（園）、認定こども園に空きがない」が16.8%となっています。
- その他の内訳として、入所予定・入所待ち（8件）、育休中（2件）、利用条件に満たない（1件）、働いていない（1件）、子どもが人見知り（1件）、自身の母親に頼んでいる（1件）、病気の治療中（1件）となっています。

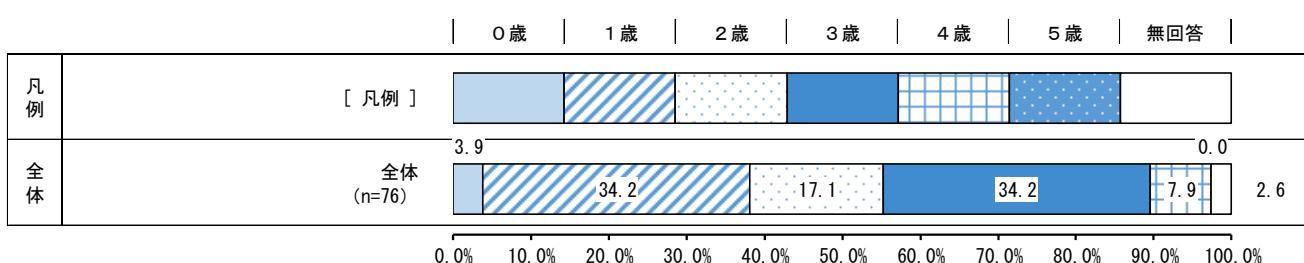


問31-6b 平日の定期的な教育・保育事業を利用したいお子さんの年齢をお答えください。（前の質問で「2. 子どもがまだ小さいため一定の年齢になったら利用しようと考えている」を選んだ方）

【全体】

- 子どもがまだ小さいため一定の年齢になったら利用しようと考えているについて、「1歳」「3歳」が34.2%で最も多く、次いで「2歳」が17.1%、「4歳」が7.9%となっています。

【子どもがまだ小さいため一定の年齢になったら利用しようと考えている】

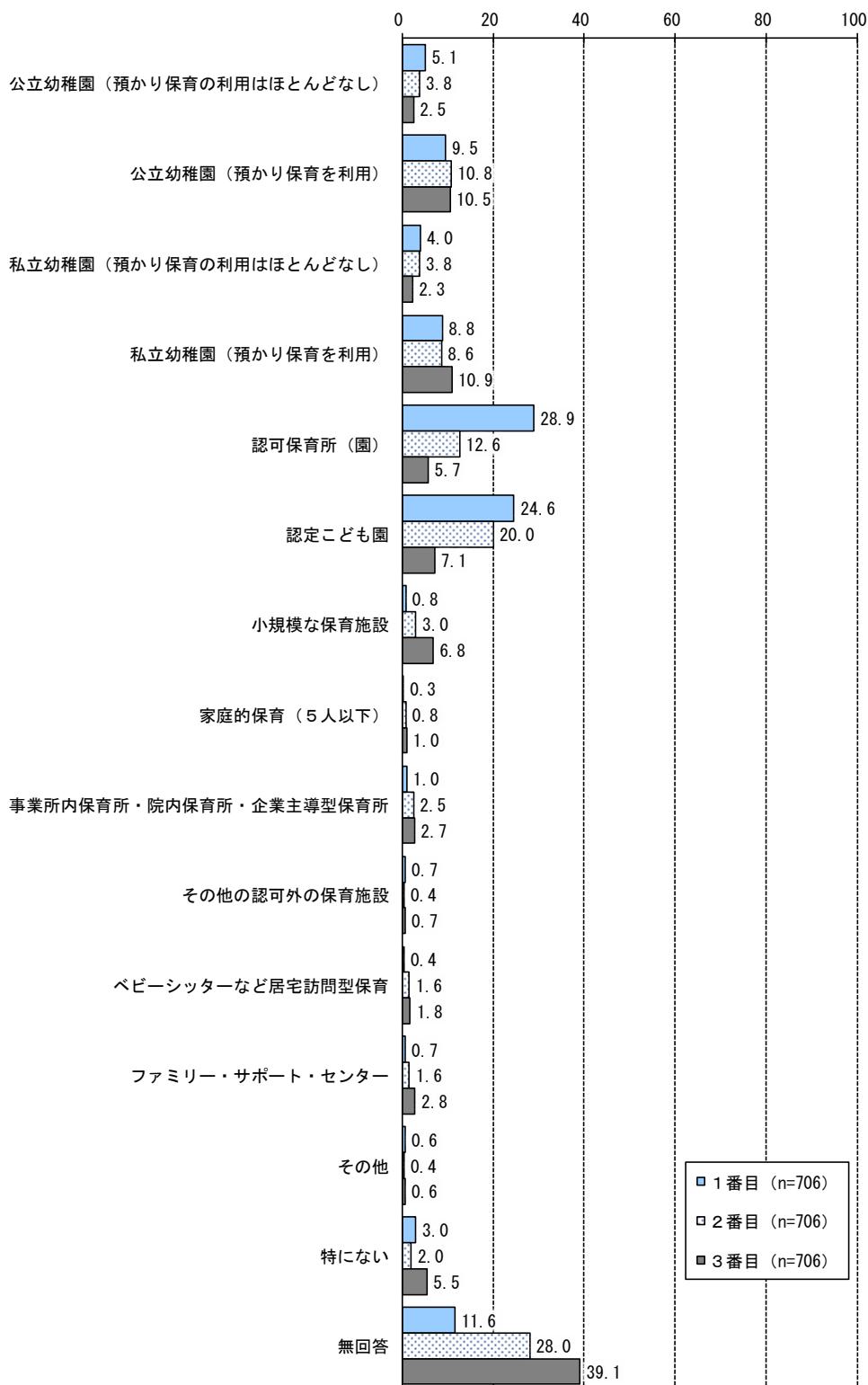


問32（1）a 現在、利用している、利用していないに関わらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育として、「定期的に」利用したいと考える事業を順番にお答えください。（問31で「2. 利用していない」を選んだ方）

【全体】

- 1番目について、「認可保育所（園）」が28.9%で最も多く、次いで「認定こども園」が24.6%、「公立幼稚園（預かり保育を利用）」が9.5%となっています。
- 2番目について、「認定こども園」が20.0%で最も多く、次いで「認可保育所（園）」が12.6%、「公立幼稚園（預かり保育を利用）」が10.8%となっています。
- 3番目について、「私立幼稚園（預かり保育を利用）」が10.9%で最も多く、次いで「公立幼稚園（預かり保育を利用）」が10.5%、「認定こども園」が7.1%となっています。

【利用したいと考える事業（1番目～3番目）】
(MA%)

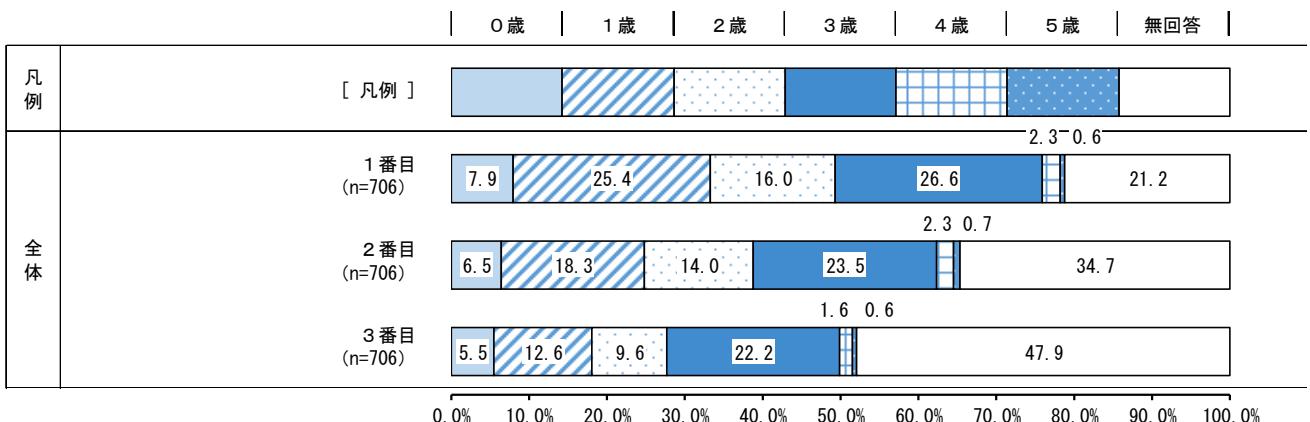


問32（1）b 平日の定期的な教育・保育事業を利用したいお子さんの年齢をお答えください。

【全体】

- 1番目～3番目について、すべて「3歳」が最も多く、次いで「1歳」、「2歳」となっています。

【利用したいと考えるお子さんの年齢（1番目～3番目）】

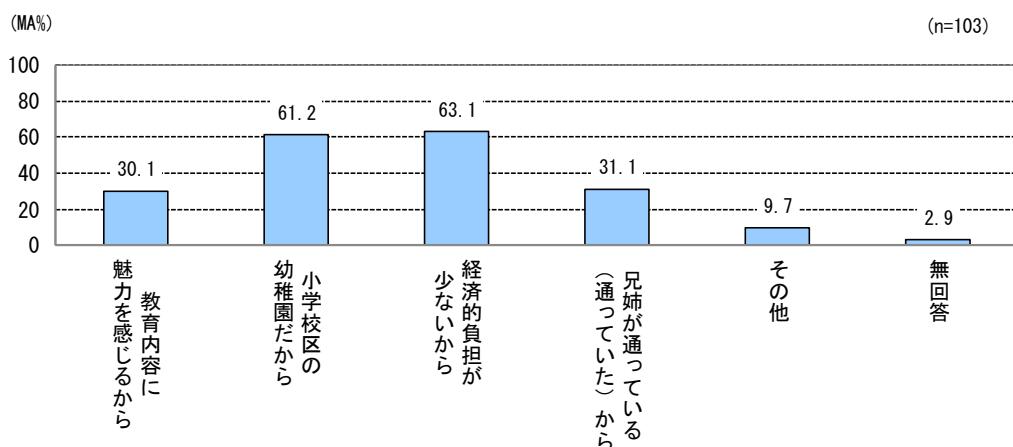


問32-1 公立幼稚園を利用したいと考える理由は何ですか。（MA）（問32で「1. 公立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）」または「2. 公立幼稚園（預かり保育を利用）」の順位を1番とした方）

【全体】

- 公立幼稚園を利用したいと考える理由について、「経済的負担が少ないから」が 63.1%で最も多く、次いで「小学校区の幼稚園だから」が 61.2%、「兄姉が通っている（通っていた）から」が 31.1%となっています。
- その他の内訳として、教育内容（2件）、保育園に入れないため（2件）となっています。また、園内環境、小学校との連携、家庭で身の回りのことなどを教えてから、自宅から近い、引っ越し後に調べる余裕がなかったなどの意見が挙がっています。

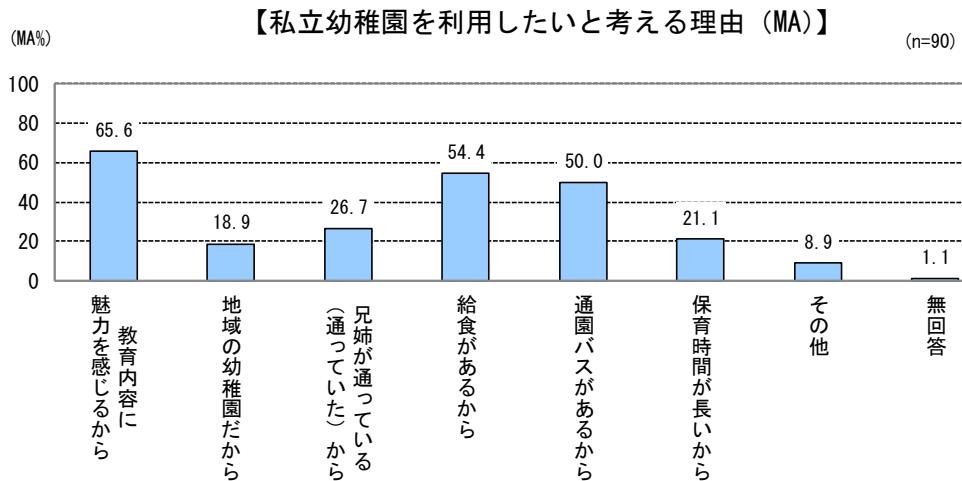
【公立幼稚園を利用したいと考える理由（MA）】



問32-2 私立幼稚園を利用したいと考える理由は何ですか。(MA) (問32で「3. 私立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）」または「4. 私立幼稚園（預かり保育を利用）」の順位を1番とした方)

【全体】

- 私立幼稚園を利用したいと考える理由について、「教育内容に魅力を感じるから」が 65.6%で最も多く、次いで「給食があるから」が 54.4%、「通園バスがあるから」が 50.0%となっています。
- その他の内訳として、教育内容（3件）、園内環境（2件）、小学校との連携（1件）、育休を十分に取れる（1件）、他の保護者との関係性（1件）、自宅から近い（1件）となっています。

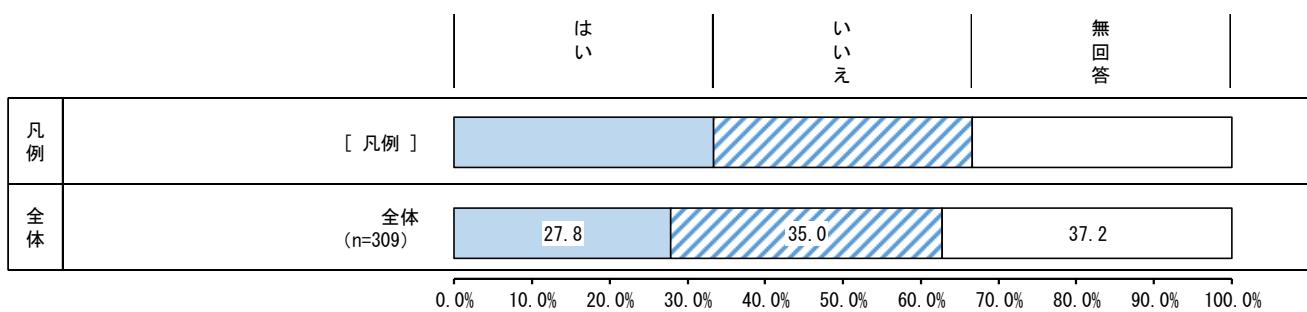


問32-3 幼稚園の利用を強く希望しますか。(問32で「1. 公立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）」「2. 公立幼稚園（預かり保育を利用）」「3. 私立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）」「4. 私立幼稚園（預かり保育を利用）」を選び、5～13も選んだ方)

【全体】

- 幼稚園の利用希望について、「はい」が 27.8%、「いいえ」が 35.0%となっています。

【幼稚園の利用希望】

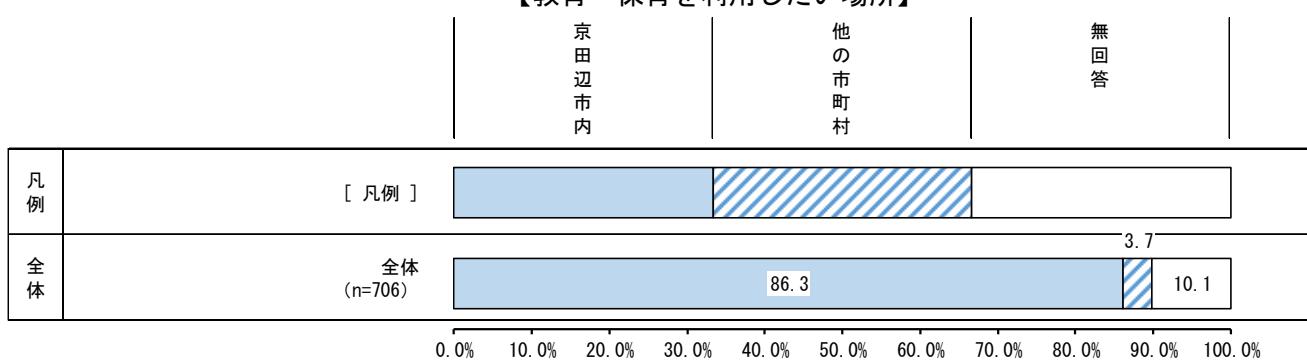


問32-4 教育・保育を利用したい場所についてうかがいます。

【全体】

- 教育・保育を利用したい場所について、「京田辺市内」が 86.3%、「他の市町村」が 3.7%となっています。

【教育・保育を利用したい場所】

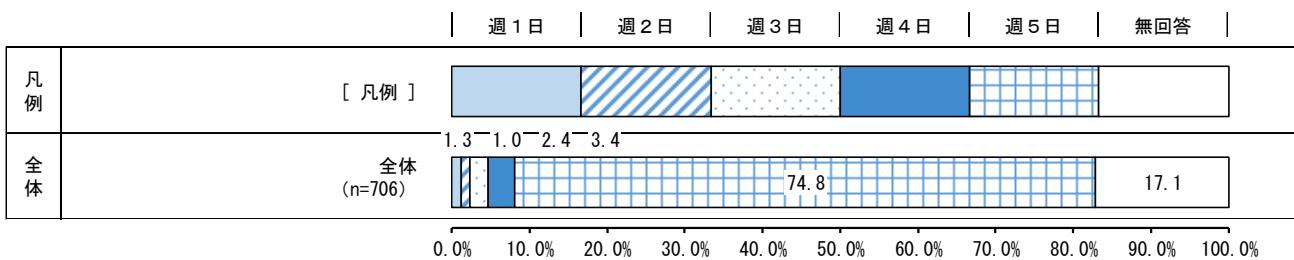


問32-5 (1) 平日の定期的な教育・保育事業の希望日数を順位にかかわらずお答えください。

【全体】

- 平日の定期的な教育・保育事業の希望日数について、「週5日」が74.8%で最も多く、次いで「週4日」が3.4%、「週3日」が2.4%となっています。

【平日の定期的な教育・保育事業の希望日数】

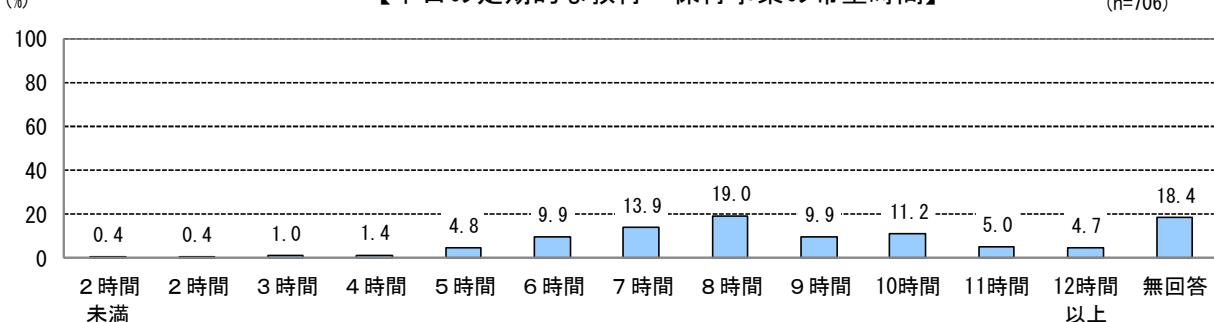


問32-5 (2) 平日の定期的な教育・保育事業の希望時間をお答えください。

【全体】

- 平日の定期的な教育・保育事業の希望時間について、「8時間」が19.0%で最も多く、次いで「7時間」が13.9%、「10時間」が11.2%となっています。

【平日の定期的な教育・保育事業の希望時間】



問32-5 (3) 平日の定期的な教育・保育事業の希望開始時間帯をお答えください。

【全体】

- 平日の定期的な教育・保育事業の希望開始時間帯について、「9時から」が39.2%で最も多く、次いで「8時から」が26.6%、「7時以前」が12.6%となっています。

【平日の定期的な教育・保育事業の希望開始時間帯】

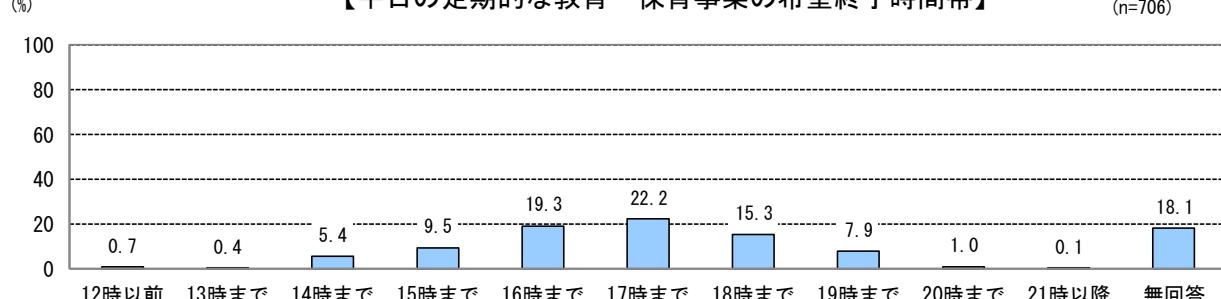


問32-5 (4) 平日の定期的な教育・保育事業の希望終了時間帯をお答えください。

【全体】

- 平日の定期的な教育・保育事業の希望終了時間帯について、「17時まで」が22.2%で最も多く、次いで「16時まで」が19.3%、「18時まで」が15.3%となっています。

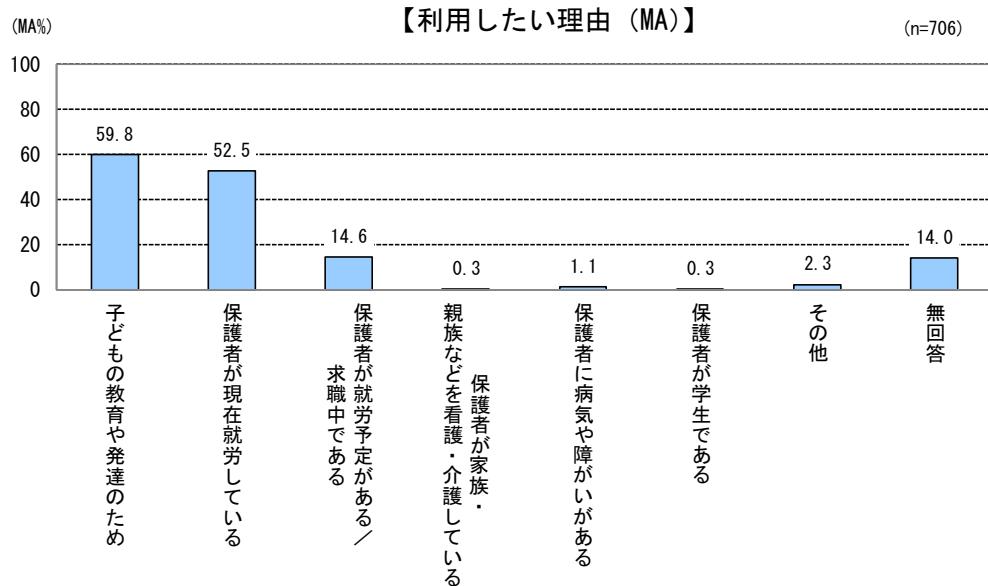
【平日の定期的な教育・保育事業の希望終了時間帯】



問32-6 平日に定期的に教育・保育を利用したいとお考えになる理由についてうかがいます。(MA)

【全体】

- 利用したい理由について、「子どもの教育や発達のため」が 59.8%で最も多く、次いで「保護者が現在就労している」が 52.5%、「保護者が就労予定がある／求職中である」が 14.6%となっています。
- その他の内訳として、親の負担減（9件）、就労（3件）、平日の用事・家事（1件）、復職後も親子の時間を大切にしたい（1件）、親の病院のため（1件）となっています。



(2) 期待するサービスやメリット

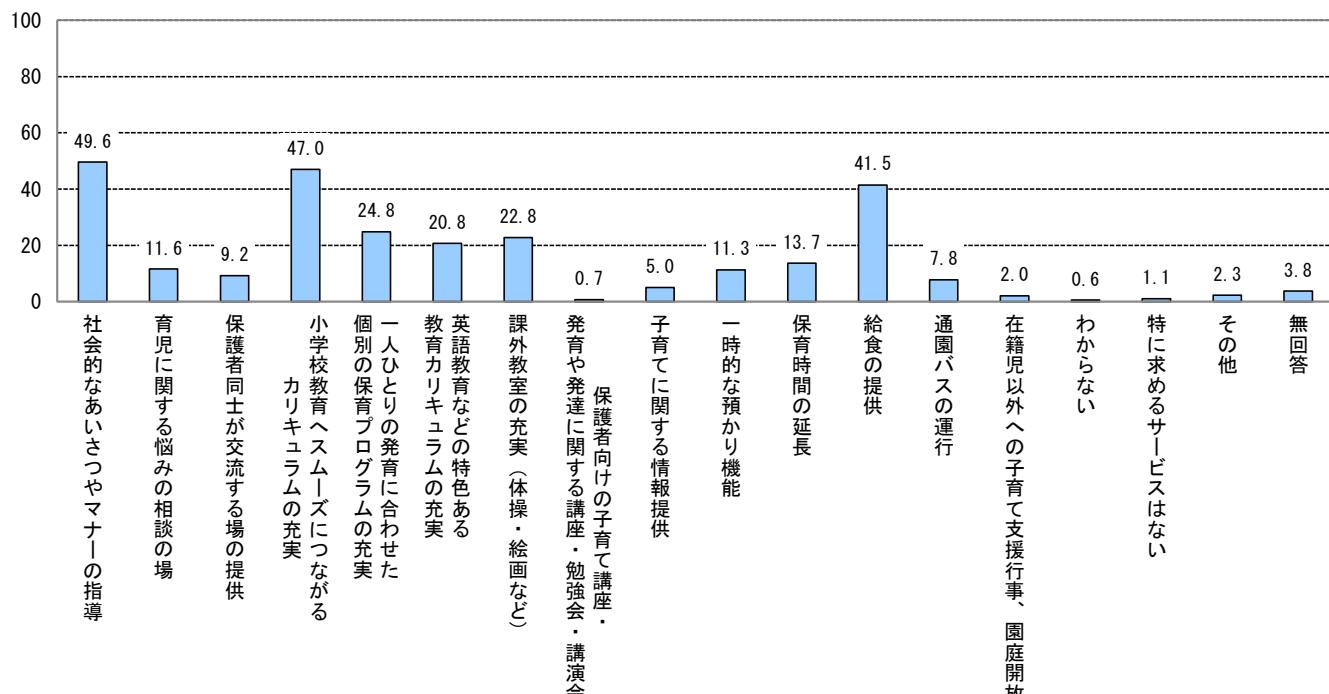
問33 保育所（園）・幼稚園・認定こども園にどのような付加的なサービスやメリットを期待しますか。(3LA)

【全体】

- 期待する付加的なサービスやメリットについて、「社会的なあいさつやマナーの指導」が 49.6%で最も多く、次いで「小学校教育へスムーズにつながるカリキュラムの充実」が 47.0%、「給食の提供」が 41.5%となっています。
- その他の内訳として、集団生活/生活の指導（3件）、病児保育（3件）、自由や自然での遊びの充実（3件）、食育/給食提供（2件）、人員の増加・養護教諭や看護師の配置（2件）、習い事/幼児教育実（2件）となっています。

【期待する付加的なサービスやメリット (3LA)】

(3LA%) (n=706)



6. お子さんの長期休暇中の定期的な教育・保育の利用希望について

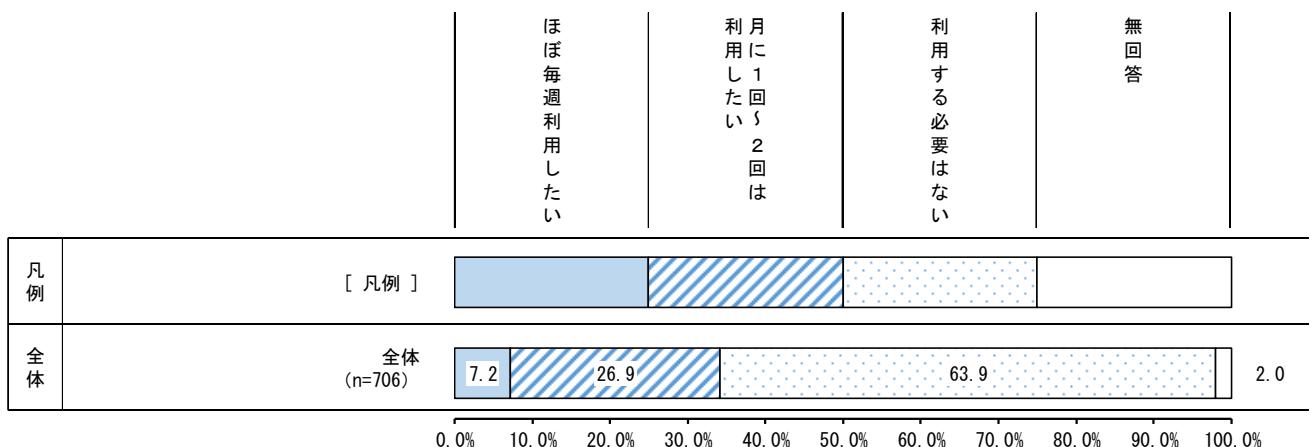
(1) 土曜日、日曜日の教育・保育の利用希望

問34 (1) a お子さんについて、土曜日に、「定期的な教育・保育」の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

【全体】

- 土曜日の利用希望について、「利用する必要はない」が 63.9%で最も多く、次いで「月に1回～2回は利用したい」が 26.9%、「ほぼ毎週利用したい」が 7.2%となっています。

【土曜日の利用希望】

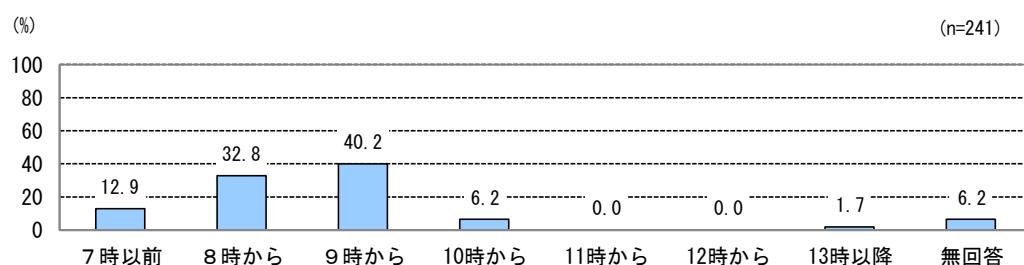


問34 (1) b 土曜日の定期的な教育・保育事業の希望開始時間帯をお答えください。

【全体】

- 土曜日の定期的な教育・保育事業の希望開始時間帯について、「9時から」が 40.2%で最も多く、次いで「8時から」が 32.8%、「7時以前」が 12.9%となっています。

【土曜日の定期的な教育・保育事業の希望開始時間帯】

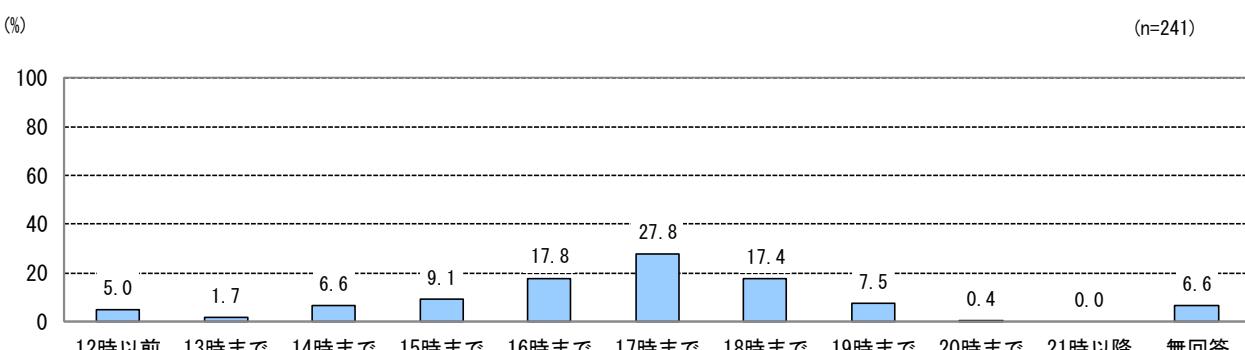


問34 (1) c 土曜日の定期的な教育・保育事業の希望終了時間帯をお答えください。

【全体】

- 土曜日の定期的な教育・保育事業の希望終了時間帯について、「17時まで」が 27.8%で最も多く、次いで「16時まで」が 17.8%、「18時まで」が 17.4%となっています。

【土曜日の定期的な教育・保育事業の希望終了時間帯】

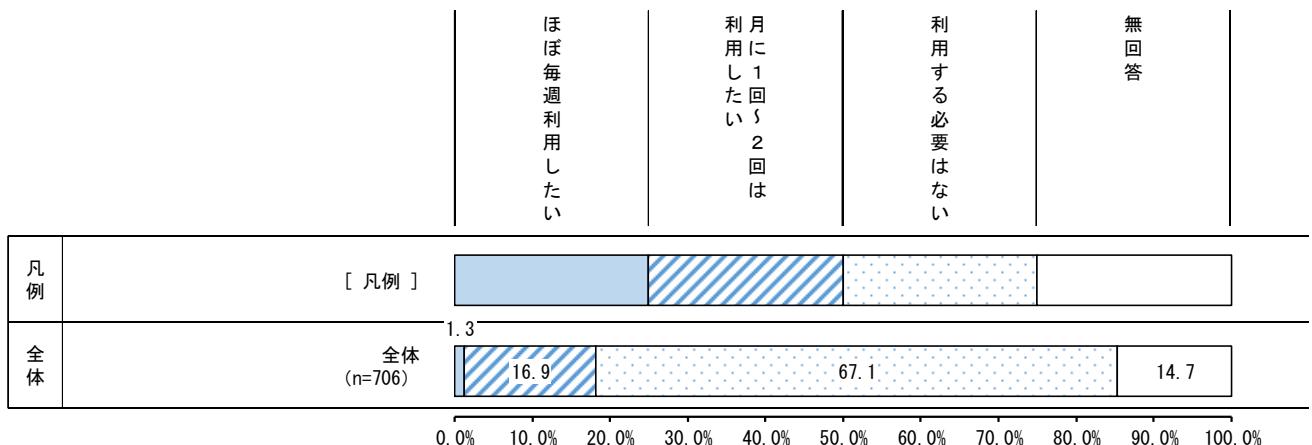


問34（2）a お子さんについて、日曜日・祝日に、「定期的な教育・保育」の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

【全体】

- 日曜日・祝日の利用希望について、「利用する必要はない」が 67.1%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 16.9%、「ほぼ毎週利用したい」が 1.3%となっています。

【日曜日・祝日の利用希望】

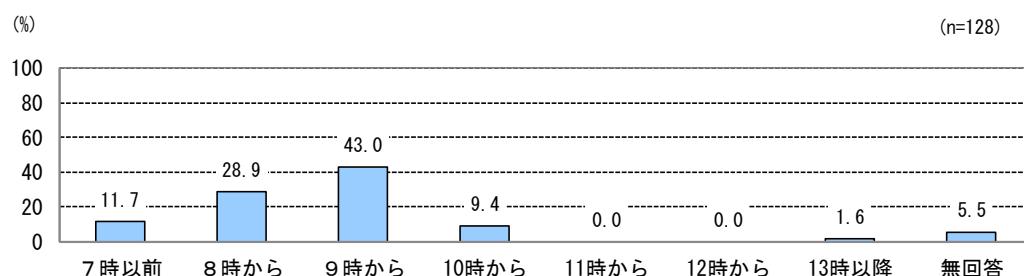


問34（2）b 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の希望開始時間帯をお答えください。

【全体】

- 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の希望開始時間帯について、「9時から」が 43.0%で最も多く、次いで「8時から」が 28.9%、「7時以前」が 11.7%となっています。

【日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の希望開始時間帯】

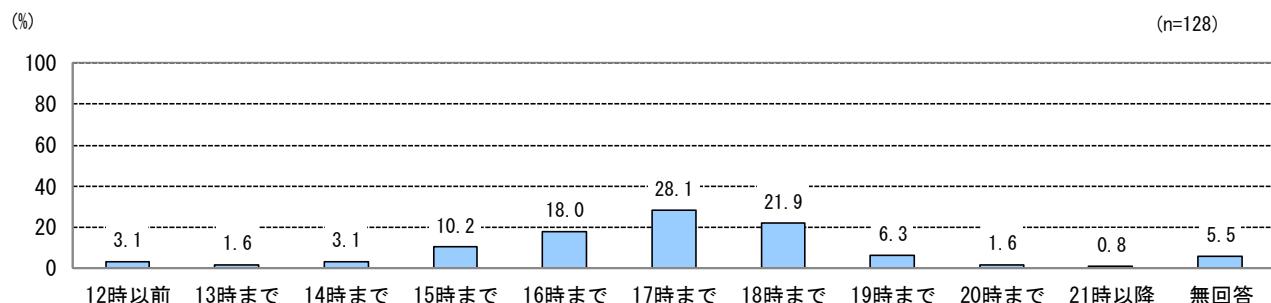


問34（2）c 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の希望終了時間帯をお答えください。

【全体】

- 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の希望終了時間帯について、「17時まで」が 28.1%で最も多く、次いで「18時まで」が 21.9%、「16時まで」が 18.0%となっています。

【日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の希望終了時間帯】

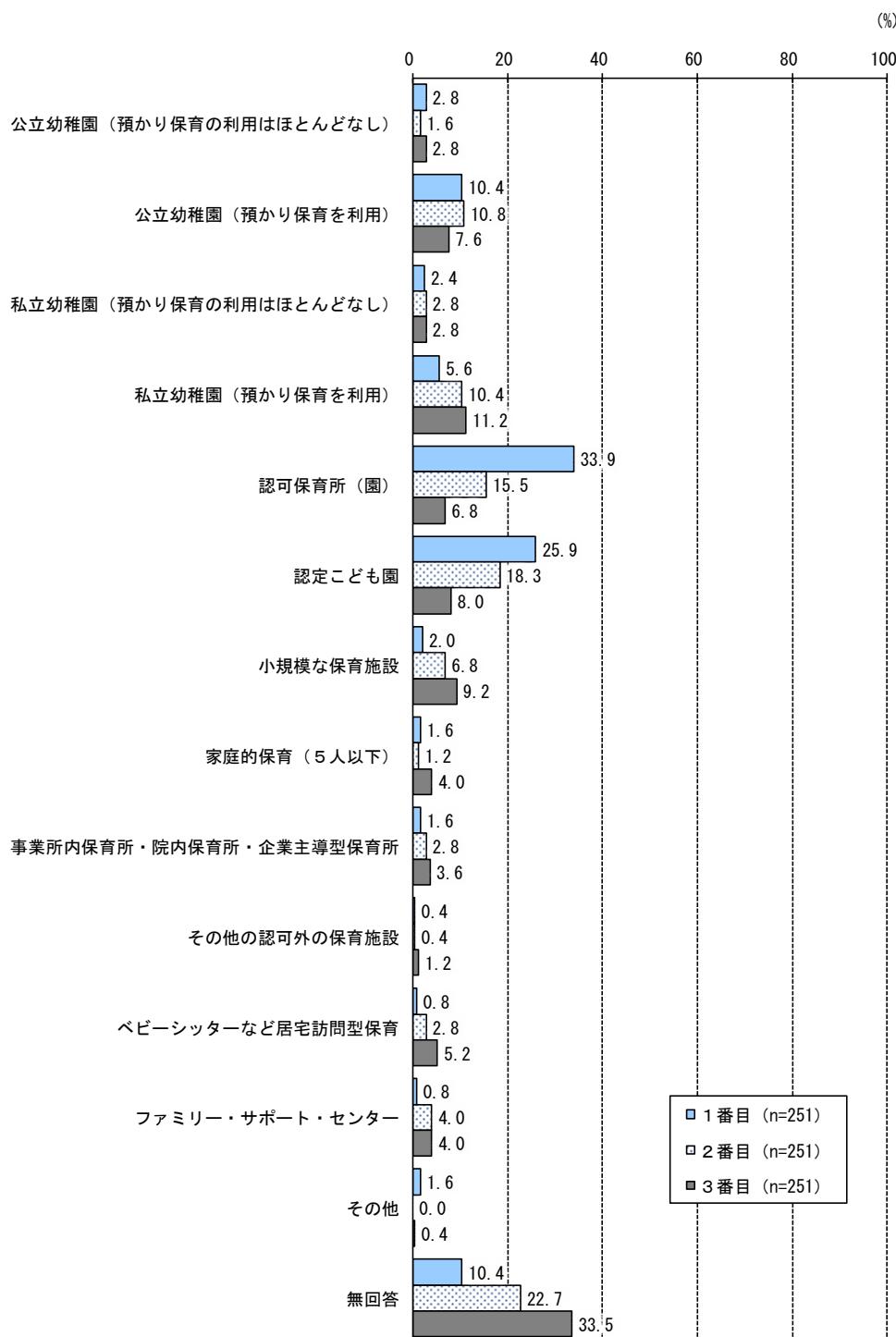


問34（1）-1 利用している、利用していないに関わらず、宛名のお子さんの土曜の教育・保育として「定期的に」利用したいと考える事業を順番にお答えください。（問34の（1）もしくは（2）で、「1. ほぼ毎週利用したい」「2. 月に1～2回は利用したい」を選んだ方）

【全体】

- 1番目について、「認可保育所（園）」が33.9%で最も多く、次いで「認定こども園」が25.9%、「公立幼稚園（預かり保育を利用）」が10.4%となっています。
- 2番目について、「認定こども園」が18.3%で最も多く、次いで「認可保育所（園）」が15.5%、「公立幼稚園（預かり保育を利用）」が10.8%となっています。
- 3番目について、「私立幼稚園（預かり保育を利用）」が11.2%で最も多く、次いで「小規模な保育施設」が9.2%、「認定こども園」が8.0%となっています。

【利用したいと考える事業（1番目～3番目）】

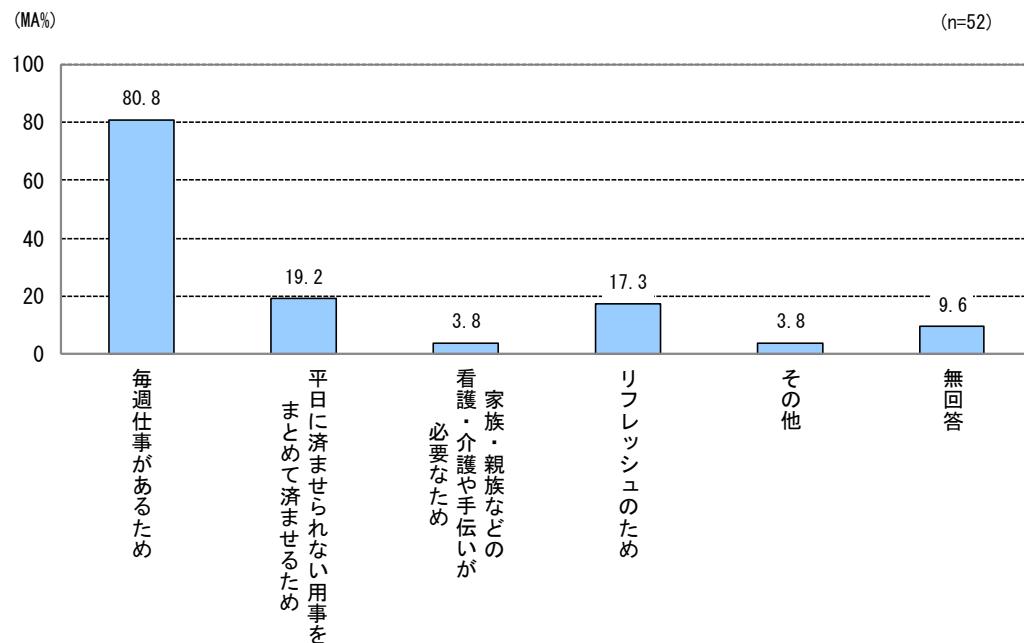


問34-1 毎週利用したい理由は何ですか。(MA)（問34の（1）もしくは（2）で、「1. ほぼ毎週利用したい」を選んだ方）

【全体】

- 毎週利用したい理由について、「毎週仕事があるため」が 80.8%で最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 19.2%、「リフレッシュのため」が 17.3%となっています。
- その他の内訳として、子どもの発達が気がかりなためなどの意見も挙がっています。

【毎週利用したい理由 (MA)】

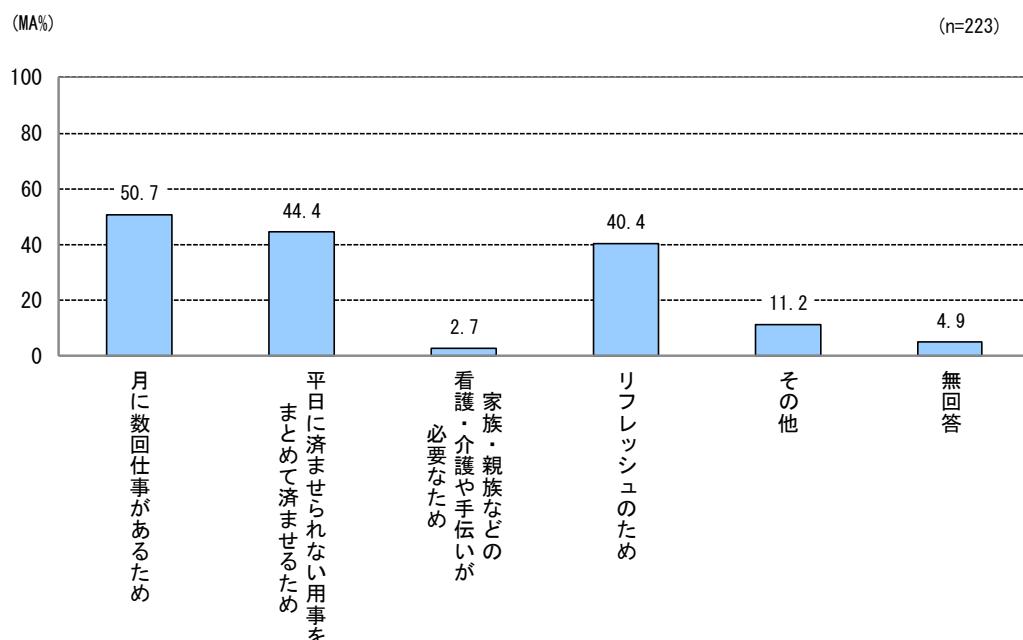


問34-2 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(MA)（問34の（1）もしくは（2）で、「2. 月に1回～2回は利用したい」を選んだ方）

【全体】

- たまに利用したい理由について、「月に数回仕事があるため」が 50.7%で最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 44.4%、「リフレッシュのため」が 40.4%となっています。
- その他の内訳として、仕事（11件）、用事（4件）、他のきょうだいのため（5件）、通院（1件）となっています。

【たまに利用したい理由 (MA)】



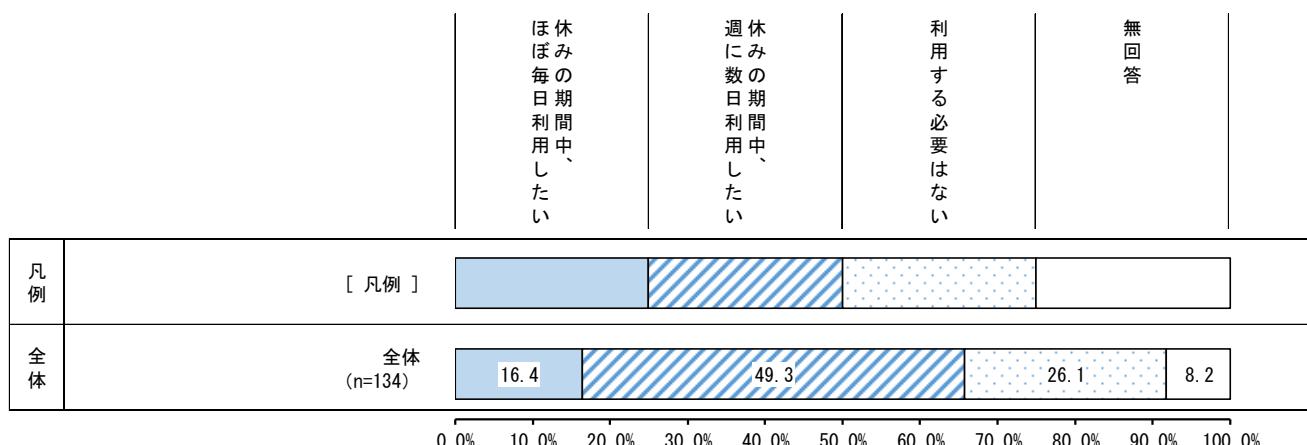
(2) 長期の休暇期間中の教育・保育の利用希望

問35 幼稚園を利用されているお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の利用を希望しますか。(現在、「幼稚園」を利用されている方)

【全体】

- 長期休暇期間中の利用希望について、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 49.3%で最も多く、次いで「利用する必要はない」が 26.1%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 16.4%となっています。

【長期休暇期間中の利用希望】

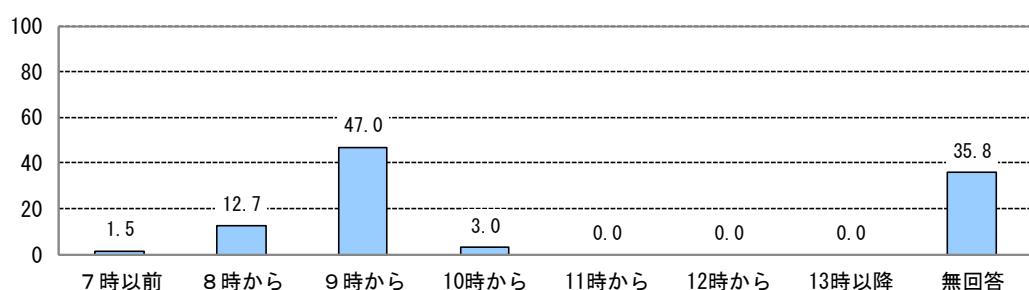


問35 (1) 長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の希望開始時間帯をお答えください。

【全体】

- 長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の希望開始時間帯について、「9時から」が 47.0%で最も多く、次いで「8時から」が 12.7%、「10時から」が 3.0%、「13時以降」が 35.8%となっています。

【長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の希望開始時間帯】
(n=134)

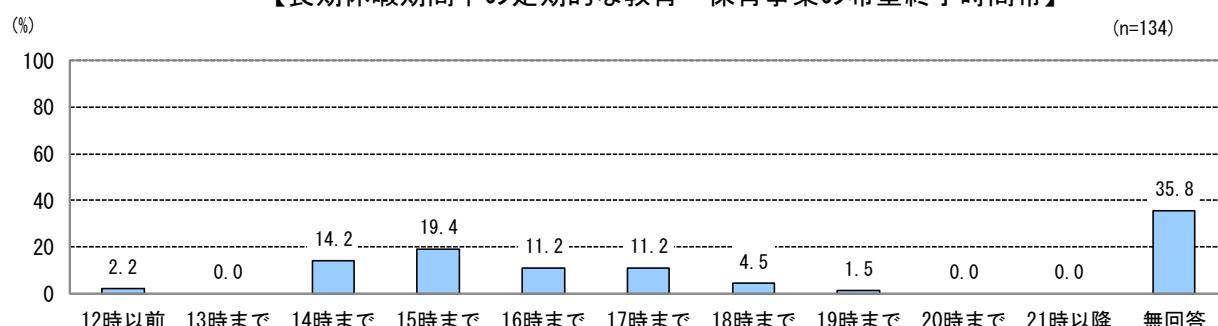


問35 (2) 長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の希望終了時間帯をお答えください。

【全体】

- 長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の希望終了時間帯について、「15時まで」が 19.4%で最も多く、次いで「14時まで」が 14.2%、「16時まで」が 11.2%、「17時まで」が 11.2%、「18時まで」が 4.5%、「19時まで」が 1.5%、「20時まで」が 0.0%、「21時以降」が 35.8%となっています。

【長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の希望終了時間帯】

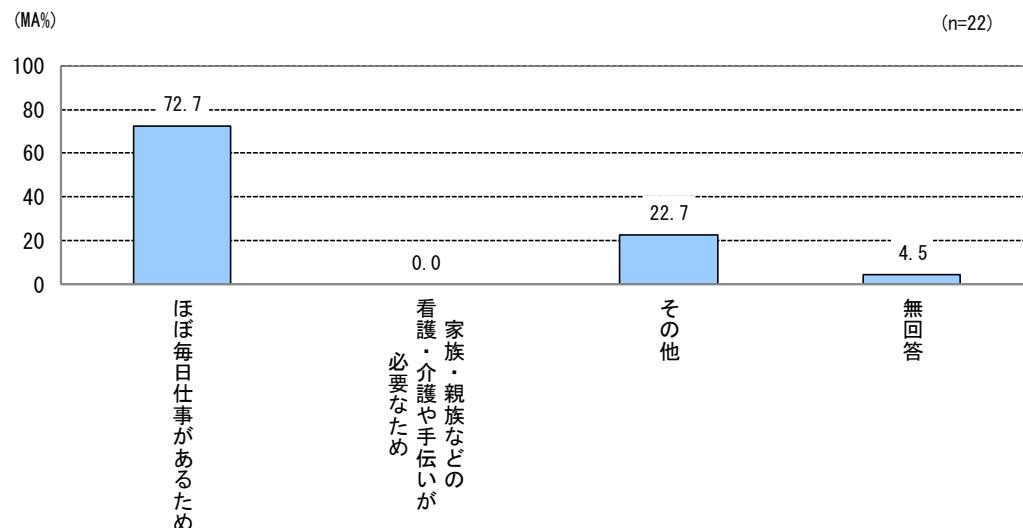


問35-1 利用したい理由は何ですか。(MA)（問35で、「1. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」を選んだ方）

【全体】

- 利用したい理由について、「ほぼ毎日仕事があるため」が 72.7%で最も多く、次いで「その他」が 22.7%となっています。
- その他の内訳として、子どもの交流などのため（2件）、家よりも良いから（2件）、子どもの生活リズムのため（1件）、就業のため（1件）、家事・リフレッシュのため（1件）となっています。

【利用したい理由 (MA)】

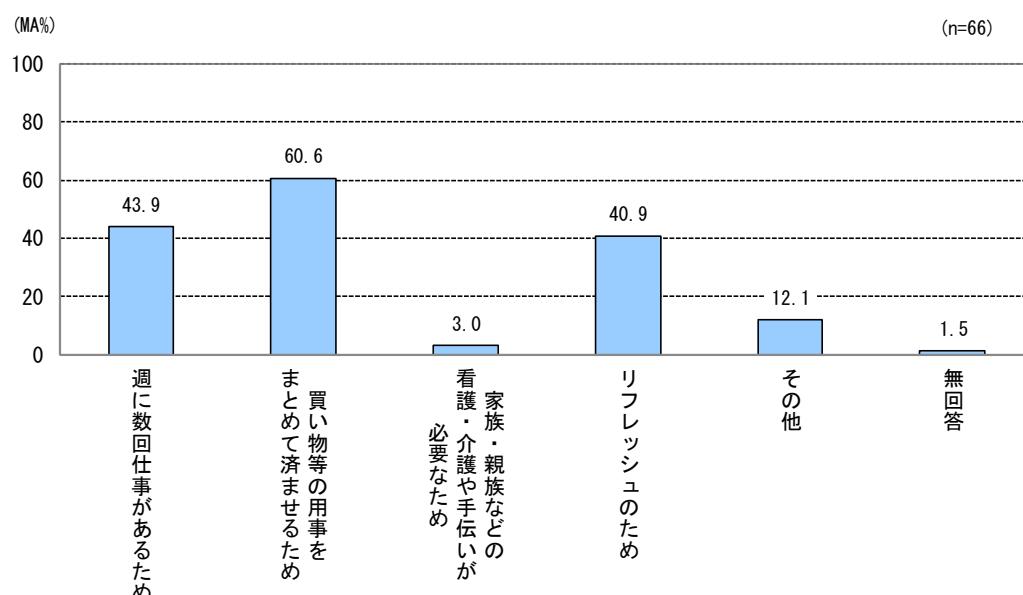


問35-2 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(MA)（問35で、「2. 休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方）

【全体】

- たまに利用したい理由について、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 60.6%で最も多く、次いで「週に数回仕事があるため」が 43.9%、「リフレッシュのため」が 40.9%となっています。
- その他の内訳として、子どもの交流などのため（6件）、就業のため（3件）、子どもの生活リズムのため（2件）となっています。

【たまに利用したい理由 (MA)】



7. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

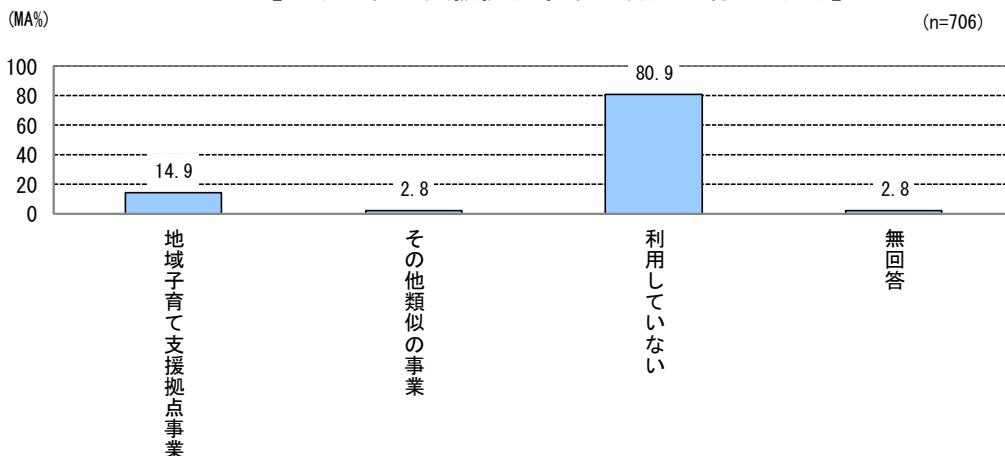
(1) 子育て支援事業の利用状況

問36 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。(MA)

【全体】

- 地域子育て支援拠点事業の利用の有無について、「利用していない」が 80.9%で最も多く、次いで「地域子育て支援拠点事業」が 14.9%、「その他類似の事業」が 2.8%となっています。
- 「その他類似の事業」の内訳として、児童館（8件）、親子教室（5件）、その他の施設（4件）となっています。

【地域子育て支援拠点事業の利用の有無 (MA)】

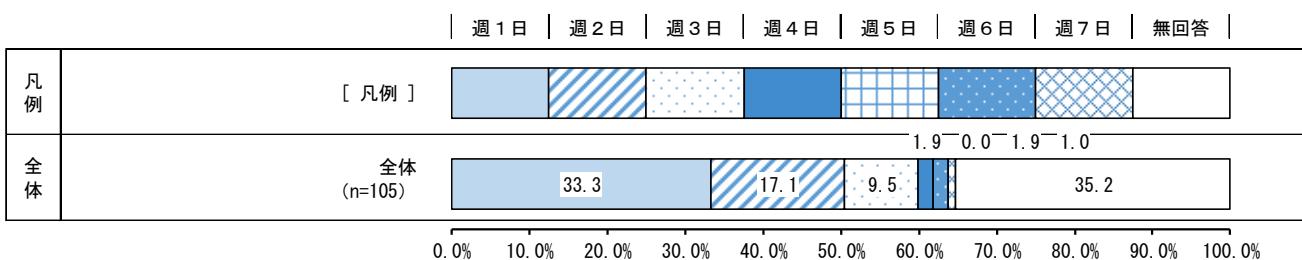


問36 (1) 地域子育て支援拠点事業の1週間あたりの利用回数をお答えください。

【全体】

- 地域子育て支援拠点事業の1週間あたりの利用回数について、「週1日」が 33.3%で最も多く、次いで「週2日」が 17.1%、「週3日」が 9.5%となっています。

【地域子育て支援拠点事業の1週間あたりの利用回数】

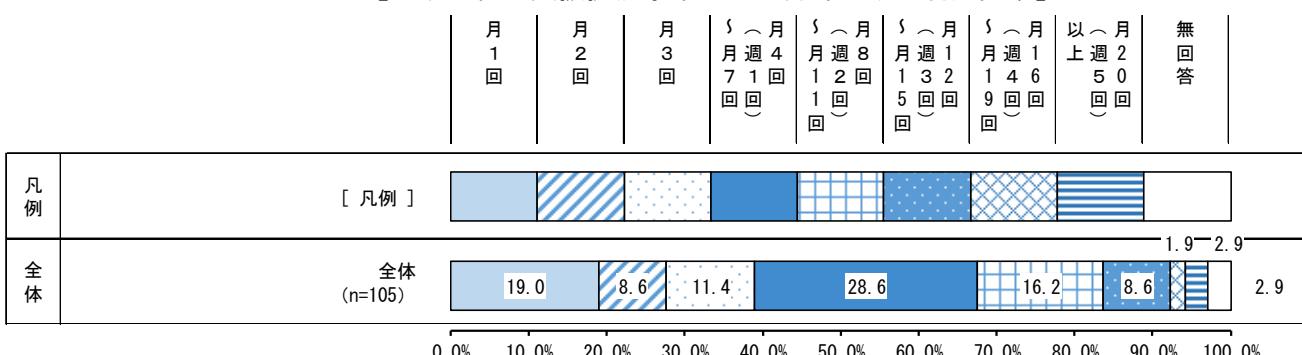


問36 (2) 地域子育て支援拠点事業の1か月あたりの利用回数をお答えください。

【全体】

- 地域子育て支援拠点事業の1か月あたりの利用回数について、「月4回(週1回)～月7回」が 28.6%で最も多く、次いで「月1回」が 19.0%、「月8回(週2回)～月11回」が 16.2%となっています。

【地域子育て支援拠点事業の1か月あたりの利用回数】

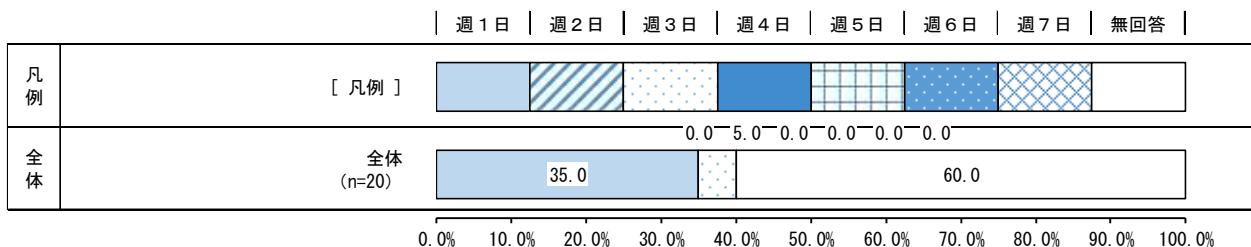


問36（3） その他当該自治体で実施している類似の事業の1週間あたりの利用回数をお答えください。

【全体】

- その他当該自治体で実施している類似の事業の1週間あたりの利用回数について、「週1日」が35.0%で最も多く、次いで「週3日」が5.0%となっています。

【その他当該自治体で実施している類似の事業の1週間あたりの利用回数】

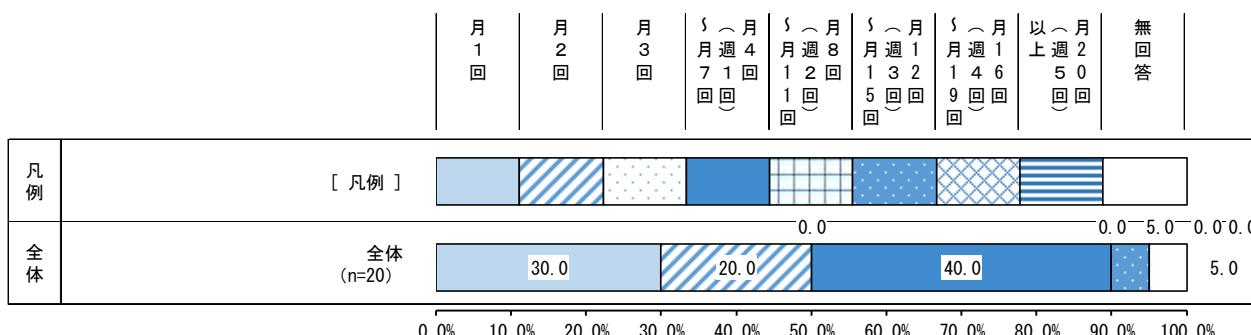


問36（4） その他当該自治体で実施している類似の事業の1か月あたりの利用回数をお答えください。

【全体】

- その他当該自治体で実施している類似の事業の1か月あたりの利用回数について、「月4回（週1回）～月7回」が40.0%で最も多く、次いで「月1回」が30.0%、「月2回」が20.0%となっています。

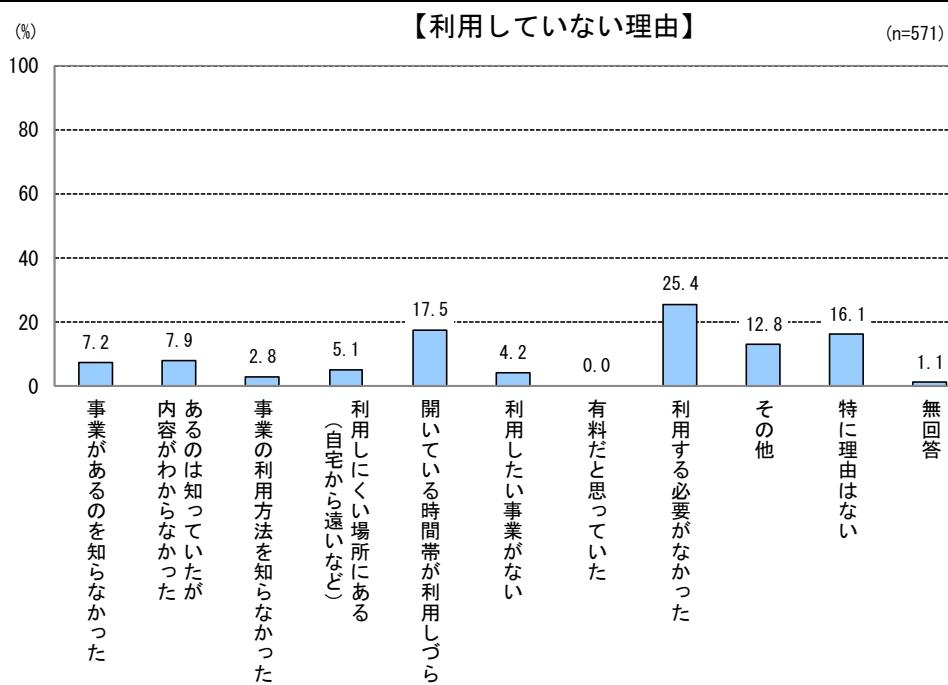
【その他当該自治体で実施している類似の事業の1か月あたりの利用回数】



問36-1 現在利用していない理由は何ですか。（問36で「3. 利用していない」を選んだ方）

【全体】

- 利用していない理由について、「利用する必要がなかった」が25.4%で最も多く、次いで「開いている時間帯が利用しづらい」が17.5%、「特に理由はない」が16.1%となっています。
- その他の内訳として、年齢制限・利用資格、子どもの年齢が合わない（30件）、就園のため（21件）、時間が合わない、時間がない（13件）、予約制のため（6件）、親の特性（4件）、場所が不便（4件）、子どもの特性（3件）となっています。また、魅力がない、コロナ禍で使えなかつた、コロナ以降抵抗がある、きょうだいがいるため、過去に利用していたなどの意見も挙がっています。

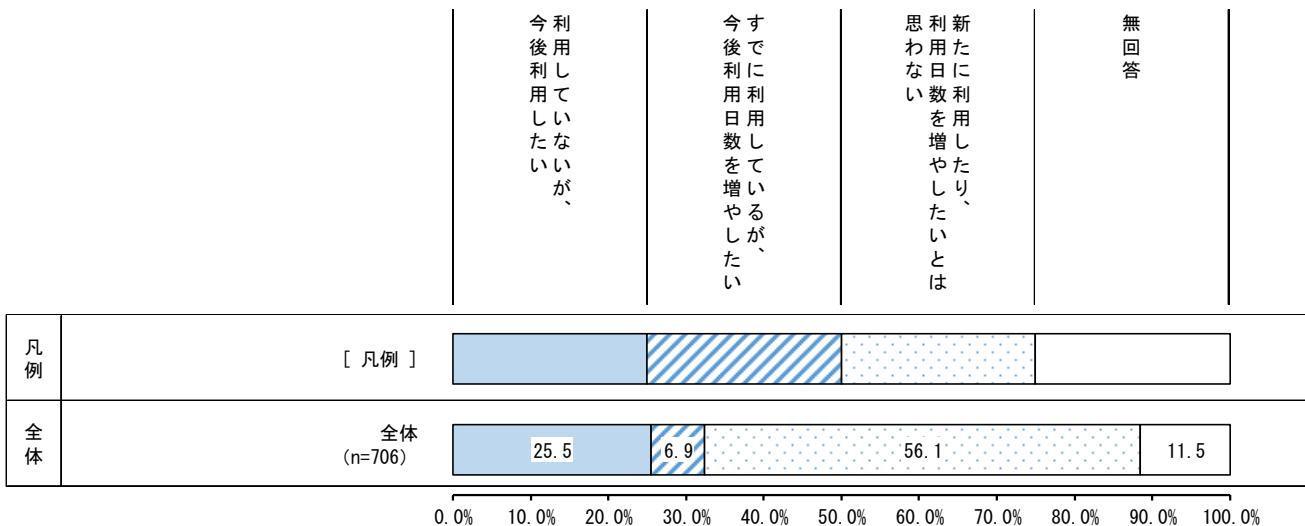


問37 今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。

【全体】

- 今後の利用希望について、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 56.1%で最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 25.5%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 6.9%となっています。

【今後の利用希望】

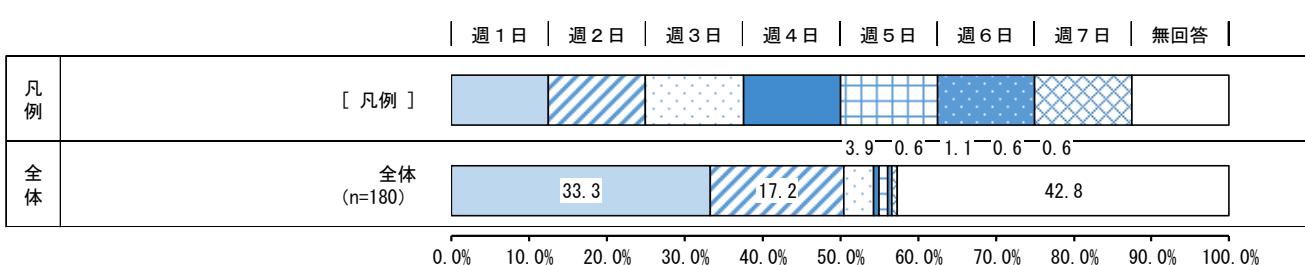


問37（1）地域子育て支援拠点事業を利用したい1週間あたりの回数をお答えください。

【全体】

- 地域子育て支援拠点事業を利用したい1週間あたりの回数について、「週1日」が 33.3%で最も多く、次いで「週2日」が 17.2%、「週3日」が 3.9%となっています。

【地域子育て支援拠点事業を利用したい1週間あたりの回数】

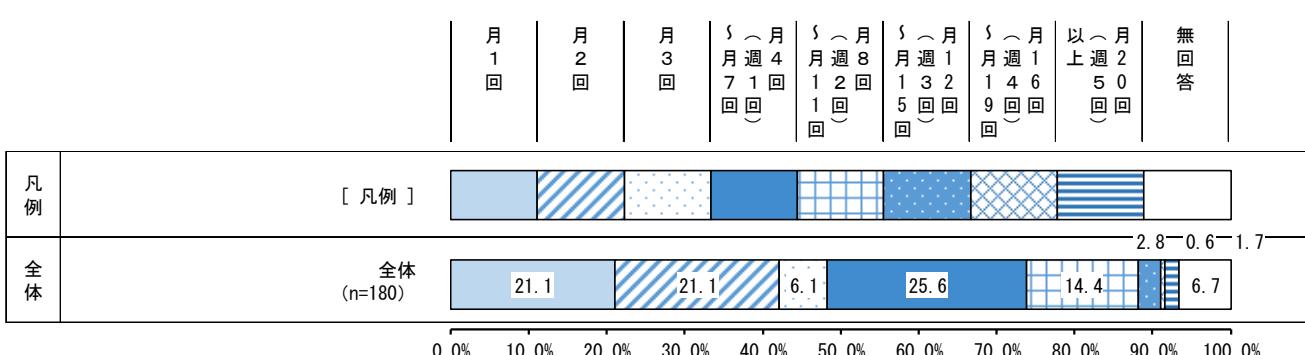


問37（2）地域子育て支援拠点事業を利用したい1か月あたりの回数をお答えください。

【全体】

- 地域子育て支援拠点事業を利用したい1か月あたりの回数について、「月4回（週1回）～月7回」が 25.6%で最も多く、次いで「月1回」「月2回」が 21.1%、「月8回（週2回）～月11回」が 14.4%となっています。

【地域子育て支援拠点事業を利用したい1か月あたりの回数】

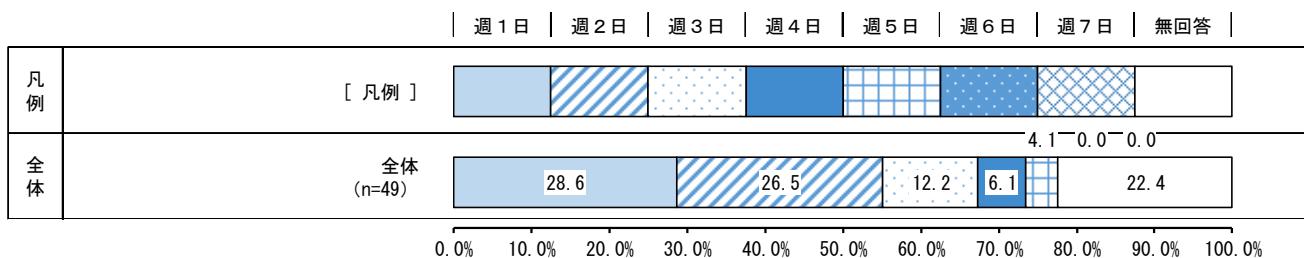


問37（3） 地域子育て支援拠点事業の利用を増やしたい1週間あたりの回数をお答えください。

【全体】

- 地域子育て支援拠点事業の利用を増やしたい1週間あたりの回数について、「週1日」が28.6%で最も多く、次いで「週2日」が26.5%、「週3日」が12.2%となっています。

【地域子育て支援拠点事業の利用を増やしたい1週間あたりの回数】

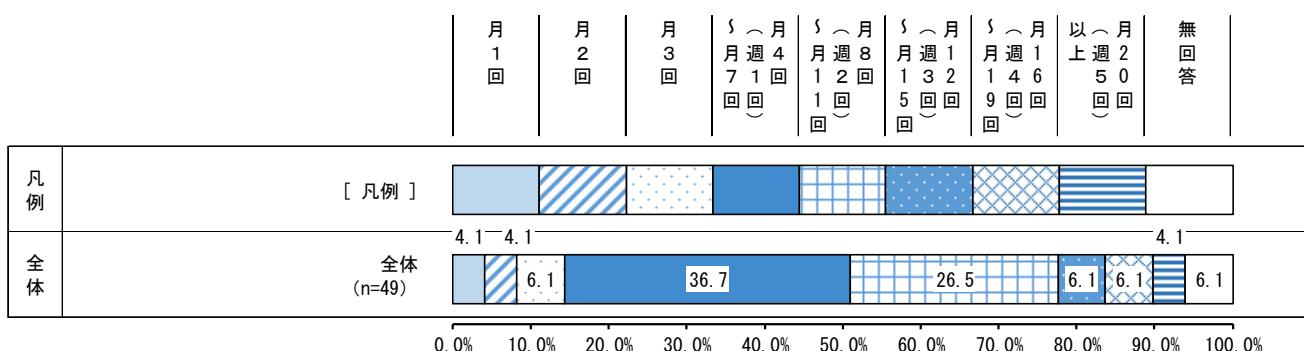


問37（4） 地域子育て支援拠点事業の利用を増やしたい1か月あたりの回数をお答えください。

【全体】

- 地域子育て支援拠点事業の利用を増やしたい1か月あたりの回数について、「月4回（週1回）～月7回」が36.7%で最も多く、次いで「月8回（週2回）～月11回」が26.5%、「月3回」「月12回（週3回）～月15回」「月16回（週4回）～月19回」が6.1%となっています。

【地域子育て支援拠点事業の利用を増やした1か月あたりの回数】



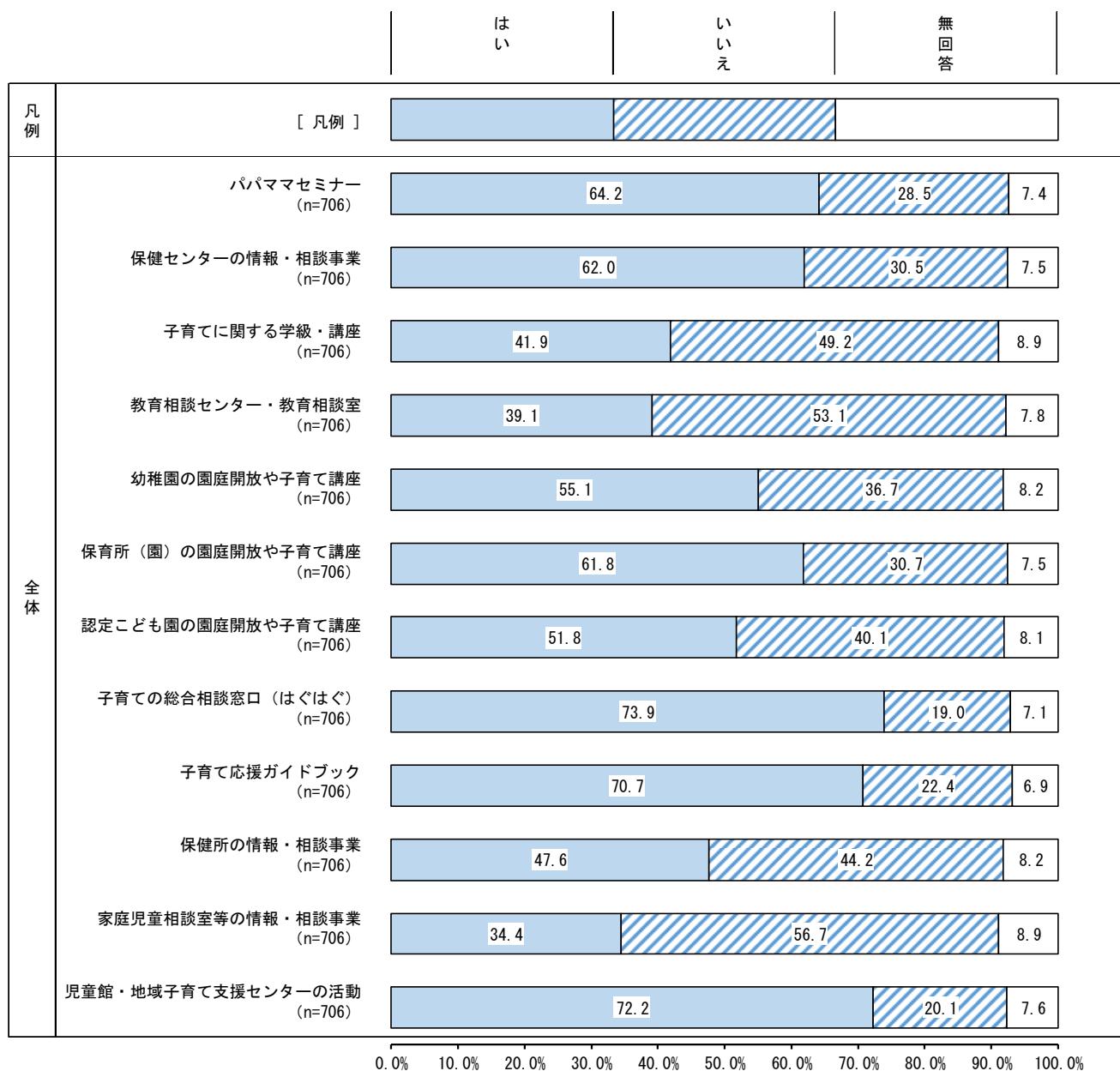
(2) 京田辺市が実施している事業の認知・利用状況

問38 (1) 京田辺市が行っている事業を知っていますか。

【全体】

- 京田辺市が行っている事業の認知について、「はい」は子育ての総合相談窓口（はぐはぐ）が 73.9%、児童館・地域子育て支援センターの活動が 72.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「いいえ」は家庭児童相談室等の情報・相談事業が 56.7%、教育相談センター・教育相談室が 53.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【京田辺市が行っている事業の認知】

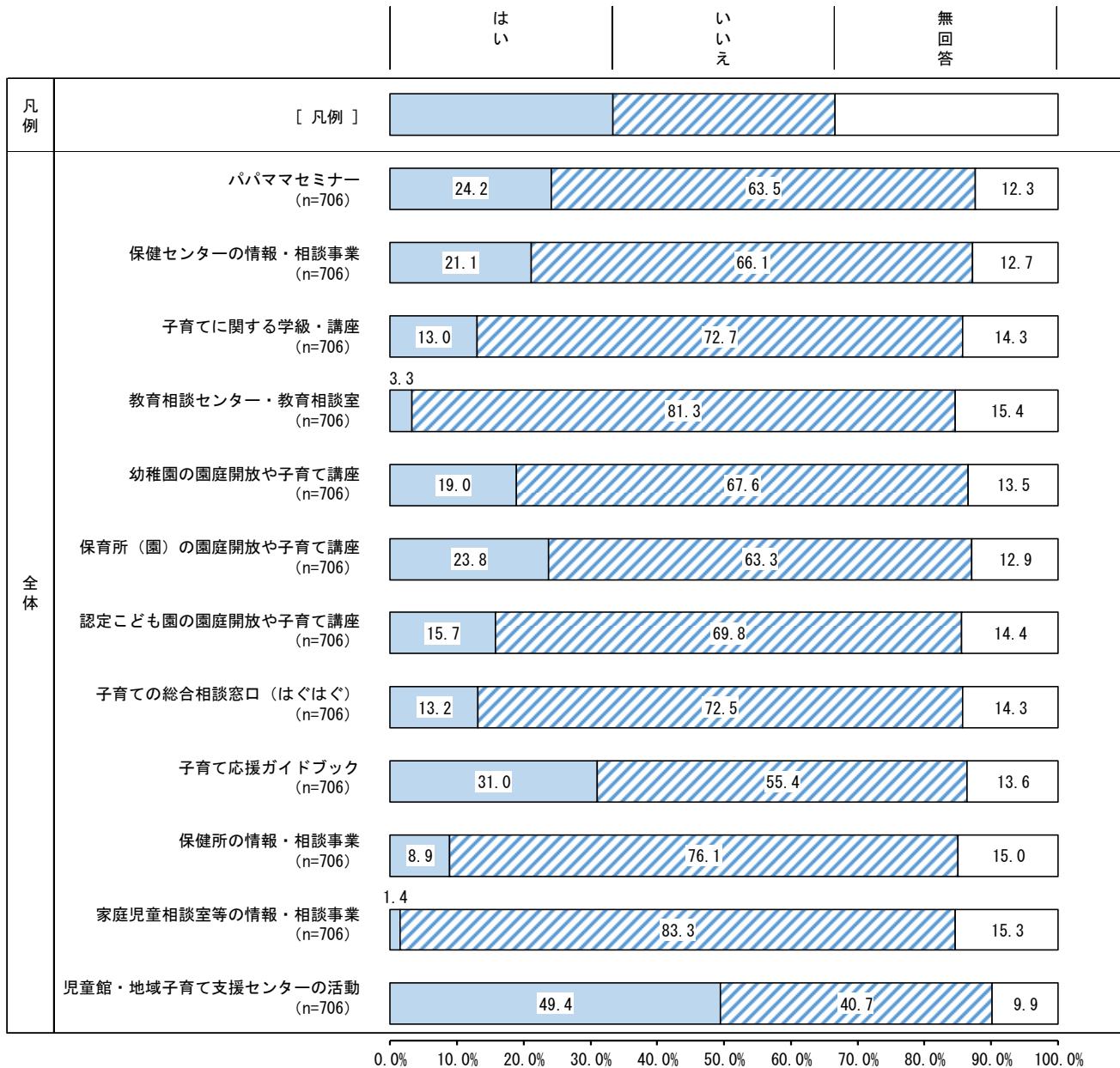


問38（2）京田辺市が行っている事業を利用したことがありますか。

【全体】

- 京田辺市が行っている事業の利用について、「はい」は児童館・地域子育て支援センターの活動が49.4%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「いいえ」は家庭児童相談室等の情報・相談事業が83.3%、教育相談センター・教育相談室が81.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【京田辺市が行っている事業の利用】

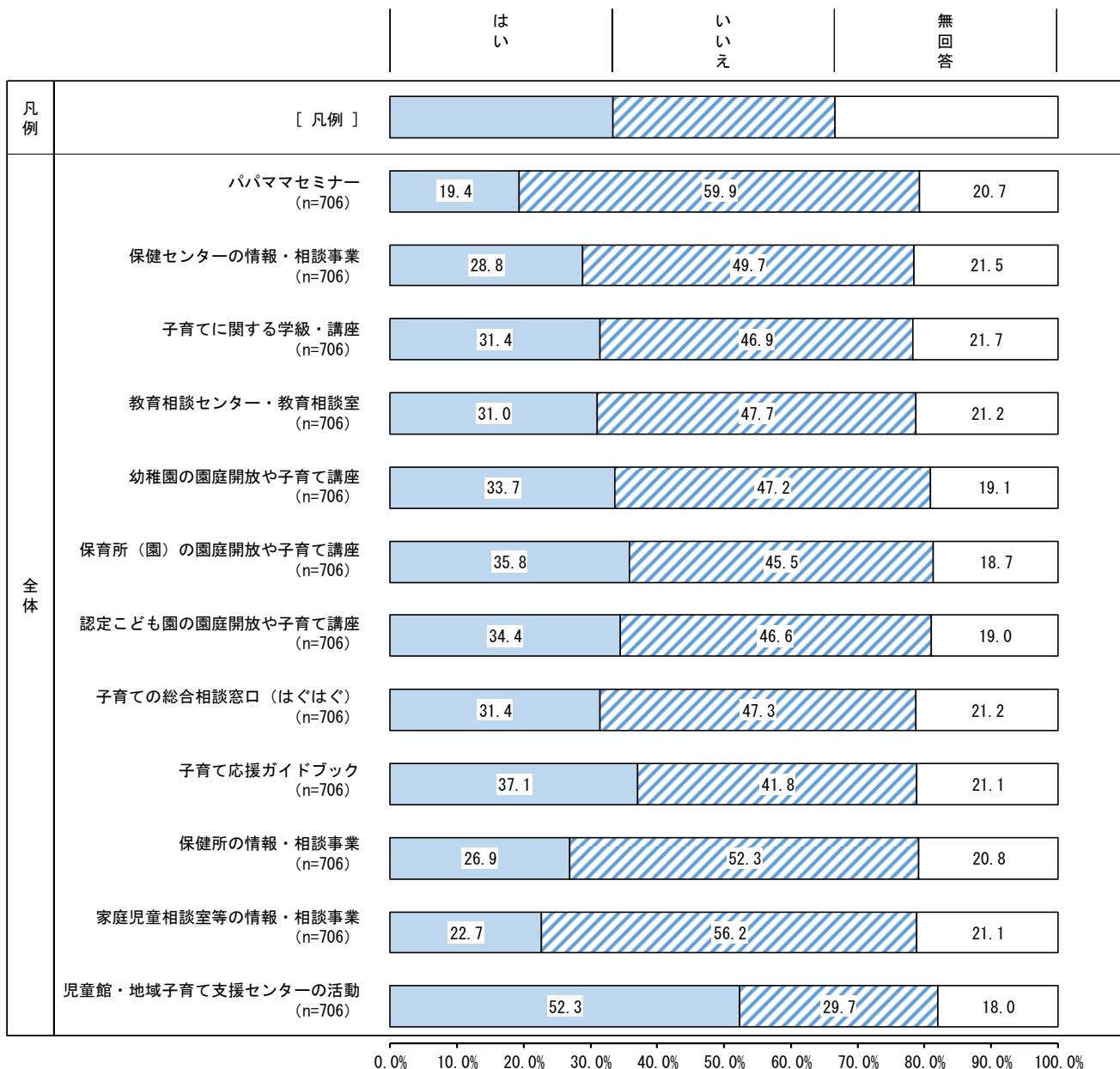


問38（3）京田辺市が行っている事業を今後利用したいと思いますか。

【全体】

- 京田辺市が行っている事業の利用希望について、「はい」は児童館・地域子育て支援センターの活動が52.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「いいえ」はパパママセミナーが59.9%、家庭児童相談室等の情報・相談事業が56.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【京田辺市が行っている事業の利用希望】



8. お子さんの病気の際の対応について

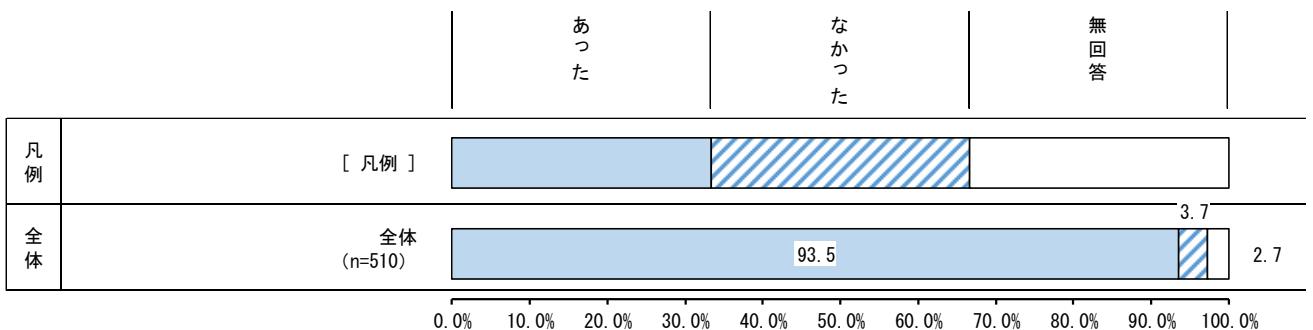
(1) お子さんの病気の際の対応

問39 この1年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園、保育所（園）などを休んだことはありますか。

【全体】

- 病気やケガで幼稚園、保育所（園）などを休んだことについて、「あった」が93.5%、「なかった」が3.7%となっています。

【病気やケガで幼稚園、保育所（園）などを休んだこと】

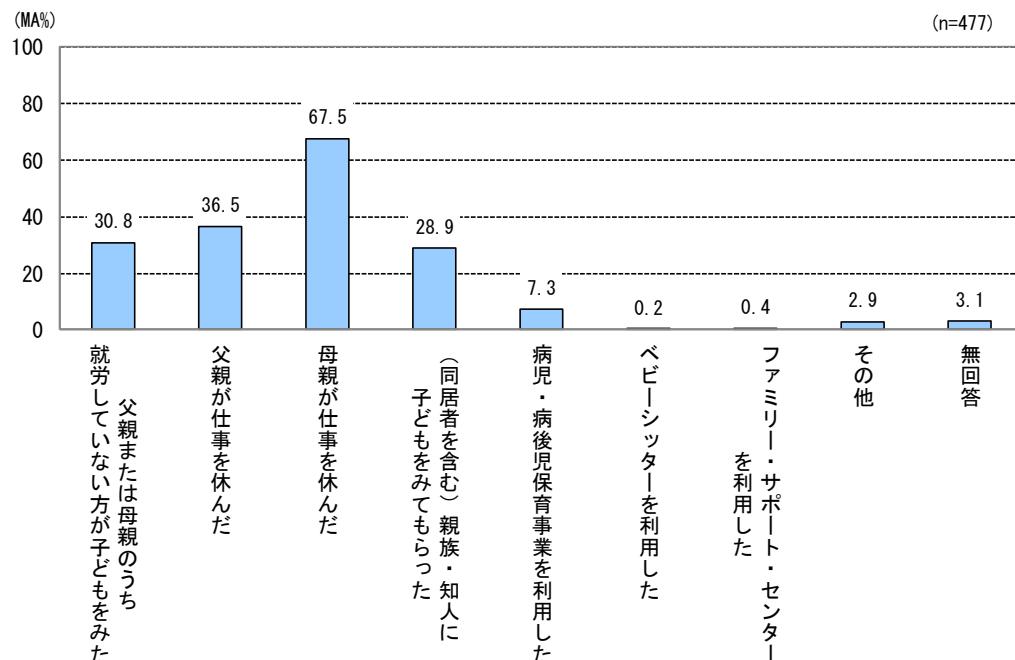


問39-1 (1) お子さんが病気やケガで幼稚園、保育所（園）などを休んだ場合に、この1年間に行った対応をお答えください。(MA) (問39で「1. あった」を選んだ方)

【全体】

- 1年間の対処方法について、「母親が仕事を休んだ」が67.5%で最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」が36.5%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が30.8%となっています。
- その他の内訳として、在宅勤務（9件）、休暇中（3件）、祖父母（2件）となっています。

【1年間の対処方法 (MA)】

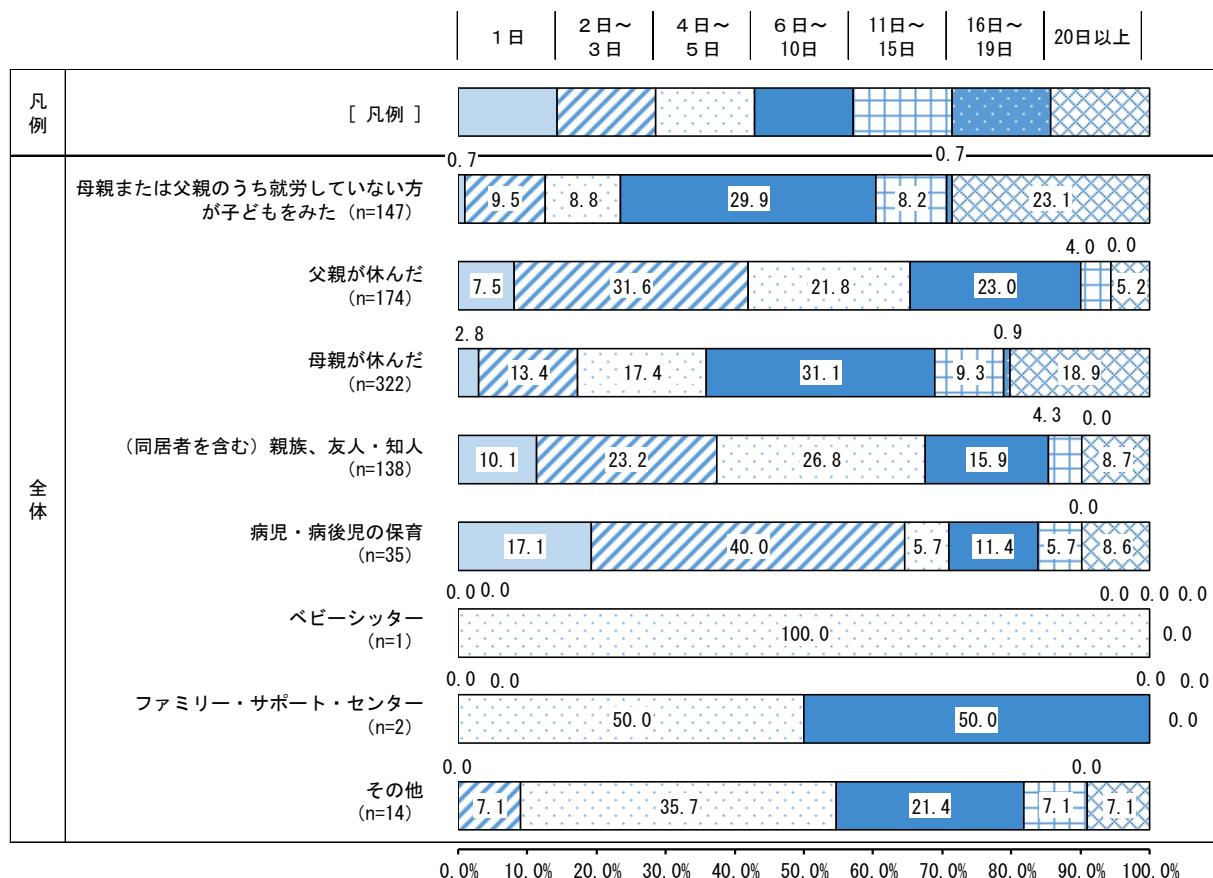


問39-1 (2) 1年間に行った対応の日数をお答えください。

【全体】

- 父親が休んだについて、「2～3日」が31.6%と最も多くなっています。
- 母親が休んだについて「6～10日」が31.1%と最も多くなっています。

【1年間に行った対応の日数】

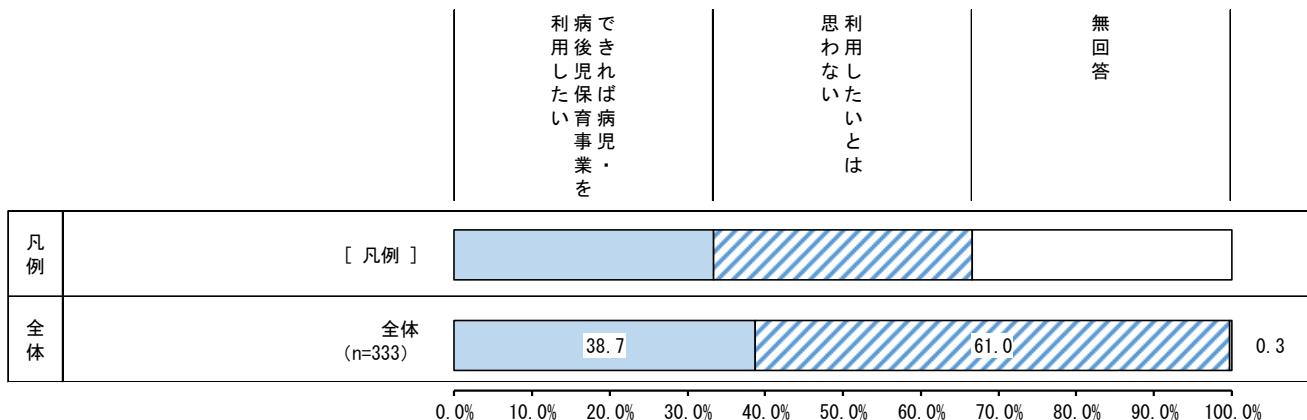


問39-2 その際、できれば病児・病後児保育事業を利用したいと思いましたか。なお、病児・病後児保育事業の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(問39-1で「イ 父親が仕事を休んだ」「ウ 母親が仕事を休んだ」を選んだ方)

【全体】

- 病児・病後児保育事業の利用希望について、「できれば病児・病後児保育事業を利用したい」が38.7%、「利用したいとは思わない」が61.0%となっています。

【病児・病後児保育事業の利用希望】

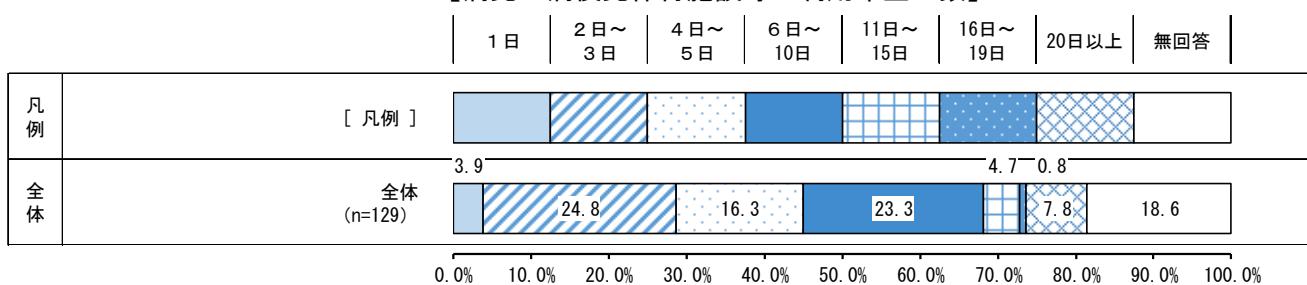


問39-2 (1) 病児・病後児保育施設等の1年間あたりの利用希望日数をお答えください。

【全体】

- 病児・病後児保育施設等の利用希望日数について、「2日～3日」が24.8%で最も多く、次いで「6日～10日」が23.3%、「4日～5日」が16.3%となっています。

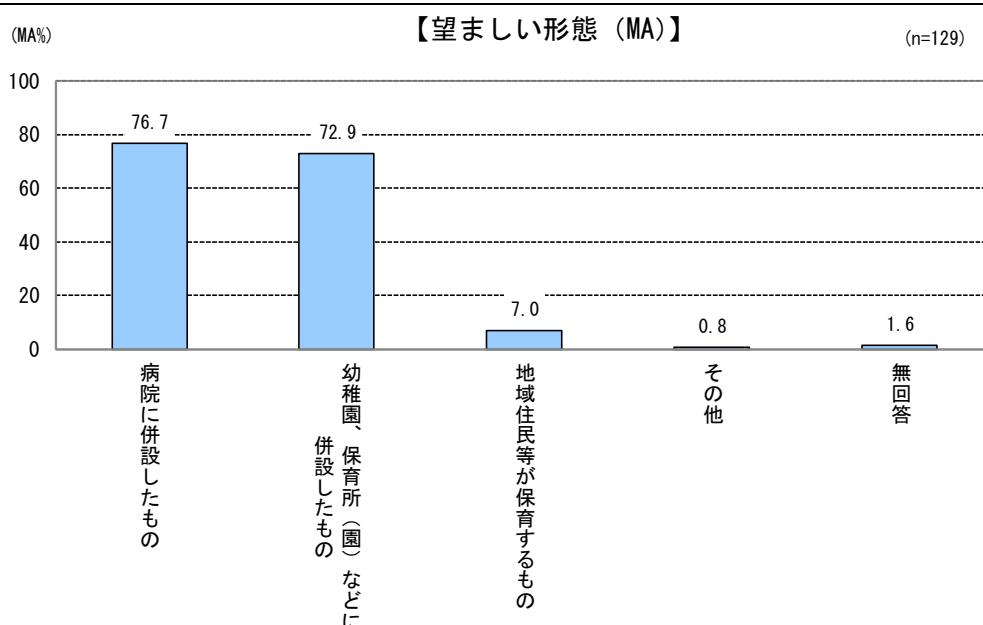
【病児・病後児保育施設等の利用希望日数】



問39-3 上記の目的で子どもを預ける場合、いずれの形態が望ましいと思いますか。(MA) (問39-2で「1.できれば病児・病後児保育事業を利用したい」を選んだ方)

【全体】

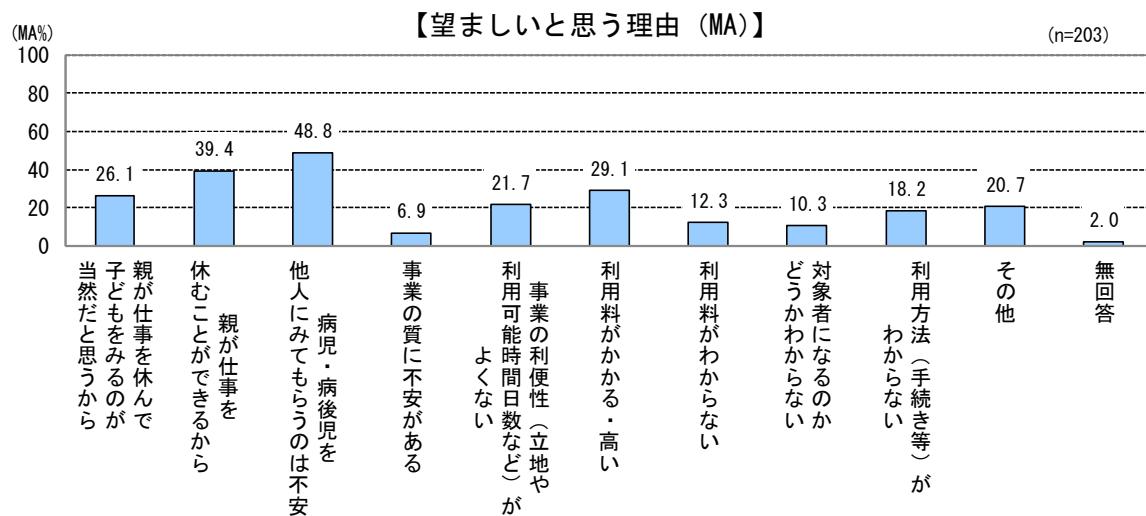
- 望ましい形態について、「病院に併設したもの」が76.7%で最も多く、次いで「幼稚園、保育所(園)などに併設したもの」が72.9%、「地域住民等が保育するもの」が7.0%となっています。



問39-4 利用したいとは思わない理由についてお答えください。(MA) (問39-2で「2. 利用したいとは思わない」を選んだ方)

【全体】

- 利用したいとは思わない理由について、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 48.8%で最も多く、次いで「親が仕事を休むことができるから」が 39.4%、「利用料がかかる・高い」が 29.1%となっています。
- その他の内訳として、子どものため(20件)、手続きがめんどう(9件)、別の病気の心配(5件)、場所が遠い・不便(3件)、開始時刻が遅い(3件)、みてくれる人がいる(2件)、コロナやインフルは対応してもらえない(2件)となっています。また、保育体制をよく知らない、育休中、フルリモートで看病ができるから、入院のためなどの意見も挙がっています。

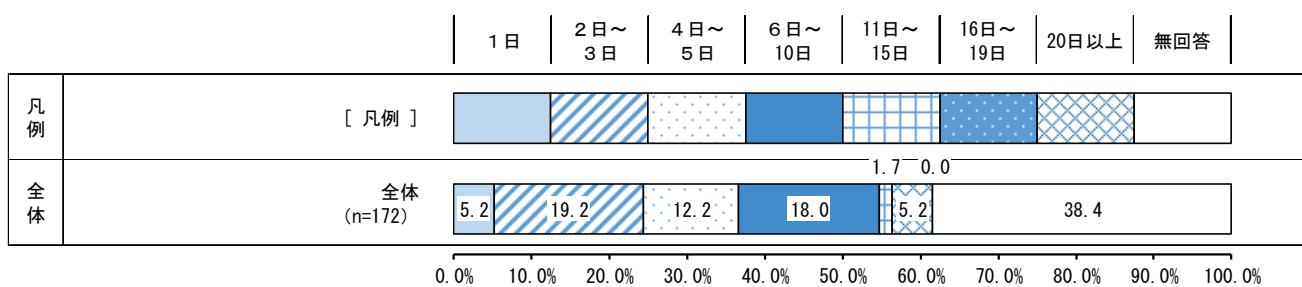


問39-5 できれば仕事を休んでみたい日数をお答えください。(問39-1で「エ (同居者を含む)
親族・知人に子どもをみてもらった」から「オ 病児・病後児保育事業を利用した」「カ
ベビーシッターを利用した」「キ ファミリー・サポート・センターを利用した」「ク そ
の他」を選んだ、就労している方)

【全体】

- できれば仕事を休んでみたい日数について、「2日～3日」が 19.2%で最も多く、次いで「6日～10日」が 18.0%、「4日～5日」が 12.2%となっています。

【できれば仕事を休んでみたい日数】

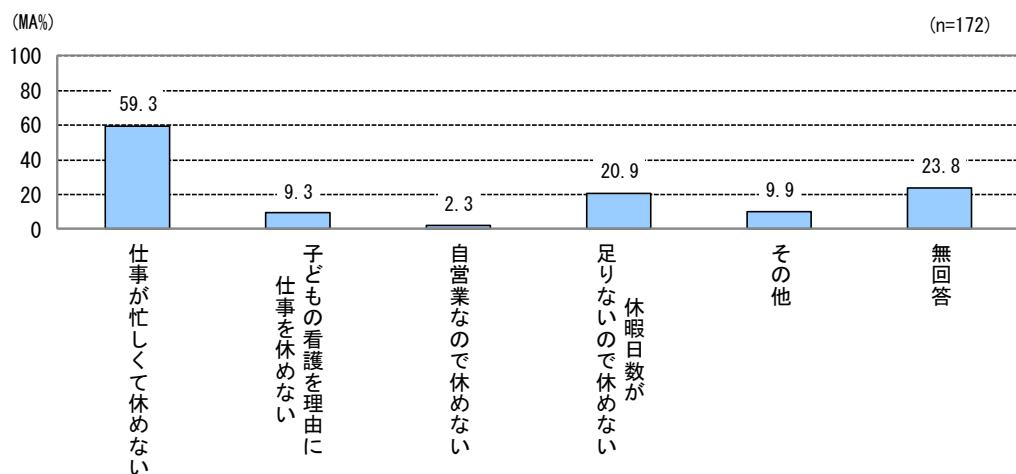


問39-6 休んでお子さんをみることができなかった理由についてお答えください。(MA) (問39-1で「エ (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」から「オ 病児・病後児保育事業を利用した」「カ ベビーシッターを利用した」「キ ファミリー・サポート・センターを利用した」「ク その他」を選んだ、就労している方)

【全体】

- 休んでお子さんをみることができなかった理由について、「仕事が忙しくて休めない」が 59.3%で最も多く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が 20.9%、「その他」が 9.9%となっています。
- その他の内訳として、職場都合・有給が少ない（9件）、収入が減る（4件）、在宅勤務（2件）、みてくれる人がいる（1件）、学生のため出席日数が必要だった（1件）となっています。

【休んでお子さんをみることができなかった理由 (MA)】



9. お子さんの不定期の教育・保育利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

※平日の教育・保育を利用する方のみ回答

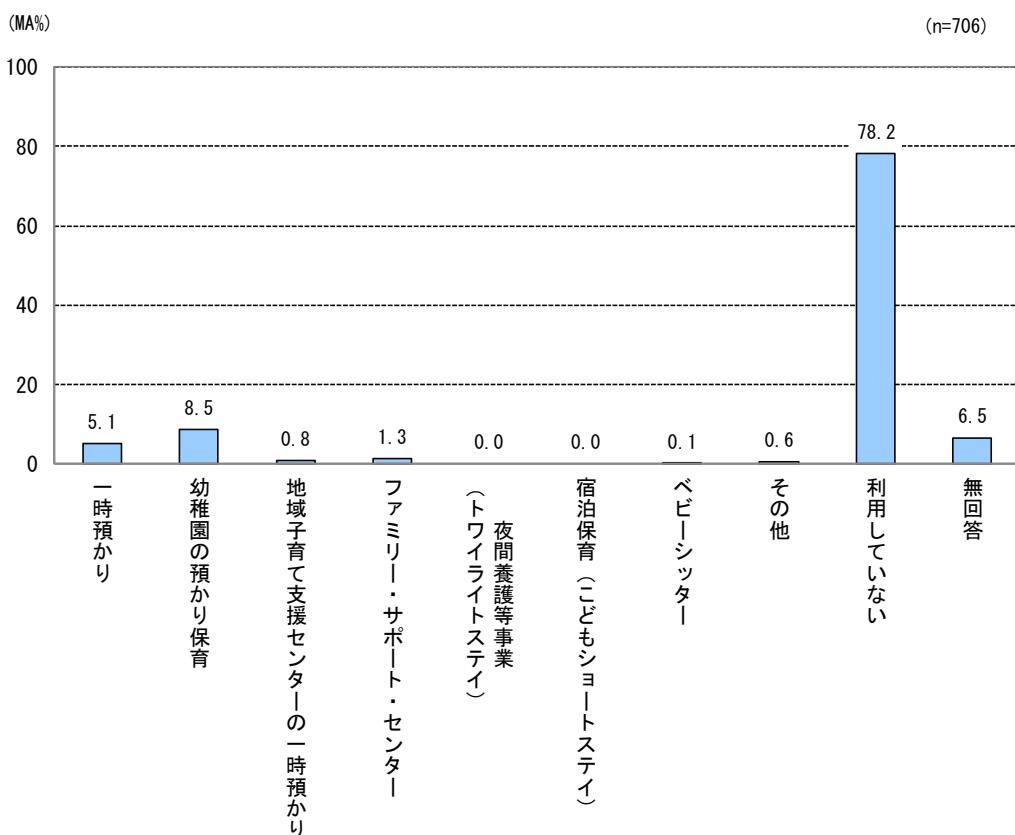
(1) 保護者の用事でみてもらう必要があった際の対応

問40 お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）で不定期に利用している事業はありますか。（MA）

【全体】

- 利用している事業について、「利用していない」が 78.2%で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が 8.5%、「一時預かり」が 5.1%となっています。

【利用している事業（MA）】

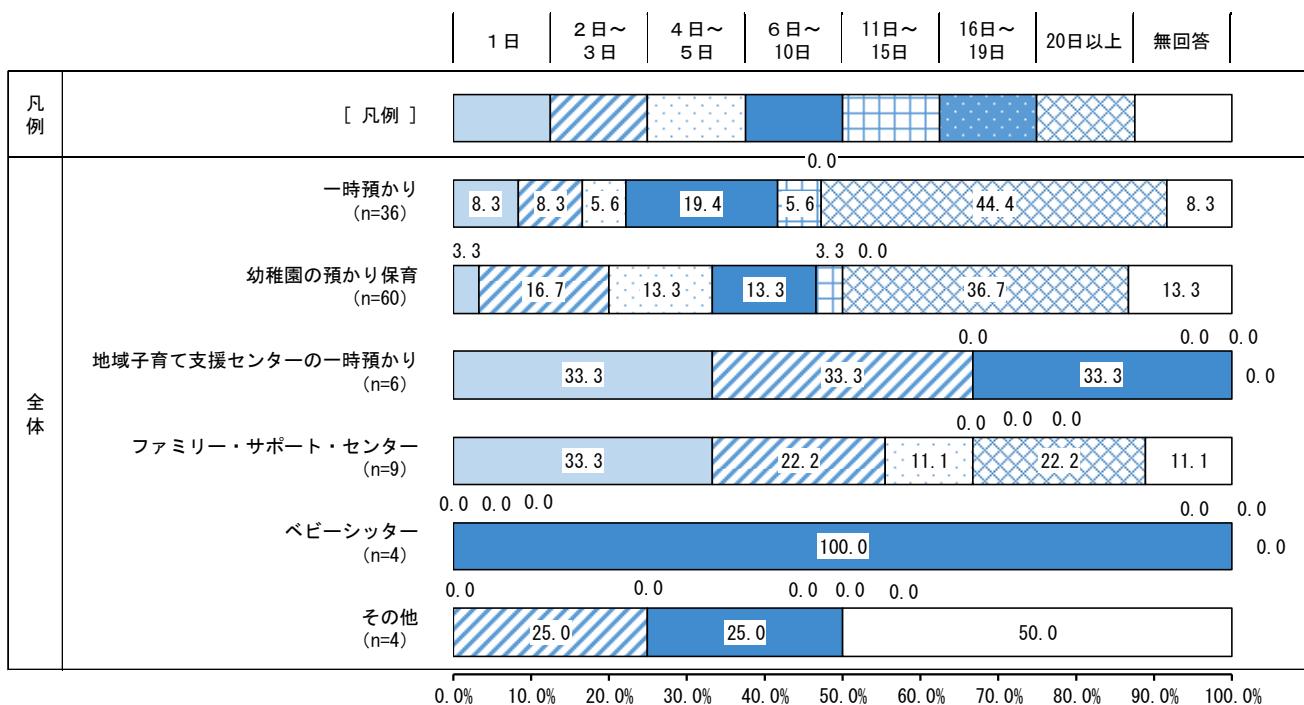


問40（1）お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）で不定期に利用している事業のおおよその日数をお答えください。

【全体】

- 利用している事業の日数について、「1日」は地域子育て支援センターの一時預かり、ファミリー・サポート・センターが 33.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「20日以上」は一時預かりが 44.4%、幼稚園の預かり保育が 36.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【利用している事業の日数】

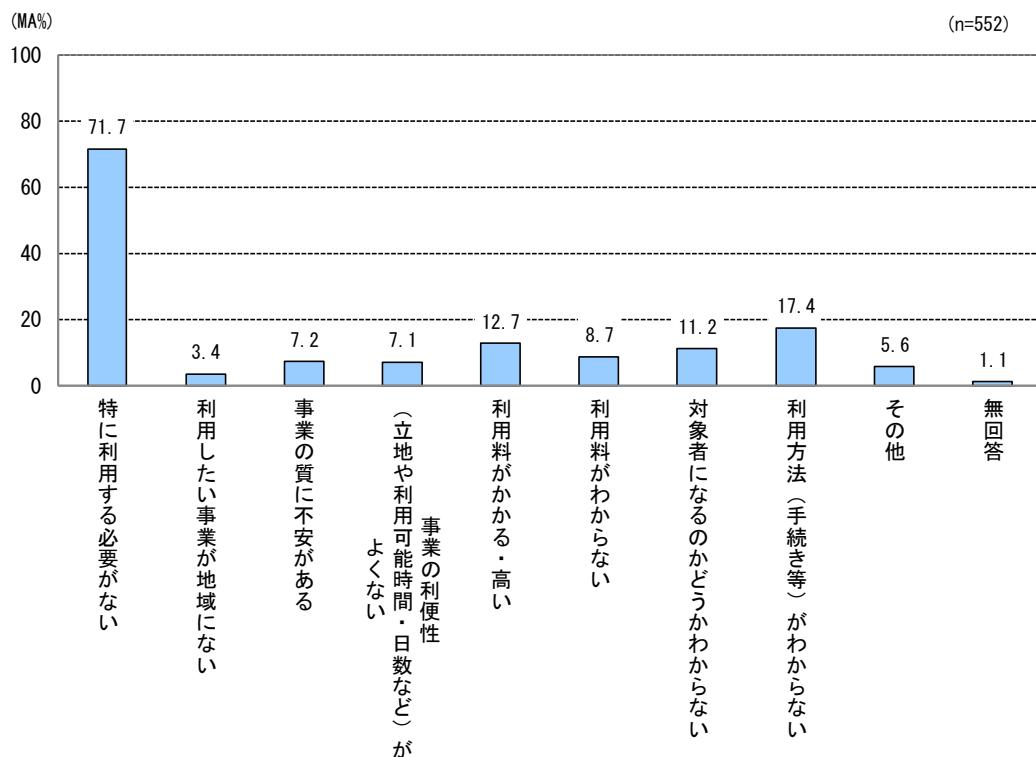


問40-1 現在利用していない理由は何ですか。(MA) (問40で「9. 利用していない」を選んだ方)

【全体】

- 利用していない理由について、「特に利用する必要がない」が 71.7%で最も多く、次いで「利用方法（手続き等）がわからない」が 17.4%、「利用料がかかる・高い」が 12.7%となっています。
- その他の内訳として、手続き（9件）、空きがない（4件）、子どものためにならない（4件）、預け先がある（3件）、別の事業を利用（2件）、必要がない・機会がない（2件）、知らない、わからない（2件）となっています。また、高価格、今後利用する予定、多児のため、利用する機会がなかったなどの意見も挙がっています。

【利用していない理由 (MA)】

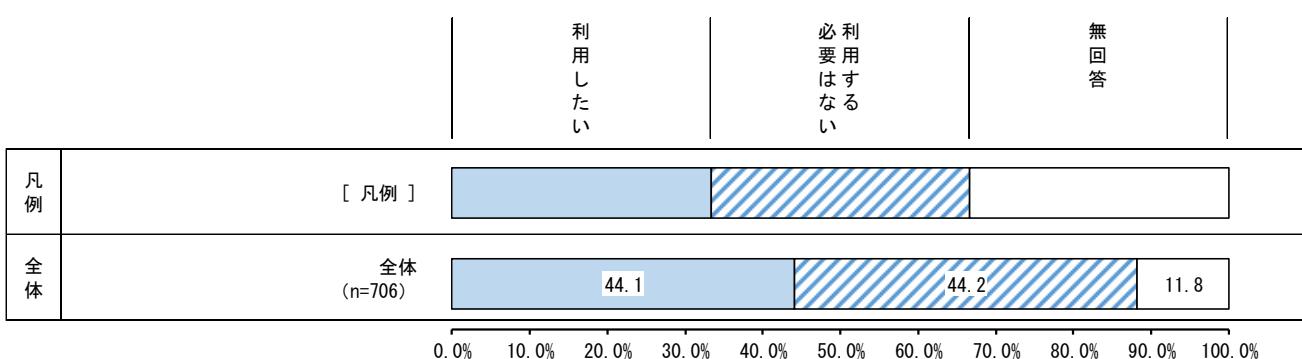


問41 お子さんについて、保護者の用事で、年間何日くらい不定期に事業を利用する必要があると思しますか。

【全体】

- 保護者の用事での事業の利用希望について、「利用したい」が 44.1%、「利用する必要はない」が 44.2%となっています。

【保護者の用事での事業の利用希望】

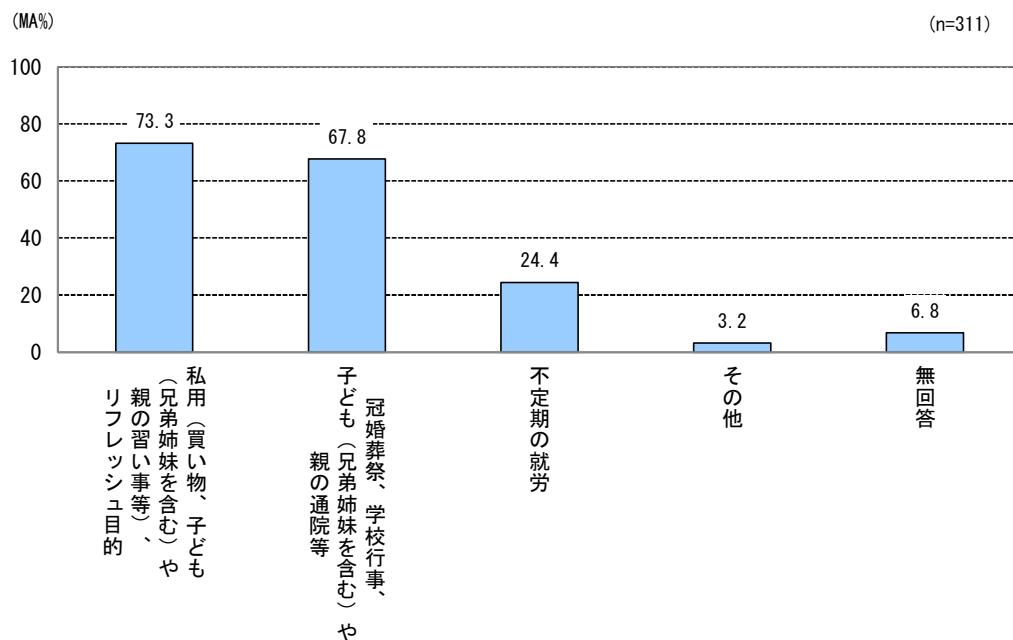


問41（1） 利用したい目的をお答えください。（MA）

【全体】

- 利用目的について、「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 73.3%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 67.8%、「不定期の就労」が 24.4%となっています。

【利用目的（MA）】

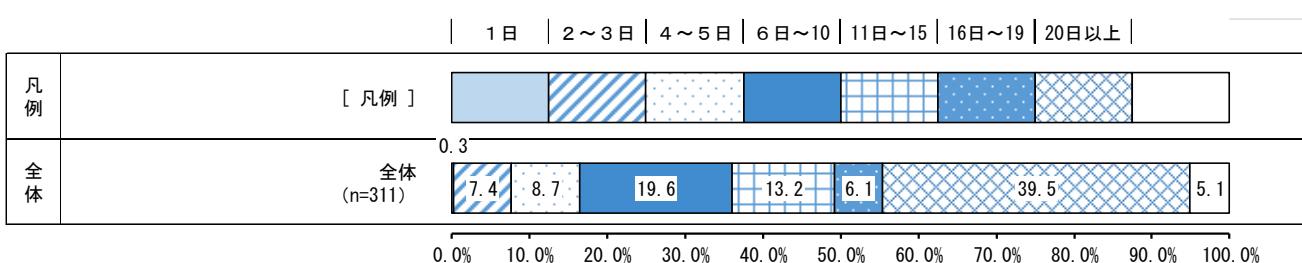


問41（2）a 一時的に教育・保育事業を利用する合計日数をお答えください。

【全体】

- 一時的に教育・保育事業を利用する合計日数について、「20日以上」が 39.5%で最も多く、次いで「6日～10日」が 19.6%、「11日～15日」が 13.2%となっています。

【一時的に教育・保育事業を利用する合計日数】

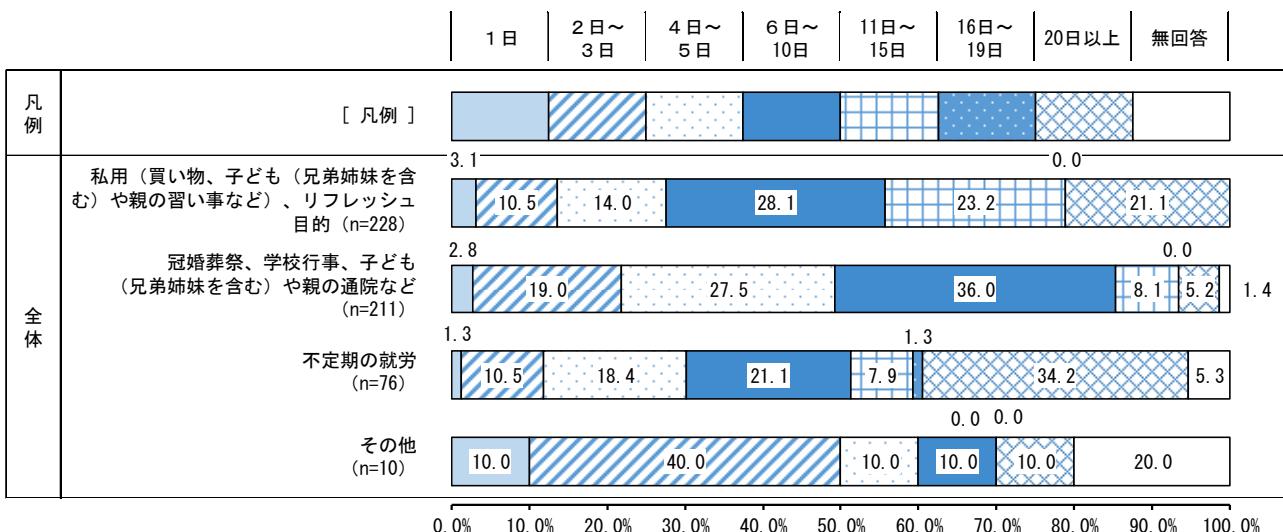


問41（2）b 目的別に一時的に教育・保育事業を利用する日数をお答えください。

【全体】

- 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的の日数について、「6日～10日」が28.1%で最も多く、次いで「11日～15日」が23.2%、「20日以上」が21.1%となっています。

【一時的に教育・保育事業を利用する目的ごとの日数】

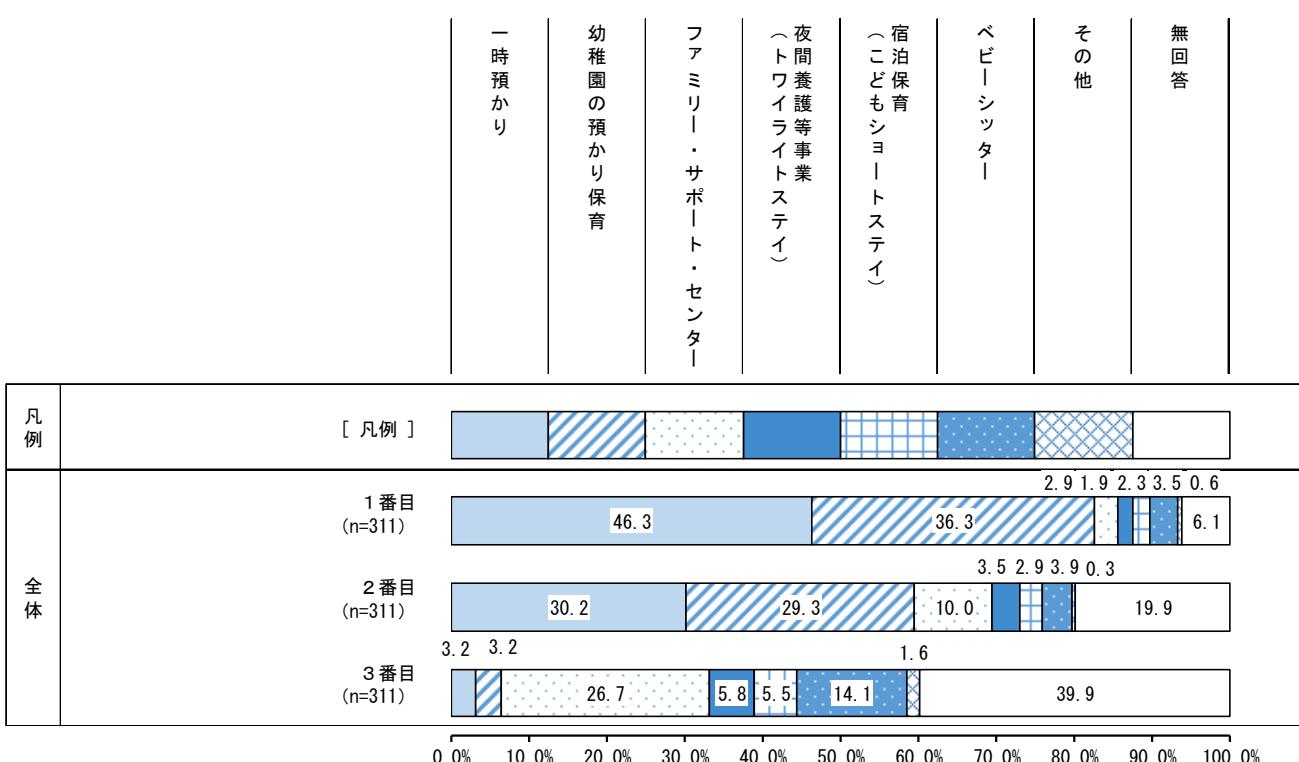


問41-1（1）お子さんを預ける場合の望ましい形態を順番にお答えください。（問41で「1. 利用したい」を選んだ方）

【全体】

- 1番目について、「一時預かり」が46.3%で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が36.3%、「ベビーシッター」が3.5%となっています。
- 2番目について、「一時預かり」が30.2%で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が29.3%、「ファミリー・サポート・センター」が10.0%となっています。
- 3番目について、「ファミリー・サポート・センター」が26.7%で最も多く、次いで「ベビーシッター」が14.1%、「夜間養護等事業（トワイライトステイ）」が5.8%となっています。

【望ましい順番（1番目～3番目）】



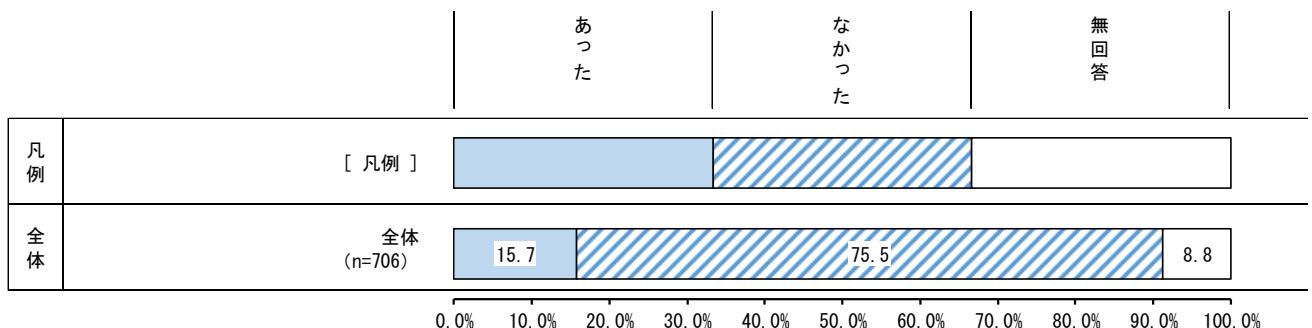
(2) 泊りがけでみてもらう必要があった際の対応

問42 この1年間に、保護者の用事により、お子さんを泊りがけで保護者以外にみてもらわなければならぬことはありましたか。

【全体】

- お子さんを泊りがけで保護者以外にみてもらわなければならぬことについて、「あった」が15.7%、「なかった」が75.5%となっています。

【お子さんを泊りがけで保護者以外にみてもらわなければならぬこと】

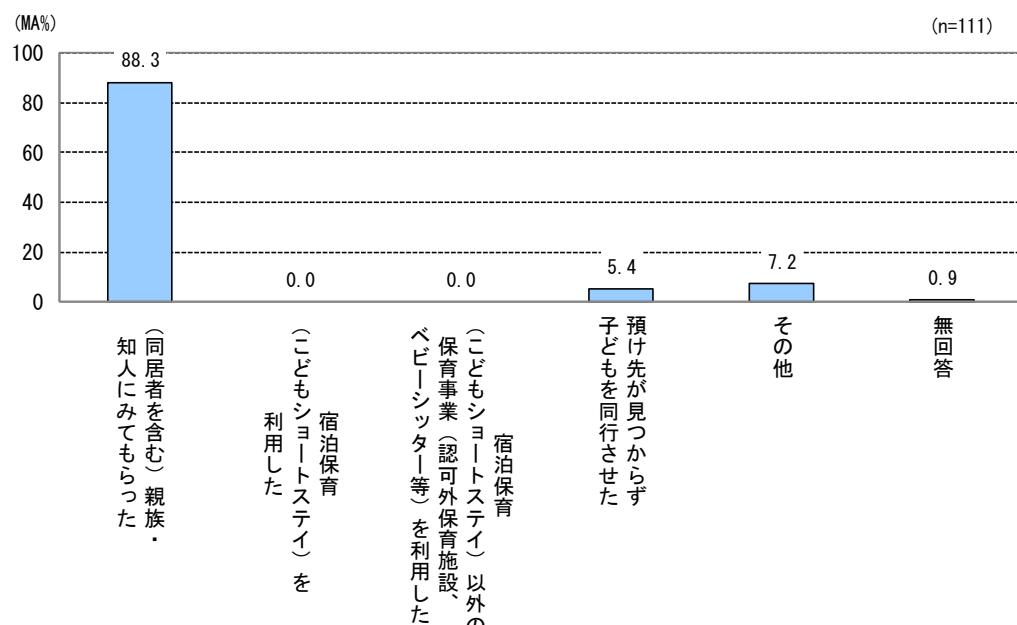


問42(1) 1年間に行った対応をお答えください。(MA)

【全体】

- 1年間の対応について、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が88.3%で最も多く、次いで「その他」が7.2%、「預け先が見つかからず子どもを同行させた」が5.4%となっています。
- その他の内訳として、諦めた(5件)、親を頼った(2件)となっています。

【1年間の対応 (MA)】

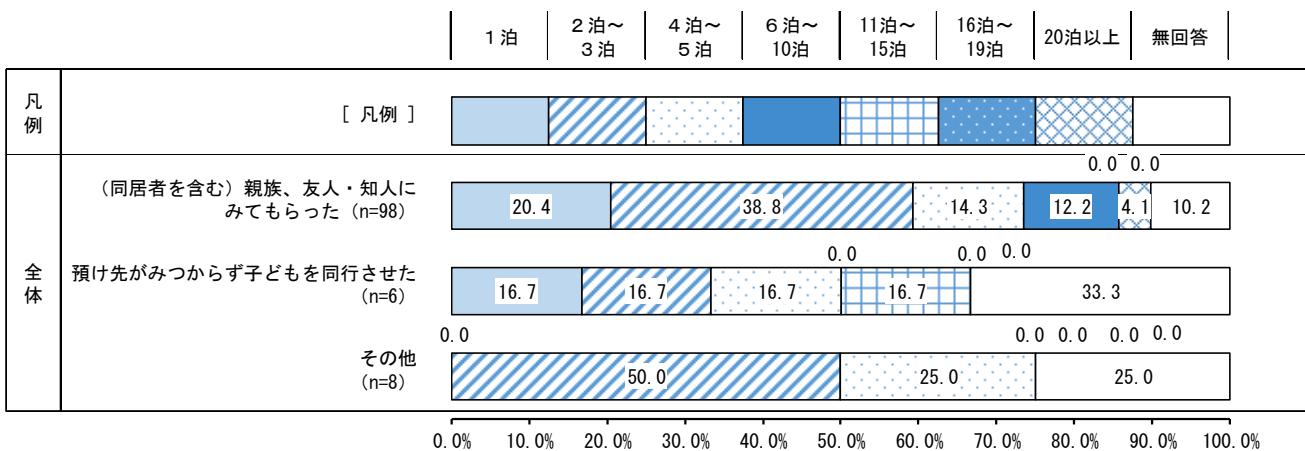


問42（2） 1年間に行った対応の泊数をお答えください。

【全体】

- (同居者を含む) 親族・知人にみてもらったについて、「2泊～3泊」が 38.8%と最も多くなっています。
- 預け先がみつからず子どもを同行させたについて、「1泊」、「2泊～3泊」、「4泊～5泊」、「11泊～15泊」が 16.7%となっています。

【1年間に行った対応の泊数】

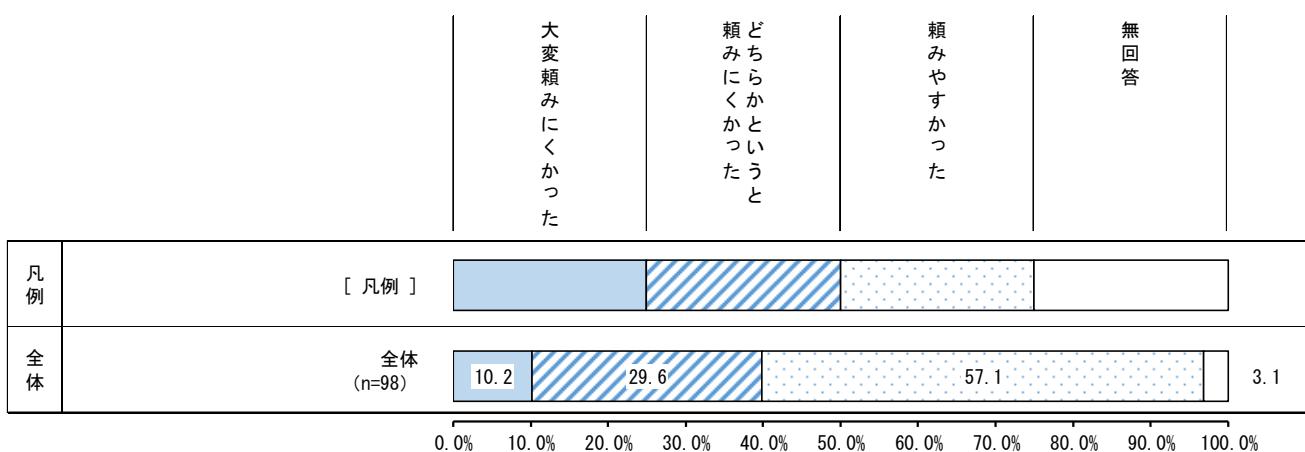


問42-1 (同居者を含む) 親族・知人に頼みやすかったですか。(問42で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」を選らんだ方)

【全体】

- 頼みやすさについて、「頼みやすかった」が 57.1%で最も多く、次いで「どちらかというと頼みにくかった」が 29.6%、「大変頼みにくかった」が 10.2%となっています。

【頼みやすさ】

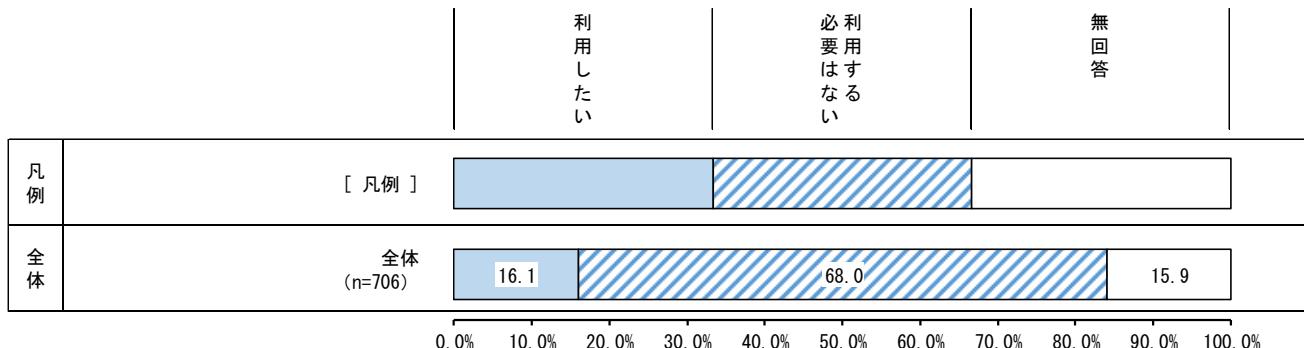


問43 保護者の用事により、お子さんを泊りがけで保護者以外にみてもらわなければならないことがあるときに、宿泊保育（こどもショートステイ）を利用したいですか。

【全体】

- 宿泊保育（こどもショートステイ）の利用希望について、「利用したい」が 16.1%、「利用する必要はない」が 68.0% となっています。

【宿泊保育（こどもショートステイ）の利用希望】

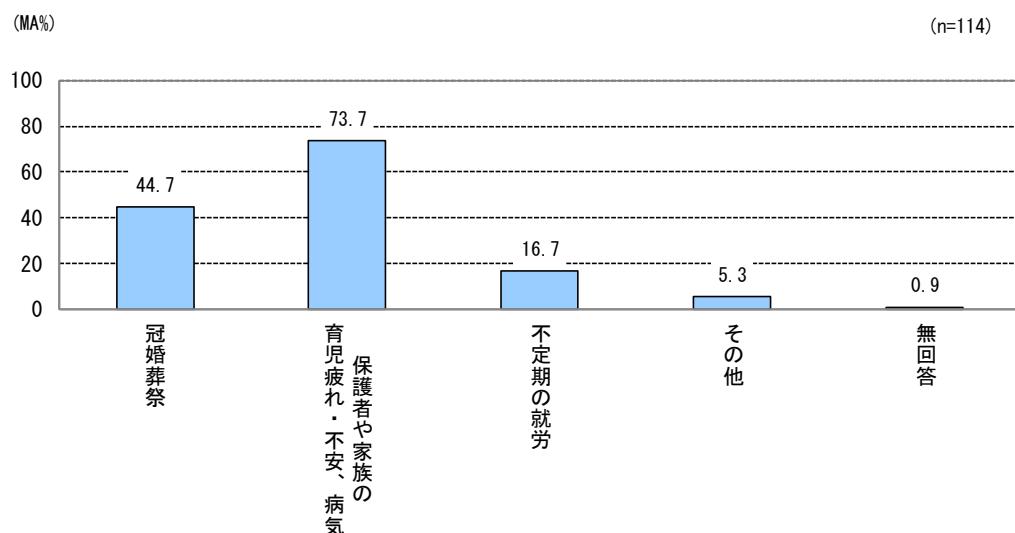


問43（1）宿泊保育（こどもショートステイ）を利用する目的をお答えください。（MA）

【全体】

- 利用目的について、「保護者や家族の育児疲れ・不安、病気」が 73.7% で最も多く、次いで「冠婚葬祭」が 44.7%、「不定期の就労」が 16.7% となっています。
- その他の内訳として、出産や出張などの意見も挙がっています。

【利用目的（MA）】

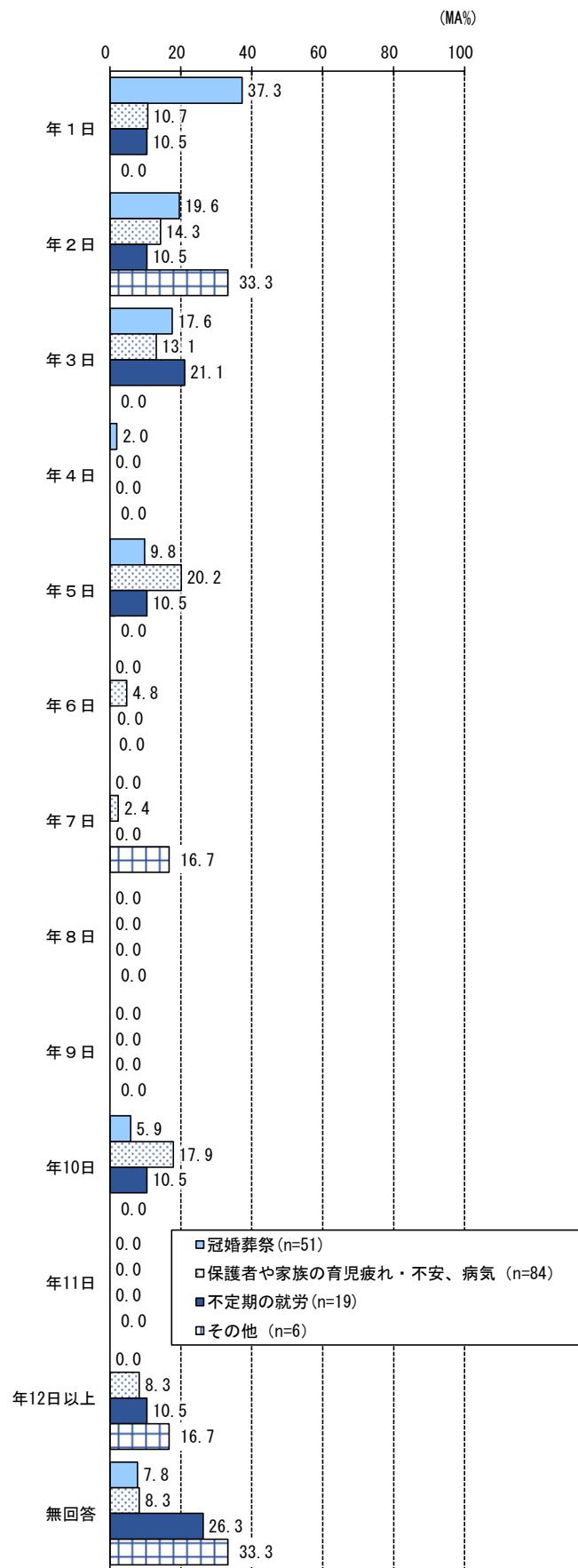


問43（2） 目的別に宿泊保育（こどもショートステイ）を利用したい泊数（年間）をお答えください。（MA）

【全体】

- 利用したい1年間の泊数について、保護者や家族の育児疲れ・不安、病気について、「年5日」が20.2%と最も多くなっています。

【利用したい1年間の泊数（MA）】



10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

※宛名のお子さんが5歳以上である方のみ回答

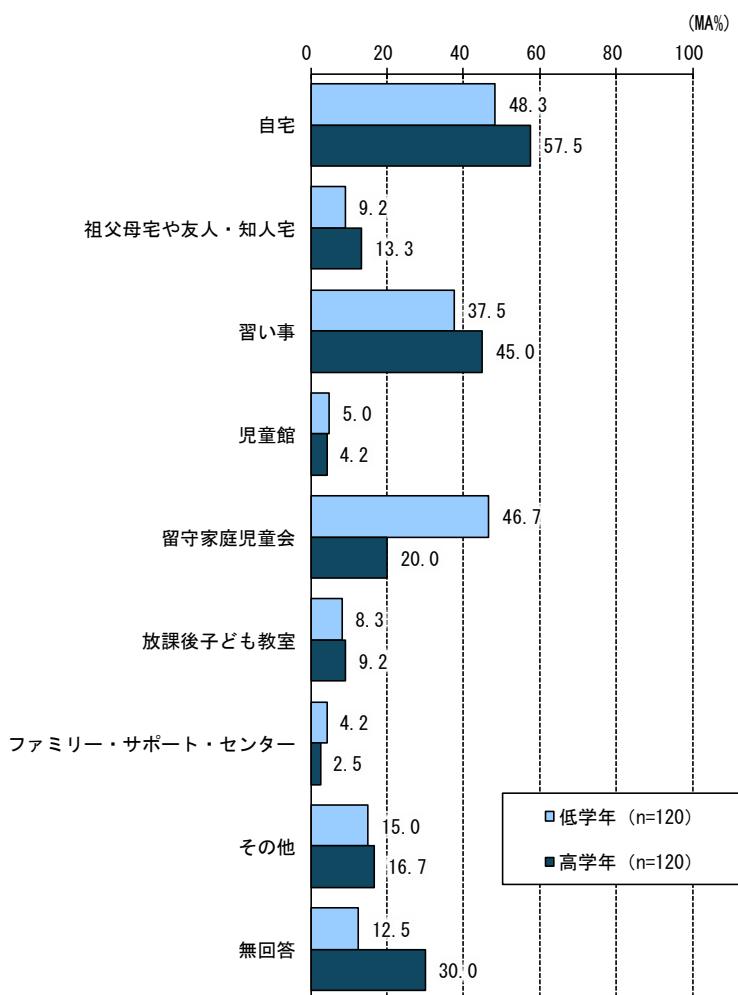
(1) 放課後の過ごし方

問44 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）、小学校高学年（4～6年生）のときに、放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所をお答えください。（MA）

【全体】

- 放課後を過ごす場所について、低学年、高学年ともに「自宅」が最も多くなっています。次いで、低学年では「留守家庭児童会」が46.7%、「習い事」が37.5%となっているのに対し、高学年では「習い事」が45.0%、「留守家庭児童会」が20.0%となっています。

【放課後を過ごす場所（MA）】

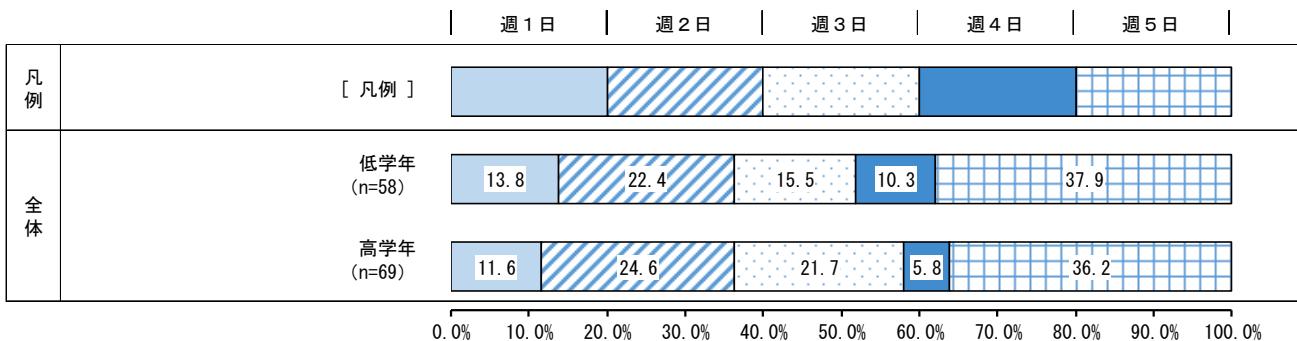


問44（1）自宅の週あたりの日数をお答えください。

【全体】

- 自宅について、低学年、高学年ともに「週5日」が最も多く、次いで「週2日」、「週3日」となっています。

【自宅】

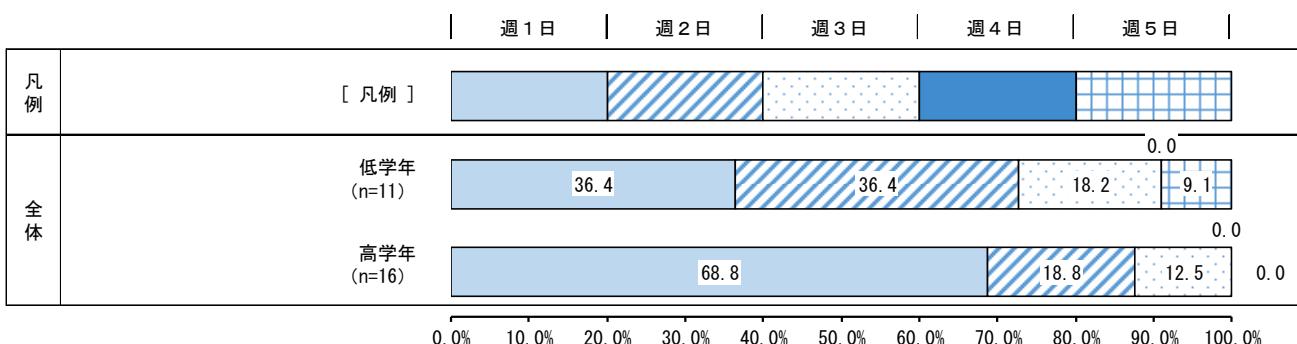


問44（2）祖父母宅や友人・知人宅の週あたりの日数をお答えください。

【全体】

- 低学年について、「週1日」「週2日」が36.4%で最も多く、次いで「週3日」が18.2%、「週5日」が9.1%となっています。
- 高学年について、「週1日」が68.8%で最も多く、次いで「週2日」が18.8%、「週3日」が12.5%となっています。

【祖父母宅や友人・知人宅】

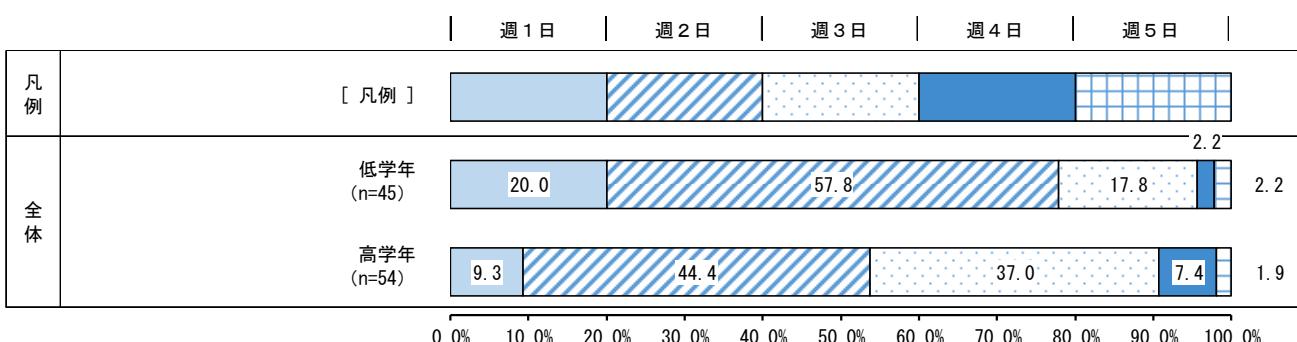


問44（3）習い事の週あたりの日数をお答えください。

【全体】

- 習い事について、低学年、高学年ともに「週2日」が最も多くなっています。次いで、低学年は「週1日」が20.0%、「週3日」が17.8%となっているのに対し、高学年は「週3日」が37.0%、「週1日」が9.3%となっています。

【習い事】

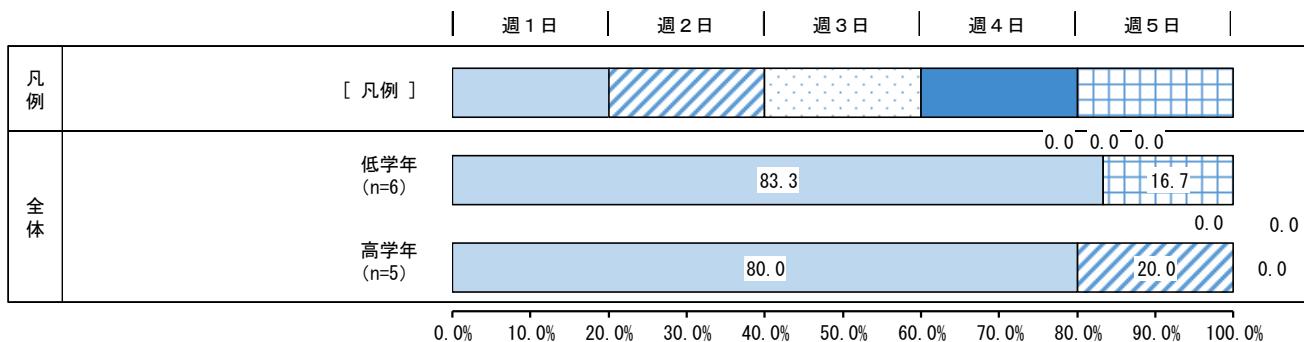


問44（4）児童館の週あたりの日数をお答えください。

【全体】

- 児童館について、低学年、高学年ともに「週1日」が最も多くなっています。次いで、低学年は「週5日」が16.7%となっているのに対し、高学年は「週2日」が20.0%となっています。

【児童館】

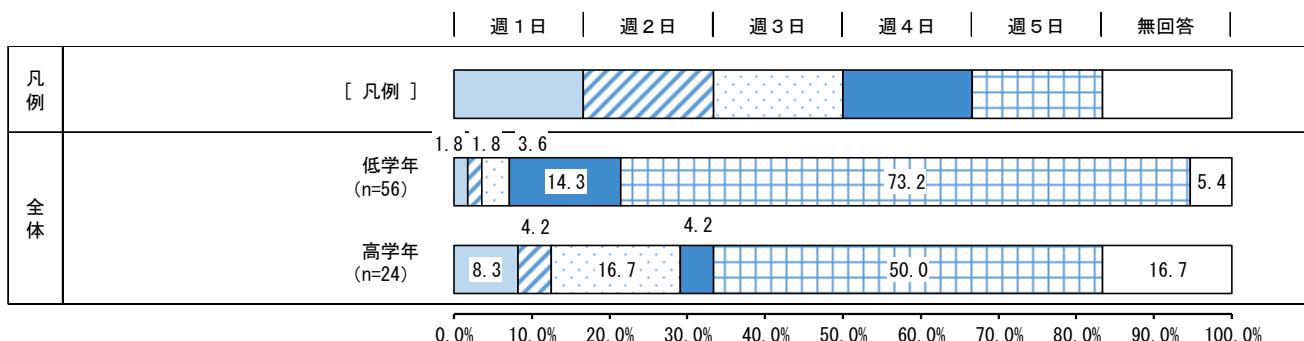


問44（5）留守家庭児童会の週あたりの日数をお答えください。

【全体】

- 留守家庭児童会について、低学年、高学年ともに「週5日」が最も多くなっています。次いで、低学年は「週4日」が14.3%、「週3日」が3.6%となっているのに対し、高学年は「週3日」が16.7%、「週1日」が8.3%となっています。

【留守家庭児童会】

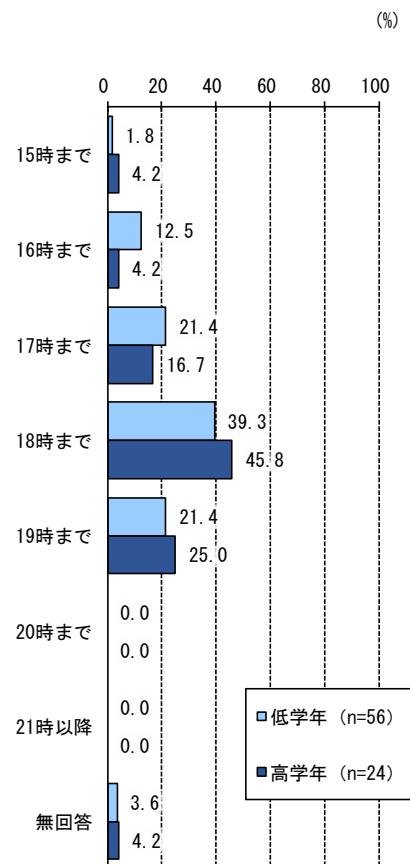


問44（5）a 留守家庭児童会の利用終了時間（下校から何時まで）をお答えください。

【全体】

- 留守家庭児童会の利用終了時間について、低学年、高学年ともに「18時まで」が最も多くなっています。次いで、低学年は「17時まで」「19時まで」が21.4%、「16時まで」が12.5%となっているのに対し、高学年は「19時まで」が25.0%、「17時まで」が16.7%となっています。

【留守家庭児童会の利用終了時間】

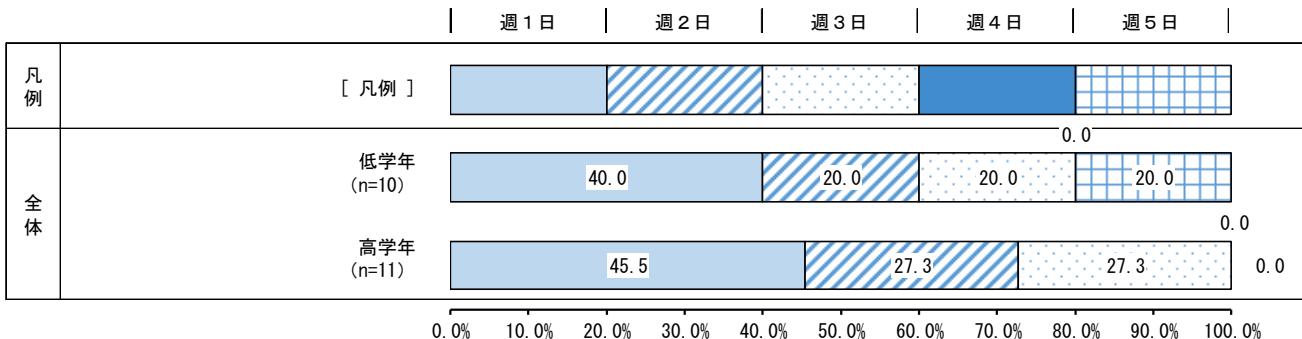


問44（6） 放課後子ども教室の週あたりの日数をお答えください。

【全体】

- 放課後子ども教室について、低学年、高学年ともに「週1日」が最も多くなっています。次いで、低学年は「週2日」「週3日」「週5日」が20.0%となっているのに対し、高学年は「週2日」「週3日」が27.3%となっています。

【放課後子ども教室】

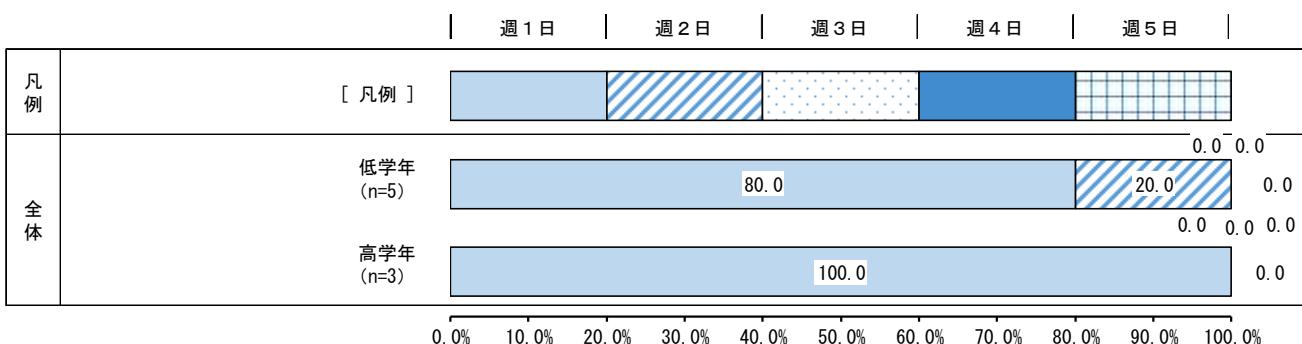


問44（7） ファミリー・サポート・センターの週あたりの日数をお答えください。

【全体】

- 低学年について、「週1日」が80.0%で最も多く、次いで「週2日」が20.0%となっています。
- 高学年について、「週1日」が100.0%で最も多くなっています。

【ファミリー・サポート・センター】

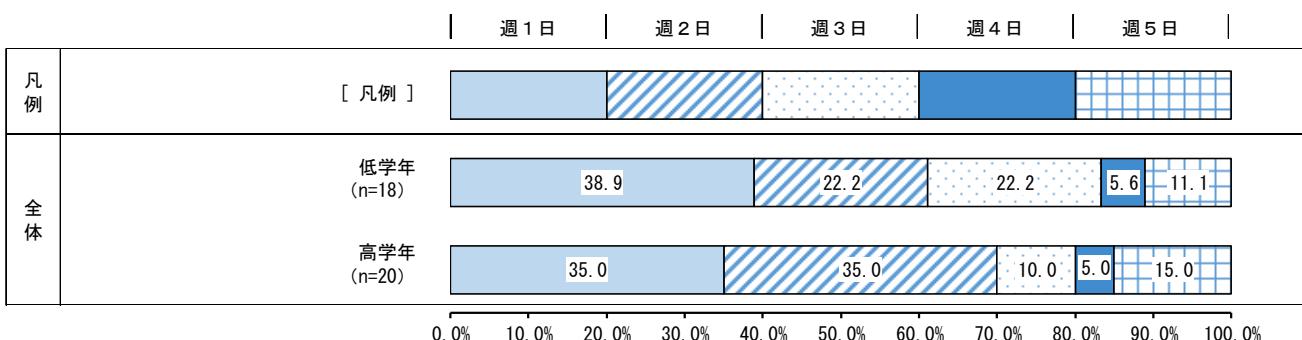


問44（8） その他の週あたりの日数をお答えください。

【全体】

- 低学年について、「週1日」が38.9%で最も多く、次いで「週2日」「週3日」が22.2%、「週5日」が11.1%となっています。
- 高学年について、「週1日」「週2日」が35.0%で最も多く、次いで「週5日」が15.0%、「週3日」が10.0%となっています。

【その他】



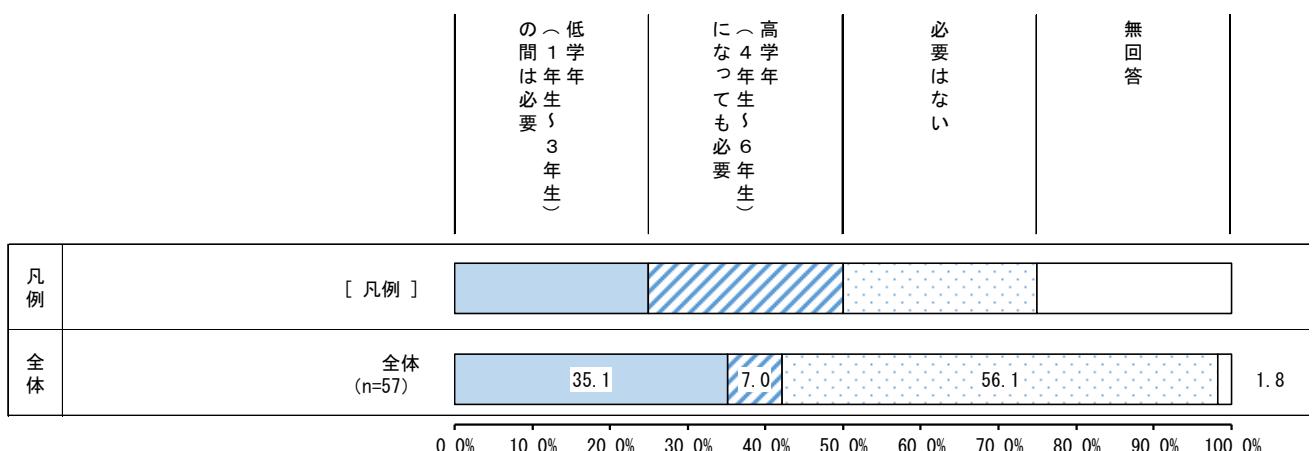
(2) 土曜日、日曜日・祝日、長期期間中の留守家庭児童会の利用希望

問45 (1) 土曜日に、留守家庭児童会を利用する必要がありますか。(問44で「5. 留守家庭児童会」を選んだ方)

【全体】

- 土曜日の留守家庭児童会の利用について、「必要はない」が 56.1%で最も多く、次いで「低学年（1年生～3年生）の間は必要」が 35.1%、「高学年（4年生～6年生）になっても必要」が 7.0%となっています。

【土曜日の留守家庭児童会の利用】

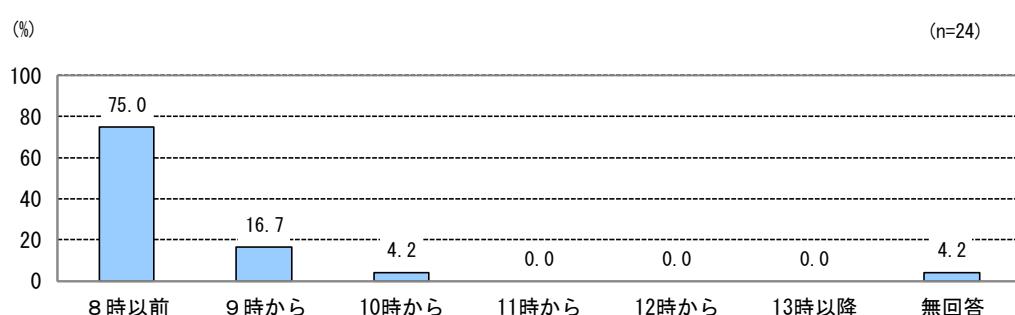


問45 (1) a 土曜日の留守家庭児童会の希望開始時間をお答えください。

【全体】

- 土曜日の留守家庭児童会の希望開始時間について、「8時以前」が 75.0%で最も多く、次いで「9時から」が 16.7%、「10時から」が 4.2%となっています。

【土曜日の留守家庭児童会の希望開始時間】

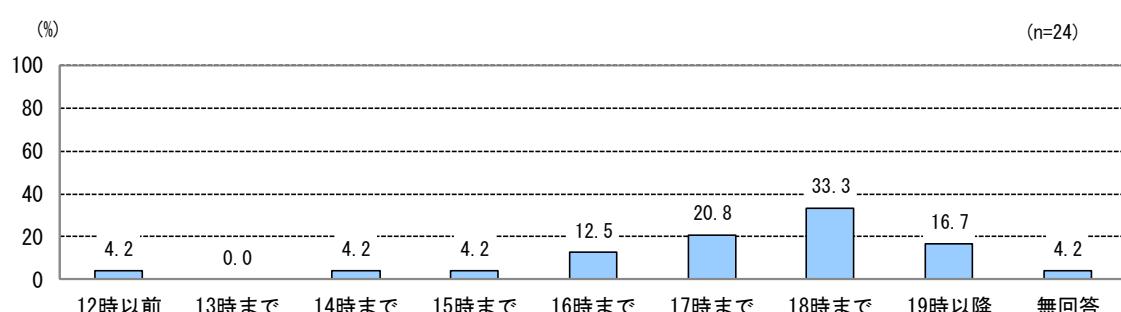


問45 (1) b 土曜日の留守家庭児童会の希望終了時間をお答えください。

【全体】

- 土曜日の留守家庭児童会の希望終了時間について、「18時まで」が 33.3%で最も多く、次いで「17時まで」が 20.8%、「19時以降」が 16.7%となっています。

【土曜日の留守家庭児童会の希望終了時間】

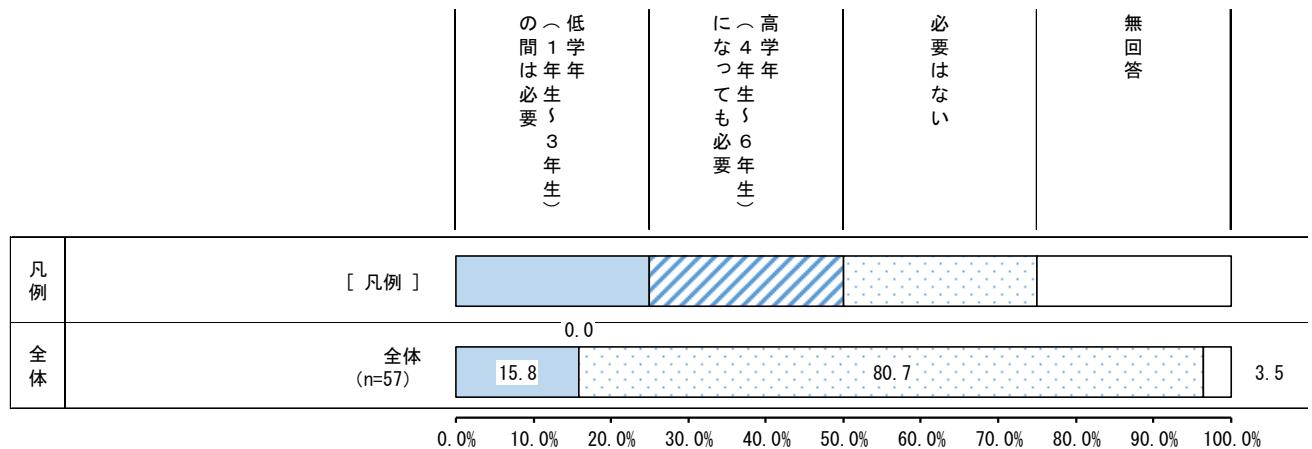


問45（2） 日曜日・祝日に、留守家庭児童会を利用する必要がありますか。（問44で「5．留守家庭児童会」を選んだ方）

【全体】

- 日曜日・祝日の留守家庭児童会の利用について、「必要はない」が 80.7%で最も多く、次いで「低学年（1年生～3年生）の間は必要」が 15.8%となっています。

【日曜日・祝日の留守家庭児童会の利用】

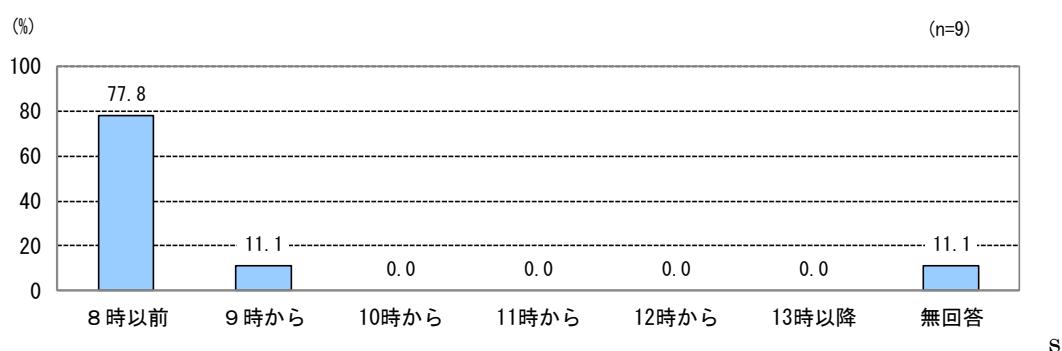


問45（2）a 日曜日・祝日の留守家庭児童会の希望開始時間をお答えください。

【全体】

- 日曜日・祝日の留守家庭児童会の希望開始時間について、「8時以前」が 77.8%で最も多く、次いで「9時から」が 11.1%となっています。

【日曜日・祝日の留守家庭児童会の希望開始時間】

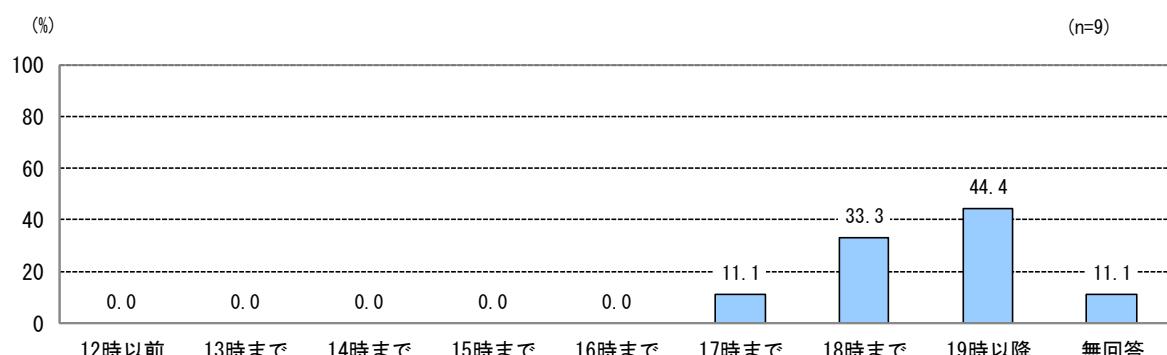


問45（2）b 日曜日・祝日の留守家庭児童会の希望終了時間をお答えください。

【全体】

- 日曜日・祝日の留守家庭児童会の希望終了時間について、「19時以降」が 44.4%で最も多く、次いで「18時まで」が 33.3%、「17時まで」が 11.1%となっています。

【日曜日・祝日の留守家庭児童会の希望終了時間】

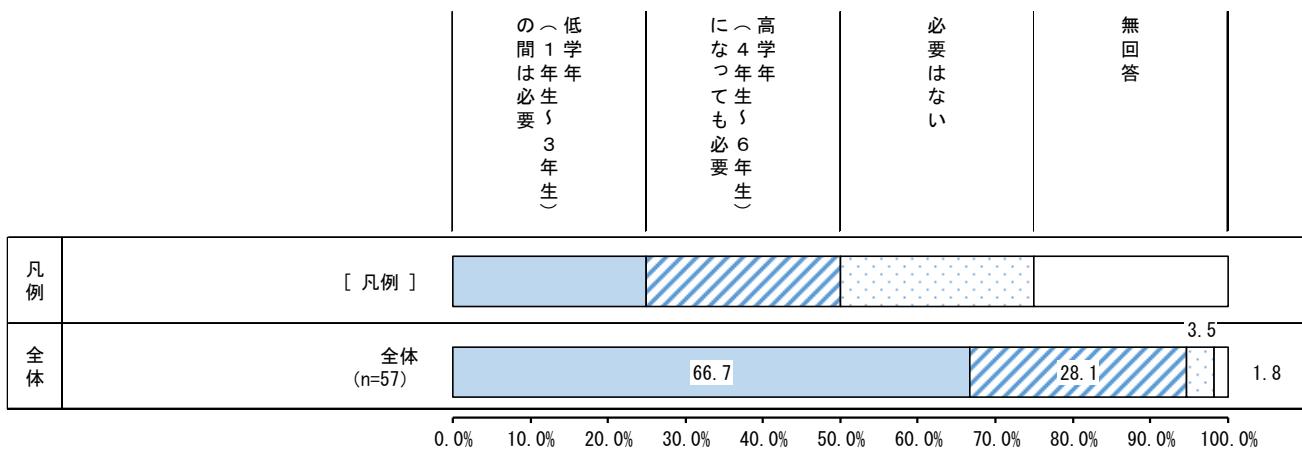


問46 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に留守家庭児童会を利用する必要がありますか。

【全体】

- 長期休暇期間中の留守家庭児童会の利用について、「低学年（1年生～3年生）の間は必要」が 66.7%で最も多く、次いで「高学年（4年生～6年生）になつても必要」が 28.1%、「必要はない」が 3.5%となっています。

【長期休暇期間中の留守家庭児童会の利用】

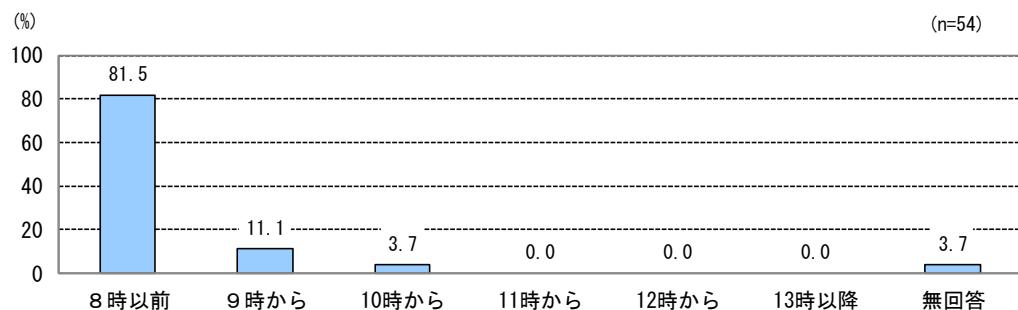


問46（1）長期休暇期間中の留守家庭児童会の希望開始時間をお答えください。

【全体】

- 長期休暇期間中の留守家庭児童会の希望開始時間について、「8時以前」が 81.5%で最も多く、次いで「9時から」が 11.1%、「10時から」が 3.7%となっています。

【長期休暇期間中の留守家庭児童会の希望開始時間】

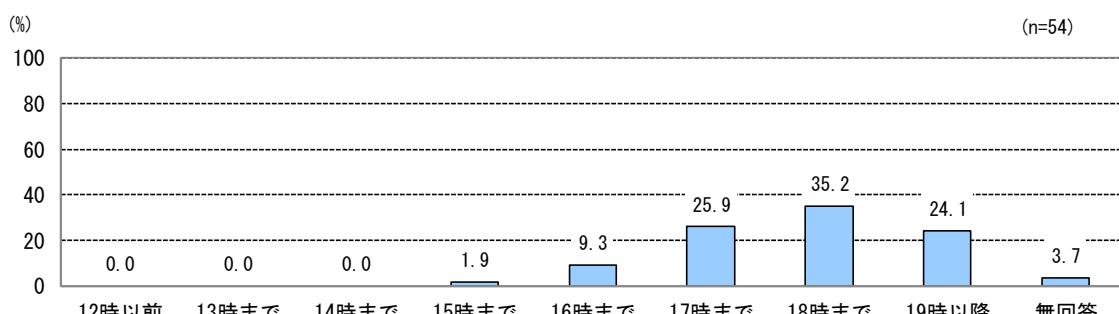


問46（2）長期休暇期間中の留守家庭児童会の希望終了時間をお答えください。

【全体】

- 長期休暇期間中の留守家庭児童会の希望終了時間について、「18時まで」が 35.2%で最も多く、次いで「17時まで」が 25.9%、「19時以降」が 24.1%となっています。

【長期休暇期間中の留守家庭児童会の希望終了時間】



11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

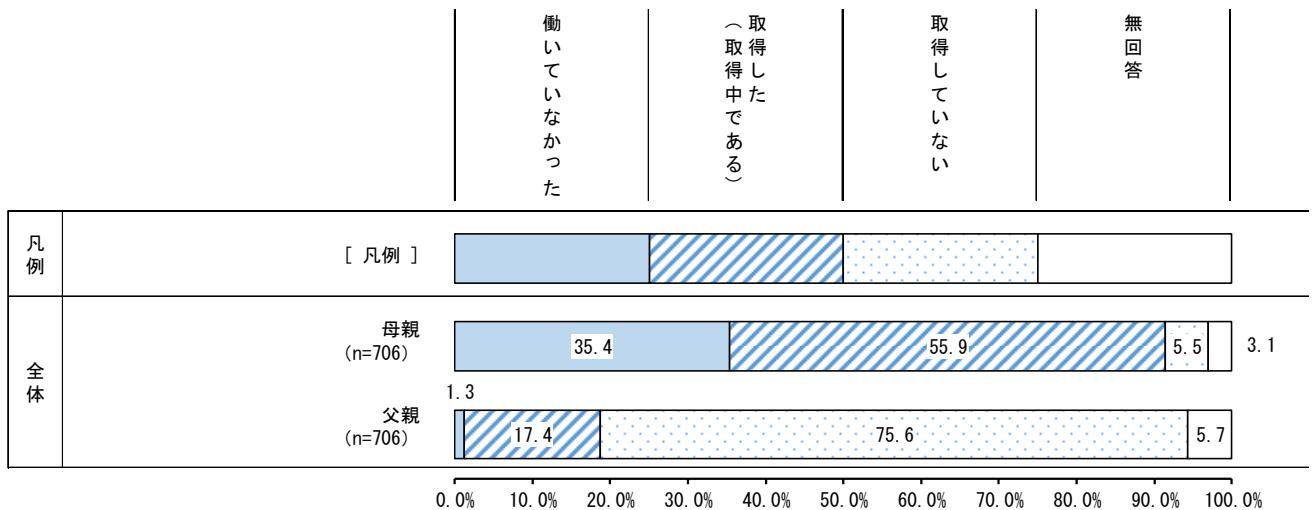
(1) 育児休業

問47 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。

【全体】

- 母親の育児休業の取得について、「取得した（取得中である）」が 55.9%で最も多く、次いで「働いていなかった」が 35.4%、「取得していない」が 5.5%となっています。
- 父親の育児休業の取得について、「取得していない」が 75.6%で最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が 17.4%、「働いていなかった」が 1.3%となっています。

【育児休暇の取得】

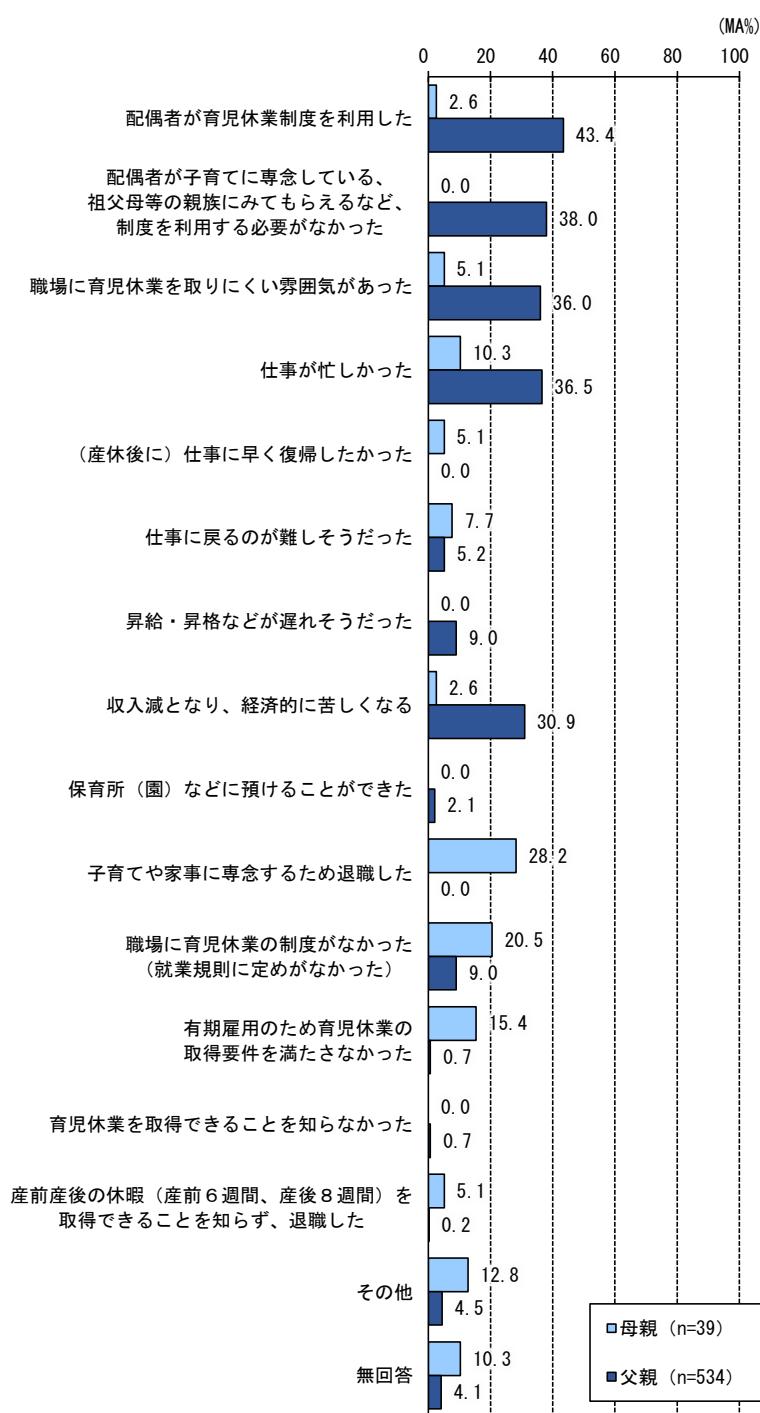


問47（1）育児休業を取得していない理由をお答えください。（MA）

【全体】

- 母親について「子育てや家事に専念するため退職した」が 28.2 と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 20.5%、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」が 15.4%となっています。
- 父親について、「配偶者が育児休業制度を利用した」が 43.4%と最も多く、次いで「配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要はなかった」が 38.0%、「仕事が忙しかった」が 36.5%となっています。
- その他の内訳として、母親は自営業、退職した、働いていなかった、在宅勤務、育休条件を満たしていないなどの意見が挙がっており、父親は自営業・事業主（7件）、育児休業取得の考えがない（5件）、調整可能な仕事環境（2件）、会社・仕事の都合（2件）、収入のため（1件）となっています。

【取得していない理由（MA）】

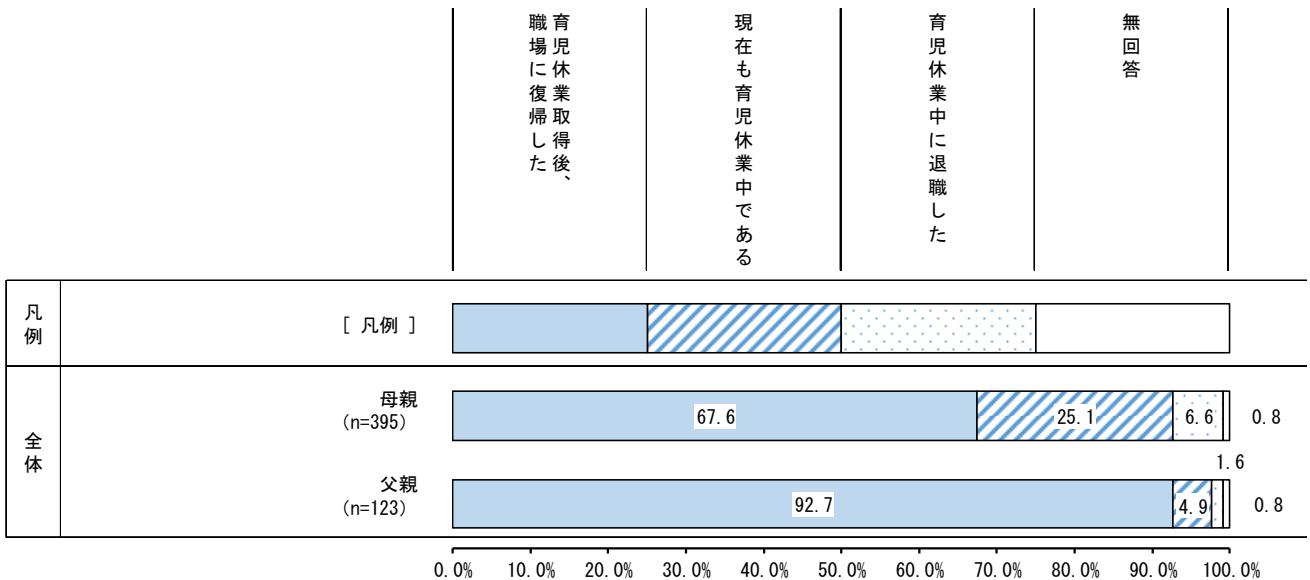


問47-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（問47で「2. 取得した（取得中である）」を選んだ方）

【全体】

- 育児休業取得後の職場復帰について、母親、父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」が最も多く、次いで「現在も育児休業中である」、「育児休業中に退職した」となっています。

【育児休業取得後の職場復帰】

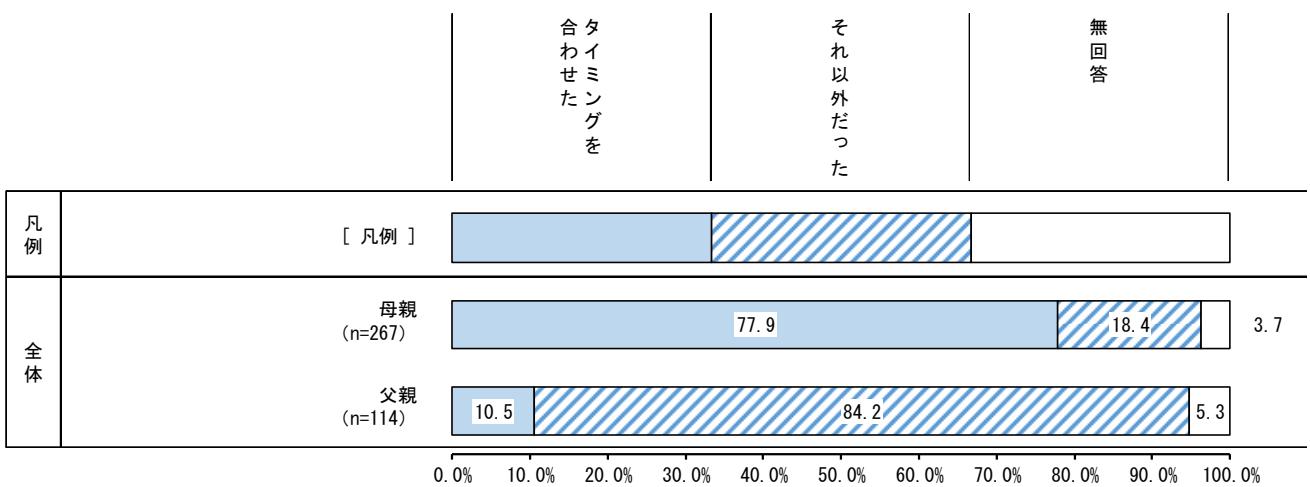


問47-2 育児休業から職場への復帰は、年度始めの4月の保育所（園）等の入所にタイミングを合わせましたか。あるいはそれ以外でしたか。（問47-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方）

【全体】

- 母親について、「タイミングを合わせた」が77.9%、「それ以外だった」が18.4%となっています。
- 父親について、「タイミングを合わせた」が10.5%、「それ以外だった」が84.2%となっています。

【職場復帰のタイミング】

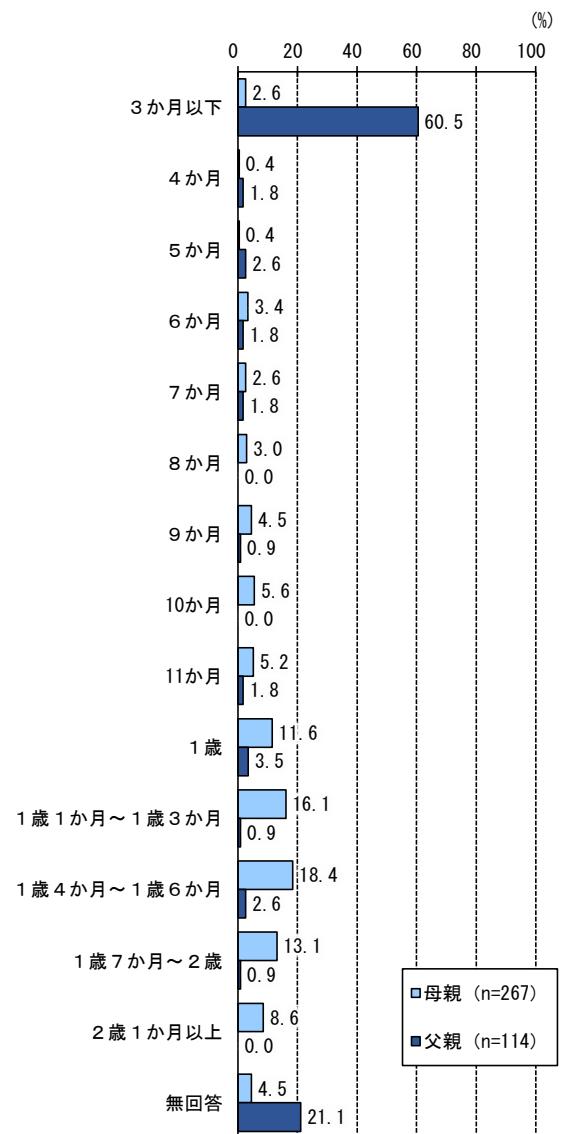


問47-3 (1) 育児休業から復帰したときの子どもの実年齢をお答えください。(問47-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方)

【全体】

- 母親について、「1歳4か月～1歳6か月」が18.4%で最も多く、次いで「1歳1か月～1歳3か月」が16.1%、「1歳7か月～2歳」が13.1%となっています。
- 父親について、「3か月以下」が60.5%で最も多く、次いで「1歳」が3.5%、「5か月」「1歳4か月～1歳6か月」が2.6%となっています。

【育児休業から復帰したときの子どもの実年齢】

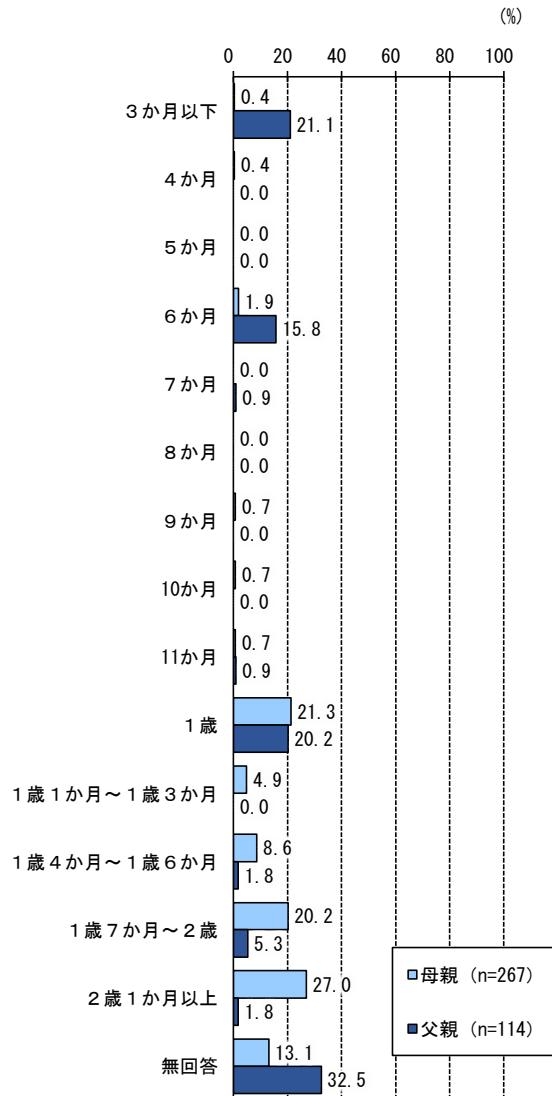


問47-3 (2) 育児休業から復帰するときの子どもの希望年齢をお答えください。

【全体】

- 母親について、「2歳1か月以上」が 27.0%で最も多く、次いで「1歳」が 21.3%、「1歳7か月～2歳」が 20.2%となっています。
- 父親について、「3か月以下」が 21.1%で最も多く、次いで「1歳」が 20.2%、「6か月」が 15.8%となっています。

【育児休業から復帰するときの子どもの希望年齢】

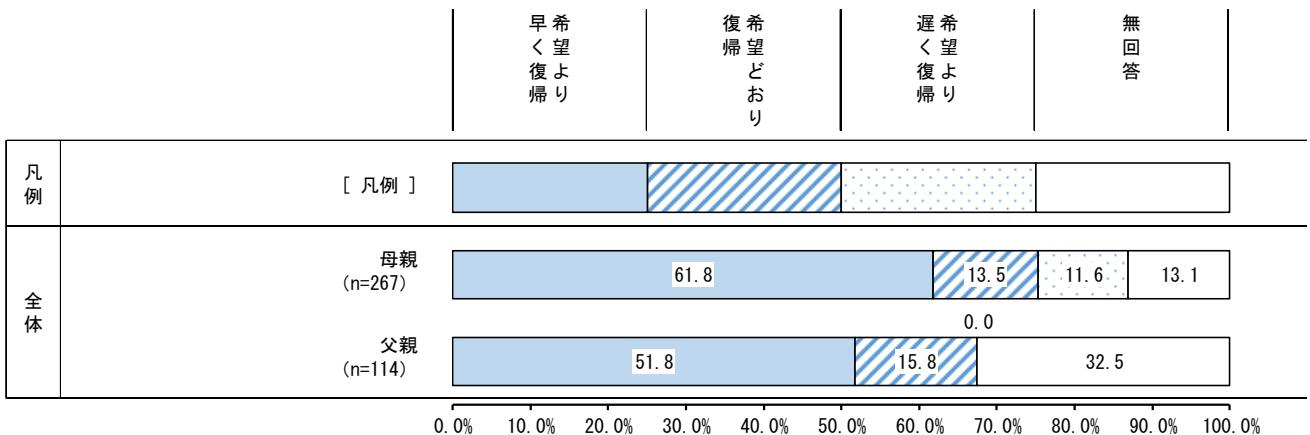


問47-3（3）職場復帰状況をお答えください。

【全体】

- 職場復帰状況について、母親、父親ともに「希望より早く復帰」が最も多く、次いで「希望どおり復帰」、「希望より遅く復帰」となっています。

【職場復帰状況】

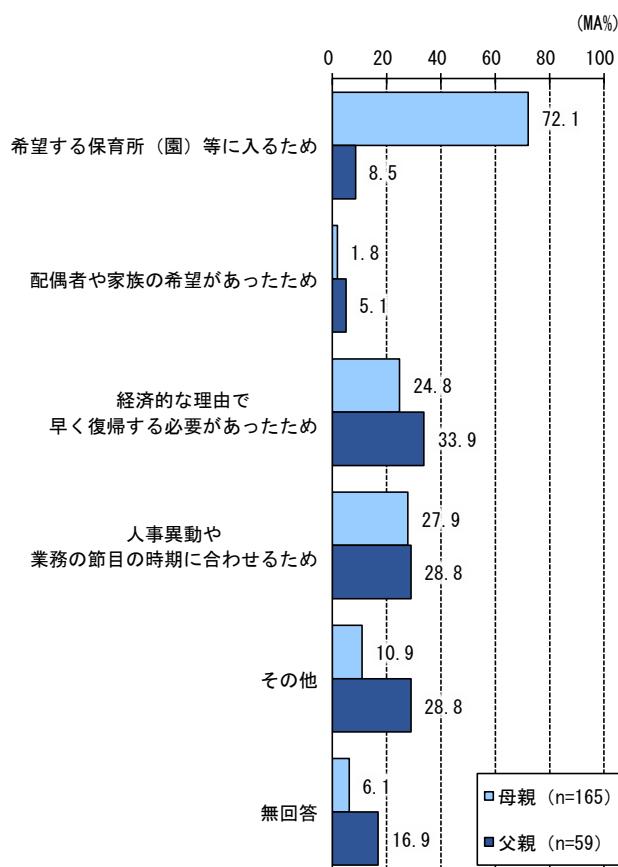


問47-4（1）希望より早く復帰した主な理由をお答えください。（MA）（問47-3で実際の復帰と希望が異なる方）

【全体】

- 母親について、「希望する保育所（園）等に入るため」が 72.1%で最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 27.9%、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が 24.8%となっています。
- 父親について、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が 33.9%で最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」「その他」が 28.8%、「希望する保育所（園）等に入るため」が 8.5%となっています。

【希望より早く復帰した方（MA）】

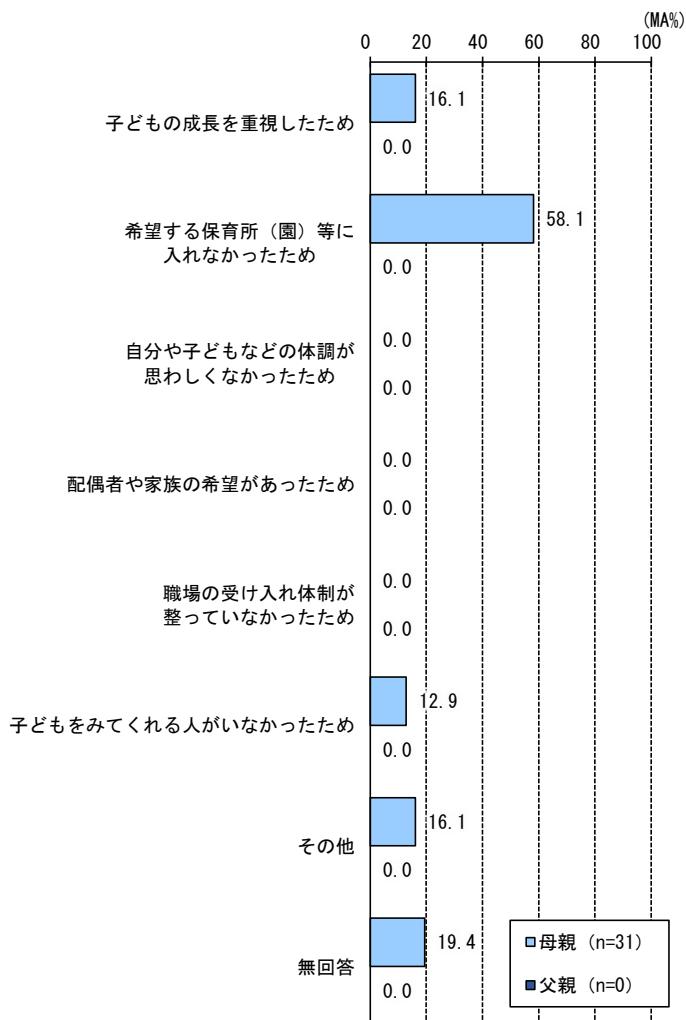


問47-4 (2) 希望より遅く復帰した主な理由をお答えください。(MA) (問47-3で実際の復帰と希望が異なる方)

【全体】

- 母親について、「希望する保育所（園）等に入れなかったため」が 58.1%で最も多く、次いで「子どもの成長を重視したため」「その他」が 16.1%、「子どもをみてくれる人がいなかったため」が 12.9%となっています。
- 父親について、有効回答がありませんでした。

【希望より遅く復帰した方 (MA)】



問47-4 (3) 問47-4 (2) B, 問47-4 (2) で「その他」を選んだ方は具体的な理由をご入力ください。(問47-4 (1) で「5. その他」、問47-4 (2) で「7. その他」を選んだ方)

【全体】

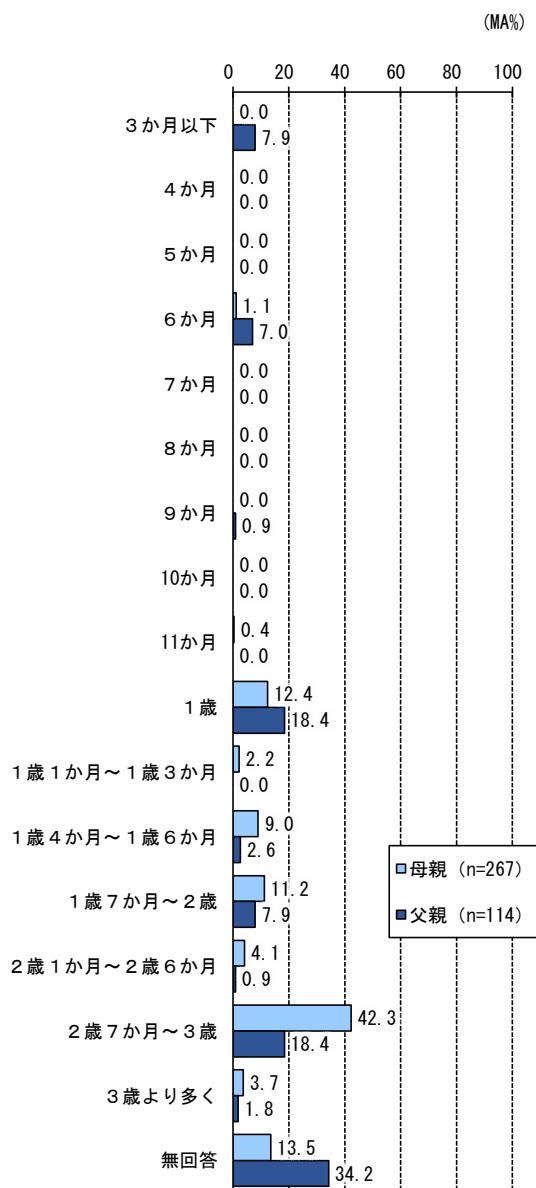
- 希望より早く復帰した方について、母親、父親とともに会社の制度で決まっていたことや人員不足などが多く、希望より遅く復帰した方について仕事の節目や、子どもの入園・入学に合わせたなどの意見が多く挙がっています。

問47-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。（問47-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方）

【全体】

- 母親について、「2歳7か月～3歳」が42.3%で最も多く、次いで「1歳」が12.4%、「1歳7か月～2歳」が11.2%となっています。
- 父親について、「1歳」「2歳7か月～3歳」が18.4%で最も多く、次いで「3か月以下」「1歳7か月～2歳」が7.9%、「6か月」が7.0%となっています。

【3歳まで休暇を取得できる制度がある場合の希望取得期間】



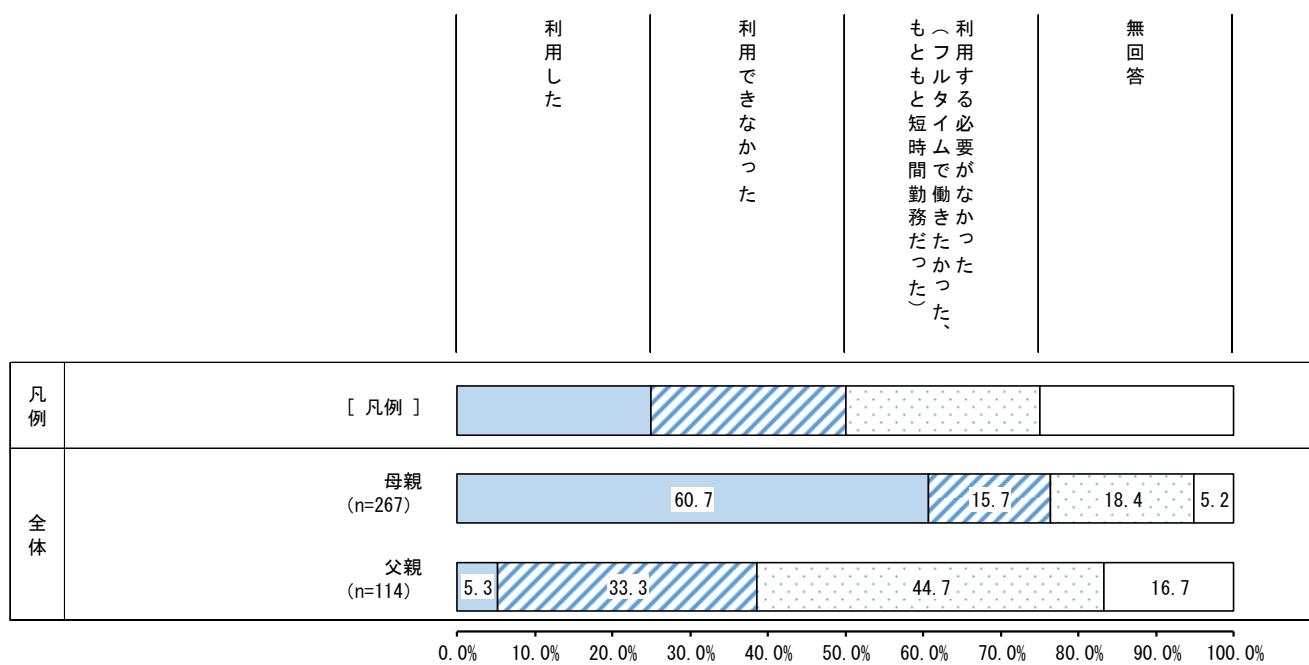
(2) 短時間勤務制度

問47-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。（問47-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方）

【全体】

- 母親について、「利用した」が 60.7%で最も多く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が 18.4%、「利用できなかった」が 15.7%となっています。
- 父親について、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が 44.7%で最も多く、次いで「利用できなかった」が 33.3%、「利用した」が 5.3%となっています。

【短時間勤務制度の利用】

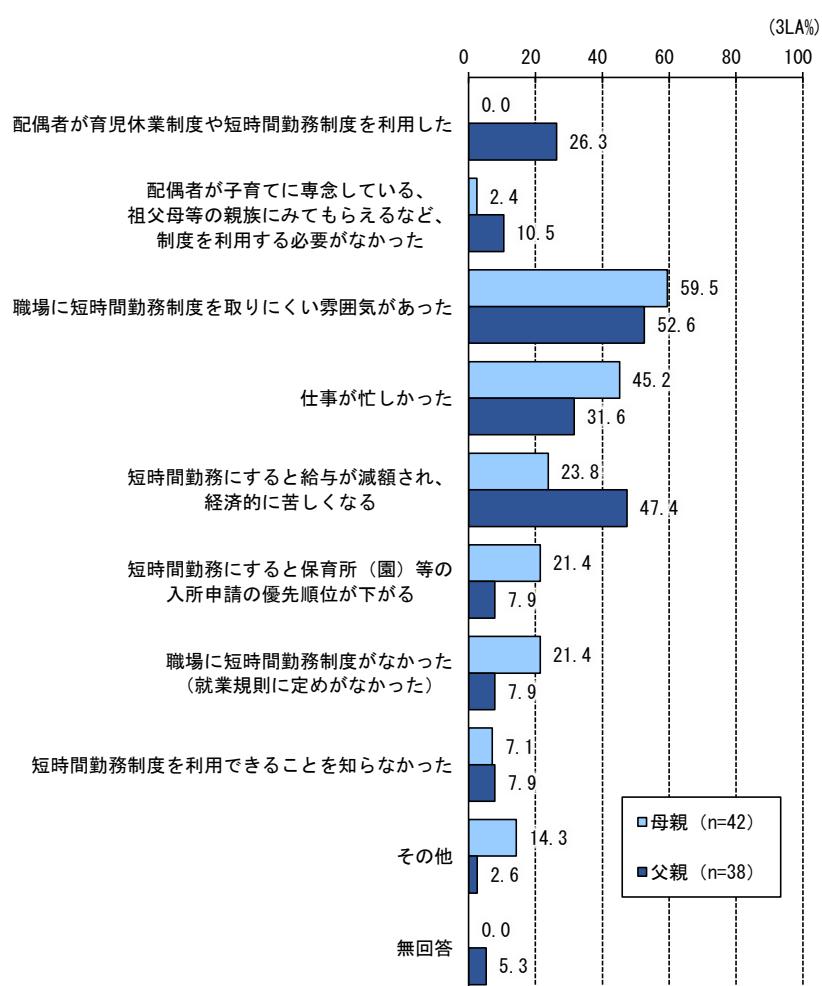


問47-7 短時間勤務制度を利用できなかった理由は何ですか。（3LA）（問47-6で「2. 利用できなかった」を選んだ方）

【全体】

- 短時間勤務制度を利用できなかった理由について、母親、父親ともに「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が最も多くなっています。次いで、母親は「仕事が忙しかった」が45.2%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が23.8%となっているのに対し、父親は「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が47.4%、「仕事が忙しかった」が31.6%となっています。
- その他の内訳として、母親は制度を利用させてもらえなかった（2件）、制度を利用して早く帰れなかった（2件）、制度の問題（1件）、保育園から退園を促された（1件）、自営業（1件）となっており、父親は制度の問題（2件）、自営業（2件）、制度を利用して早く帰れなかった（1件）、単身赴任中（1件）となっています。

【短時間勤務制度を利用できなかった理由（3LA）】

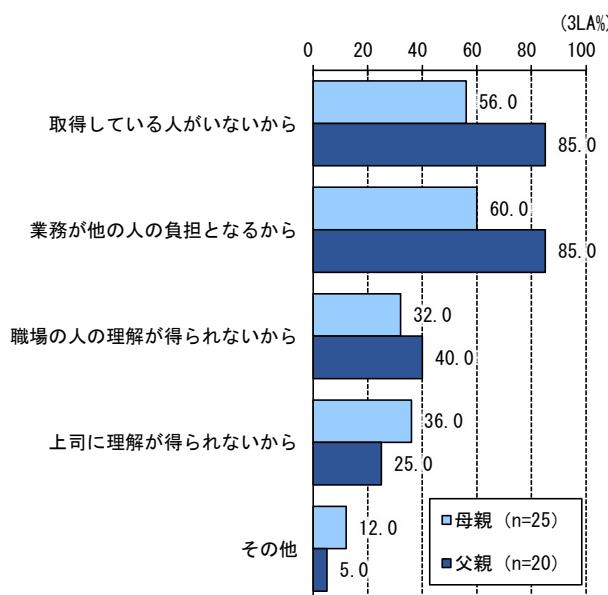


問47-8 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったと感じた理由は何ですか。（3LA）
 （問47-7で「3. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」を選んだ方）

【全体】

- 母親について、「業務が他の人の負担となるから」が 60.0%で最も多く、次いで「取得している人がいないから」が 56.0%、「上司に理解が得られないから」が 36.0%となっています。
- 父親について、「取得している人がいないから」「業務が他の人の負担となるから」が 85.0%で最も多く、次いで「職場の人の理解が得られないから」が 40.0%、「上司に理解が得られないから」が 25.0%となっています。
- その他の内訳として、母親は仕事が大変になる（3件）、昇進・昇給に響く（2件）、人員不足（1件）となっており、父親は人員不足（1件）、社内の雰囲気（1件）となっています。

【短時間勤務制度を取りにくく感じた理由（3LA）】

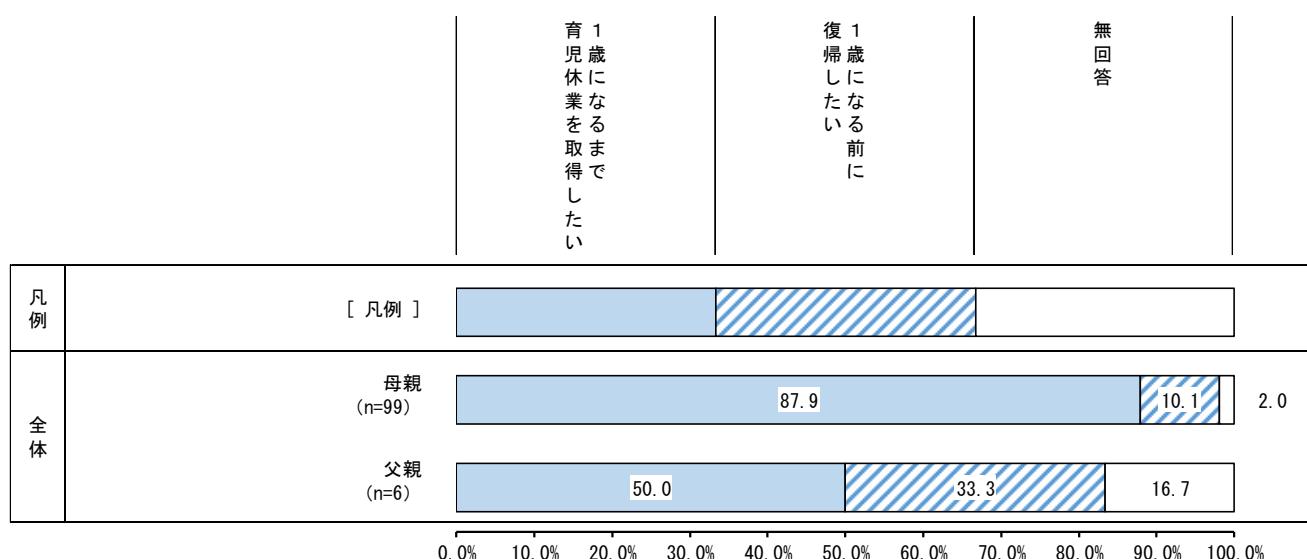


問47-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる保育所（園）等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があつても1歳になる前に復帰しますか。（問47-1で「2. 現在も育児休業中である」を選んだ方）

【全体】

- 母親について、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が 87.9%、「1歳になる前に復帰したい」が 10.1%となっています。
- 父親について、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が 50.0%、「1歳になる前に復帰したい」が 33.3%となっています。

【1歳になるまで育児休業を取得するか】



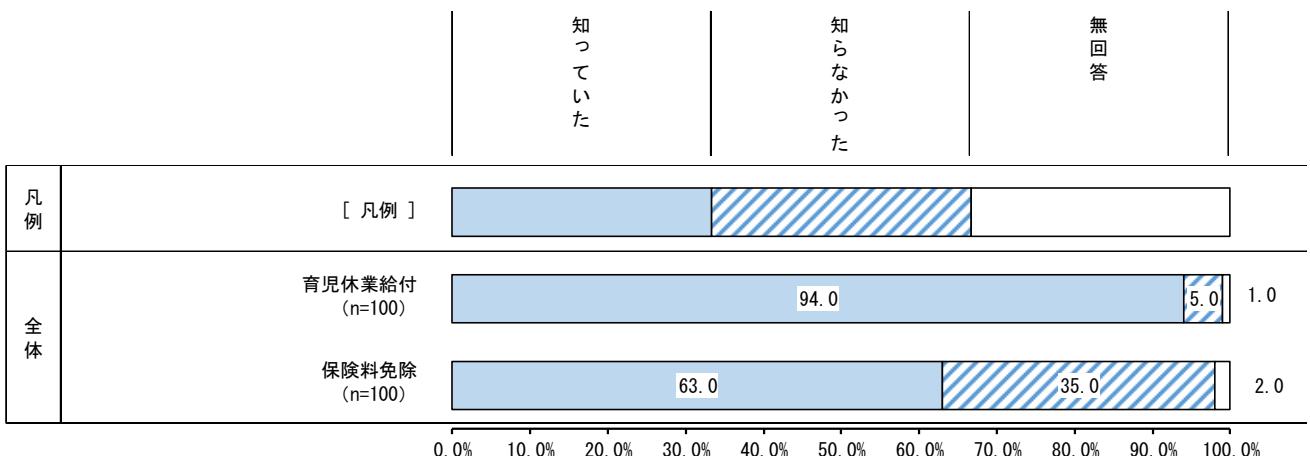
(3) 保険料免除の認知

問47-10 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。(問47-1で「2. 現在も育児休業中である」を選んだ方)

【全体】

- 育児休業給付について、「知っていた」が94.0%、「知らなかつた」が5.0%となっています。
- 保険料免除について、「知っていた」が63.0%、「知らなかつた」が35.0%となっています。

【保険料免除の認知】



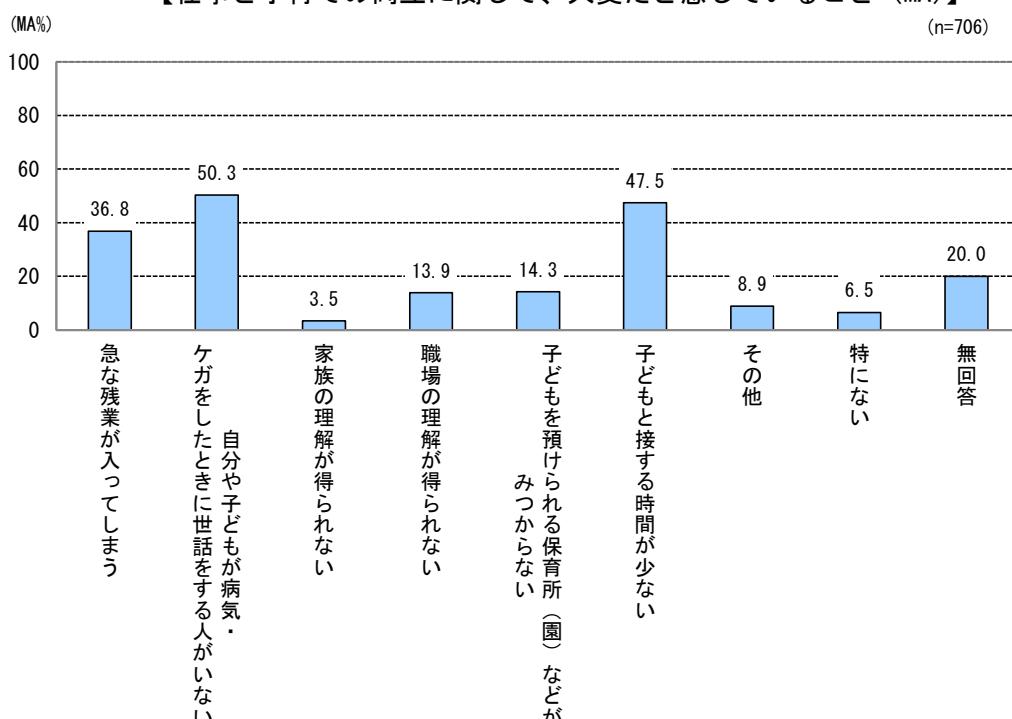
(4) 仕事や介護などと育児の両立

問47-11 仕事と子育ての両立に関して、大変だと感じていることをお答えください。(MA)

【全体】

- 仕事と子育ての両立て大変だと感じていることについて、「自分や子どもが病気・ケガをしたときに世話をする人がいない」が50.3%で最も多く、次いで「子どもと接する時間が少ない」が47.5%、「急な残業が入ってしまう」が36.8%となっています。
- その他の内訳として、家事時間不足(11件)、子どもへの対応不足(10件)、自分の時間(10件)、身体的・精神的負担(8件)、休暇に関して(7件)、周囲の協力(5件)、職場の雰囲気・制度(5件)、通勤時間・帰宅時間(4件)、きょうだいの対応(3件)、就業先(3件)、金銭問題(2件)、学童・保育園に関して(2件)となっています。また、転職、病児保育、相談できないなどの意見も挙がっています。

【仕事と子育ての両立に関して、大変だと感じていること (MA)】

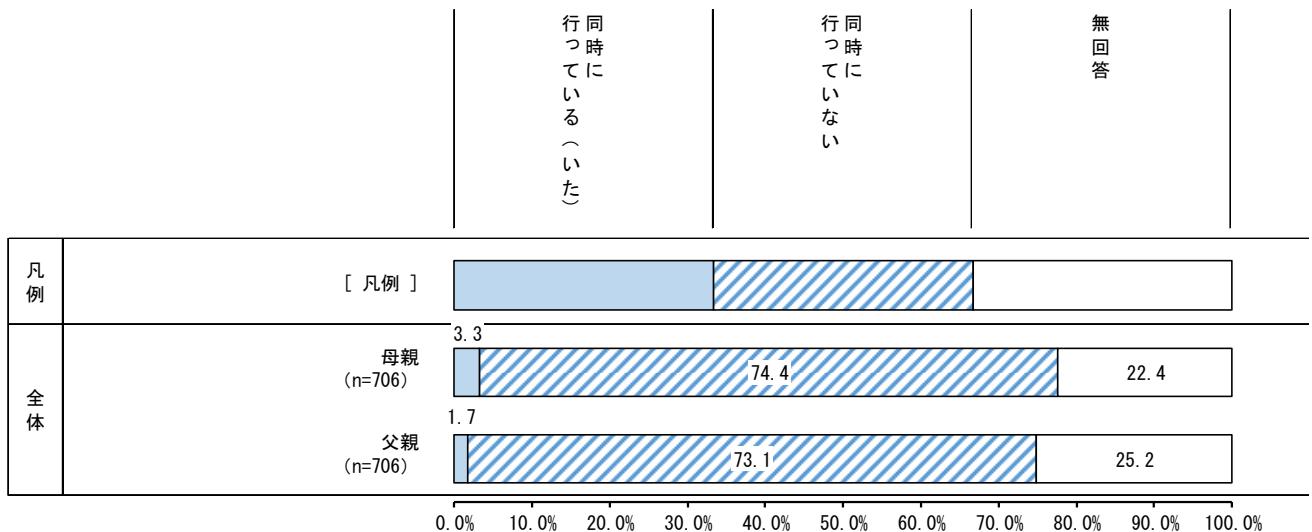


問47-12 子育てと介護を同時に行っている（いた）ことがありましたか。

【全体】

- 子育てと介護を同時に行っている（いた）ことの有無について、母親、父親ともに「同時に行っていない」が多く、次いで「同時に行っている（いた）」となっています。

【子育てと介護を同時に行っている（いた）ことの有無】

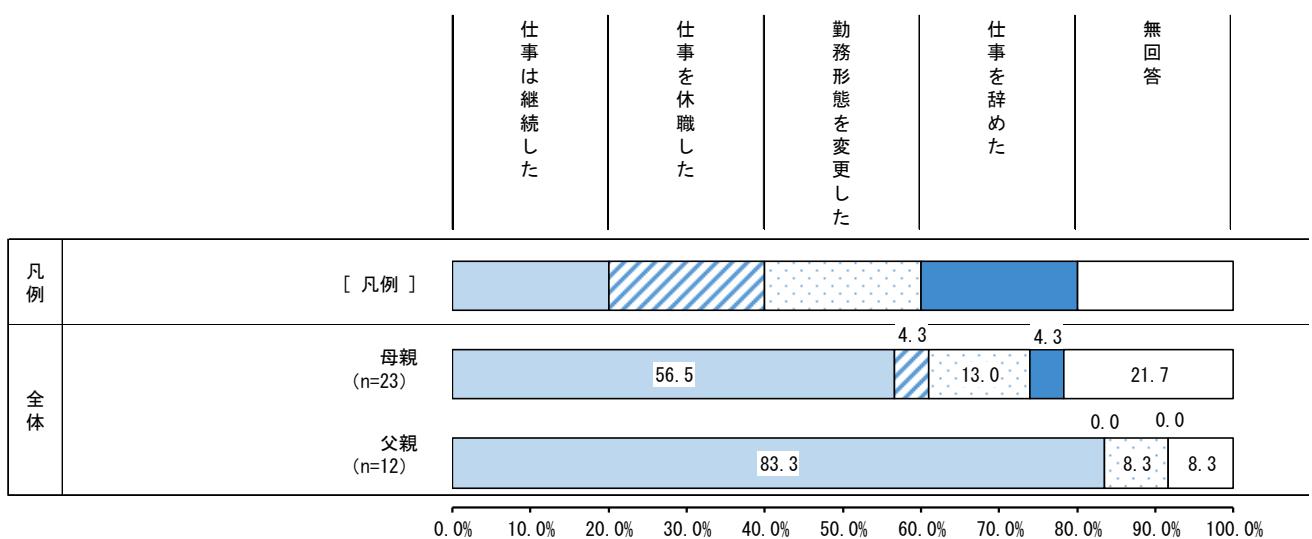


問47-13 仕事についてはどうしましたか。（問47-12で「1. 同時に行っている（いた）」を選んだ方）

【全体】

- 仕事について、母親、父親ともに「仕事は継続した」が最も多くなっています。次いで、母親は「勤務形態を変更した」が 13.0%、「仕事を休職した」「仕事を辞めた」が 4.3%となっているのに対し、父親は「勤務形態を変更した」が 8.3%となっています。

【仕事】

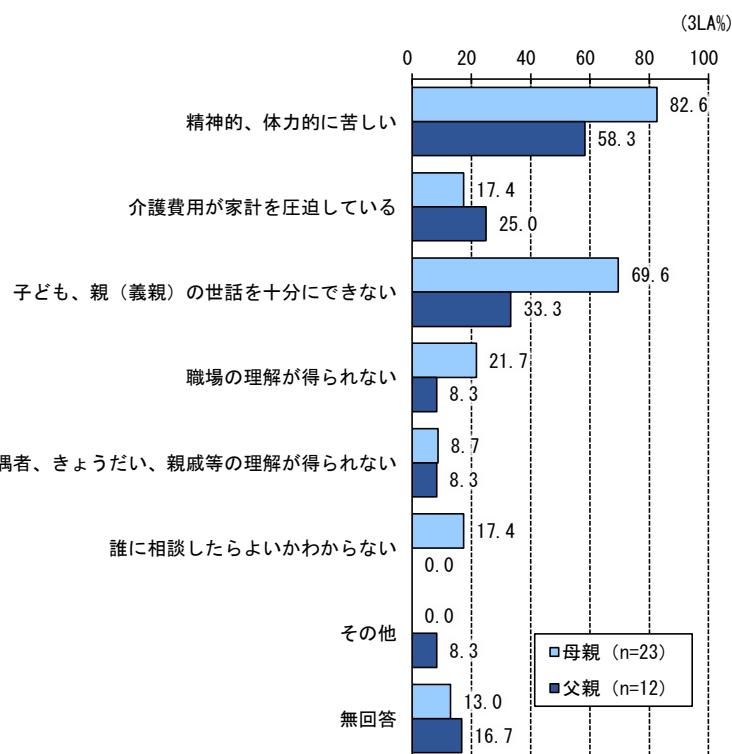


問47-14 大変だと感じていることがあればお答えください。（3LA）（問47-12で「1. 同時に行っている（いた）」を選んだ方）

【全体】

- 母親の大変だと感じていることについて、母親、父親ともに「精神的、体力的に苦しい」が最も多くなっています。次いで、母親は「子ども、親（義親）の世話を十分にできない」が 69.6%、「職場の理解が得られない」が 21.7%となっているのに対し、父親は「子ども、親（義親）の世話を十分にできない」が 33.3%、「介護費用が家計を圧迫している」が 25.0%となっています。

【大変だと感じていること（3LA）】



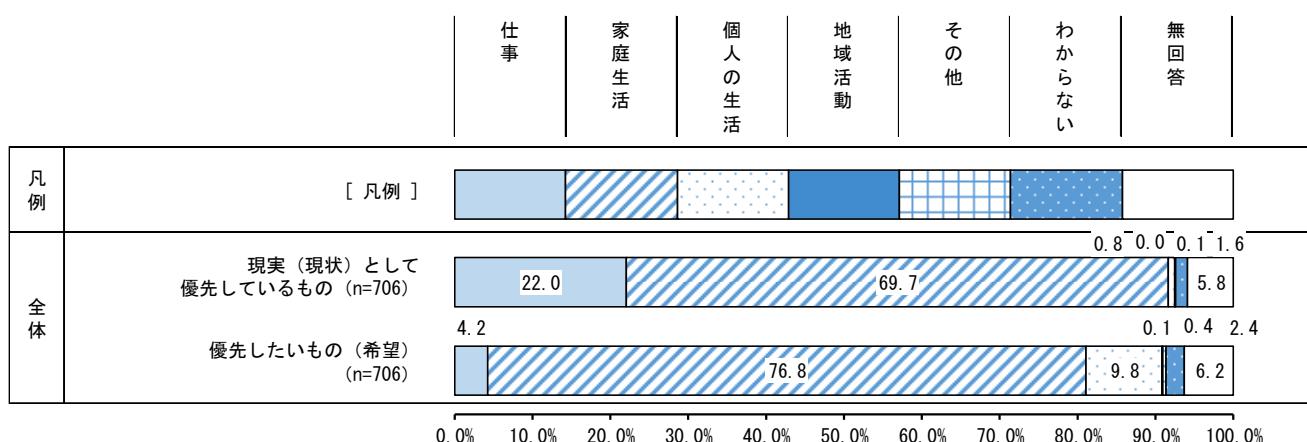
（5）生活の優先順位

問48 生活の中での優先度について、あなたの現実（現状）として優先しているものと、あなたが優先したいもの（希望）をそれぞれお答えください。

【全体】

- 優先度について、現実（現状）、希望ともに「家庭生活」が最も多くなっています。次いで、現実（現状）は「仕事」が 22.0%、「わからない」が 1.6%となっているのに対し、希望は「個人の生活」が 9.8%、「仕事」が 4.2%となっています。
- その他の内訳として、子どもの習い事や仕事と家事・育児の両立などの意見も挙がっています。

【優先度】

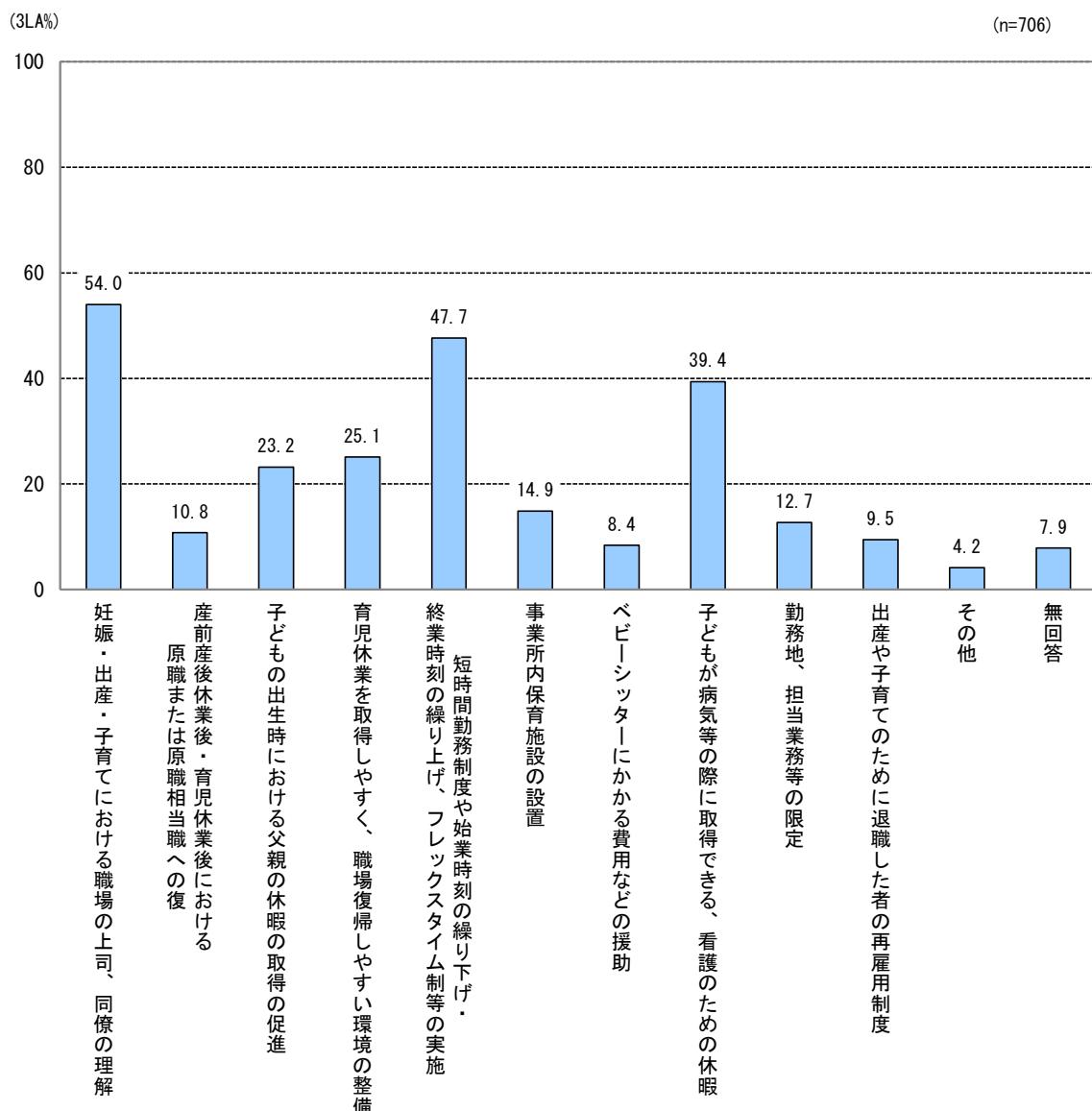


問49 仕事と子育てを両立するために、職場環境に求めることは何ですか。（3LA）

【全体】

- 仕事と子育てを両立するために職場環境に求めることについて、「妊娠・出産・子育てにおける職場の上司、同僚の理解」が54.0%で最も多く、次いで「短時間勤務制度や始業時刻の繰り下げ・終業時刻の繰り上げ、フレックスタイム制等の実施」が47.7%、「子どもが病気等の際に取得できる、看護のための休暇」が39.4%となっています。
- 休暇取得制度の改善（5件）、社内の理解と対応（4件）、在宅勤務（4件）、給与・手当の増額（3件）、代替人員（3件）、自営業（2件）、他の社員へのフォロー（2件）、金銭的補助（2件）となっています。また、配偶者の協力と理解、仕事量の削減、働くかなくても良い制度の意見も挙がっています。

【仕事と子育てを両立するために職場環境に求めること（3LA）】



12. 子育てのストレスについて

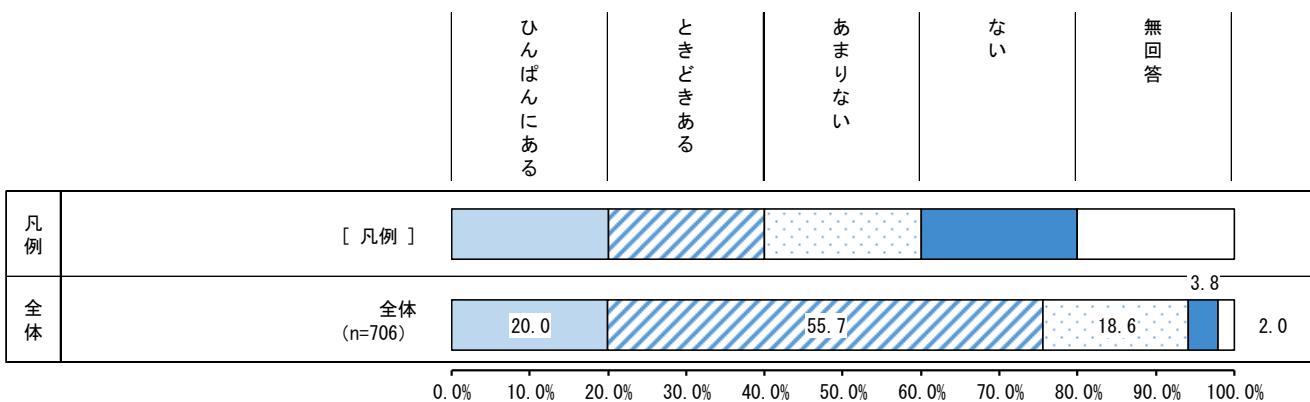
(1) 子育てへのストレス

問50 子育てにストレスを感じることがありますか。

【全体】

- 子育てにストレスを感じことがあるかについて、「ときどきある」が 55.7%で最も多く、次いで「ひんぱんにある」が 20.0%、「あまりない」が 18.6%となっています。
- 「ひんぱんにある」「ときどきある」を合わせた“ストレスを感じる人”は 75.7%となっています。

【子育てにストレスを感じることがあるか】

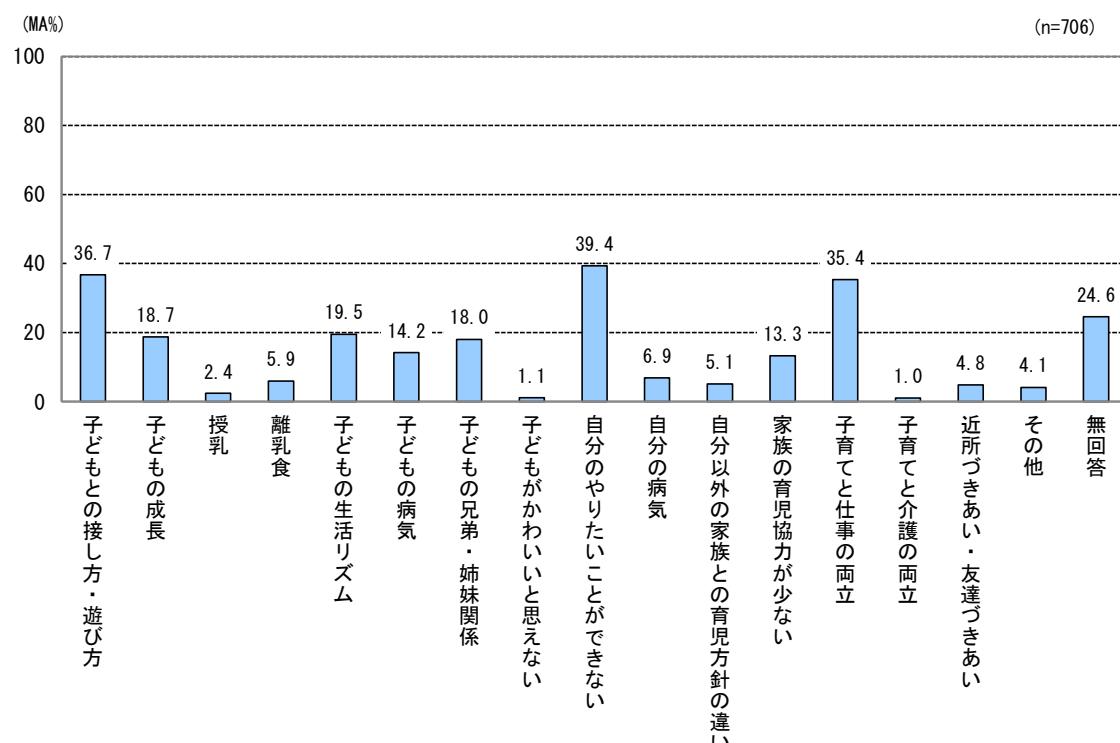


問50-1 ストレスを感じるときはどんなときや、どんなことですか。(MA)

【全体】

- どんなときや、どんなことについて、「自分のやりたいことができない」が 39.4%で最も多く、次いで「子どもとの接し方・遊び方」が 36.7%、「子育てと仕事の両立」が 35.4%となっています。
- その他の内訳として、イヤイヤ期・子供の機嫌（8件）、教育（3件）、配偶者・周囲（3件）、睡眠時間（3件）、子どもとのコミュニケーション（3件）、複数人の子育て（2件）、母親の心理状況（2件）、仕事との両立（2件）、家事に関すること（2件）、母親への責任の重さ（1件）となっています。

【どんなときや、どんなことか (MA)】



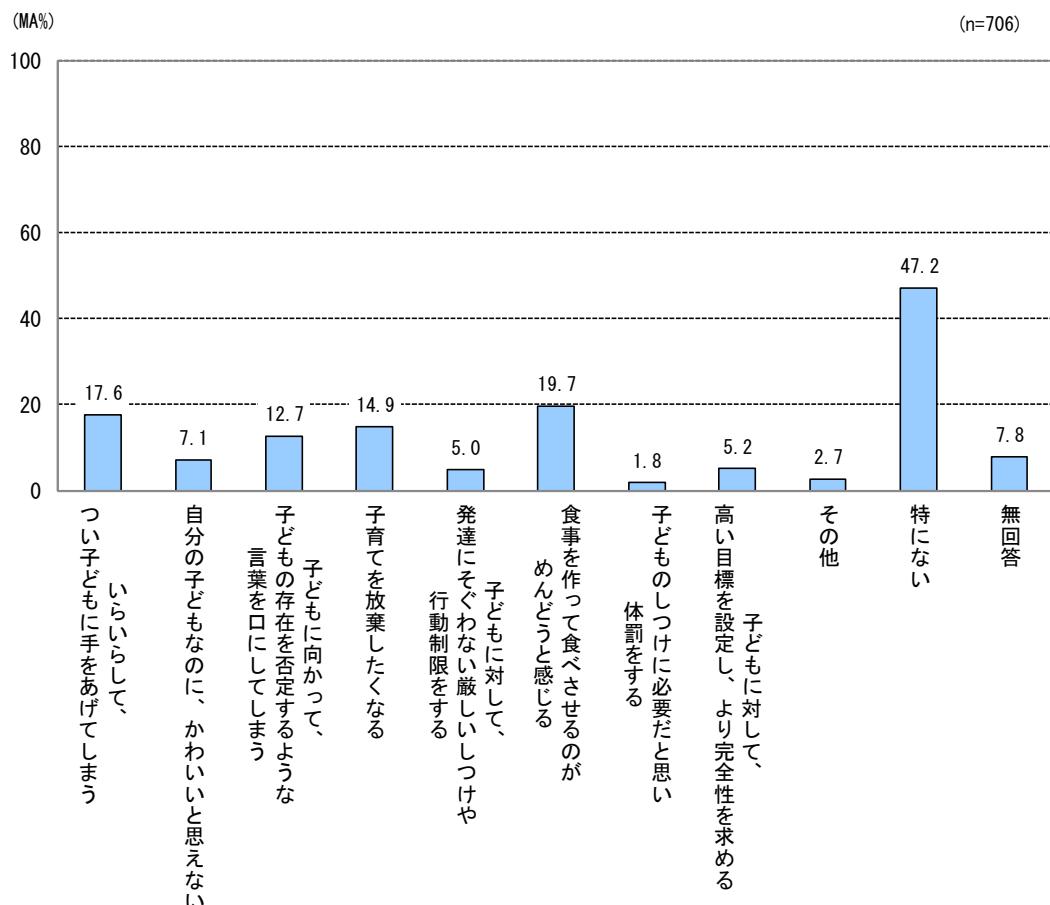
(2) 虐待や不安に感じること

問51 あなたを含め、家族の誰かが、次のようなことをしたことがありますか。 (MA)

【全体】

- あなたを含め、家族の誰かが、次のようなことをしたことがあるかについて、「特にない」が 47.2%で最も多く、次いで「食事を作つて食べさせるのがめんどうと感じる」が 19.7%、「いらいらして、つい子どもに手をあげてしまう」が 17.6%となっています。
- その他の内訳として、子どもに対して、きつい口調・声を荒げる・怒鳴る（11 件）、感情的になり、当たる・無視する（4 件）、感情的になり、当たる・無視する、がまんをさせてしまう（1 件）、子どもに寄り添えない（1 件）、夫婦間での口論（1 件）、ひとりの時間が欲しいと思う（1 件）となっています。

【あなたを含め、家族の誰かが、次のようなことをしたことがありますか (MA)】

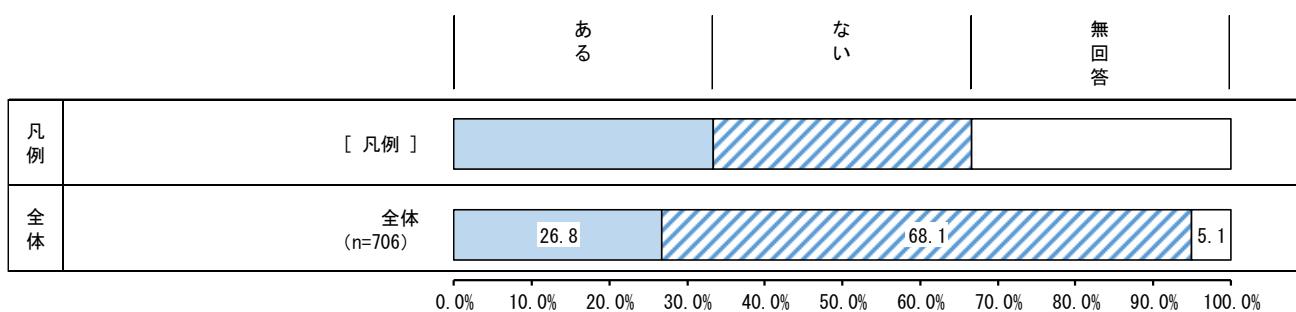


問52 あなた自身が、子どもの頃に保護者から問51のような行為を受けたことがありますか。

【全体】

- 子どもの頃に保護者から問 51 のような行為を受けたことがあるかについて、「ある」が 26.8%、「ない」が 68.1%となっています。

【子どもの頃に保護者から問 51 のような行為を受けたことがありますか】

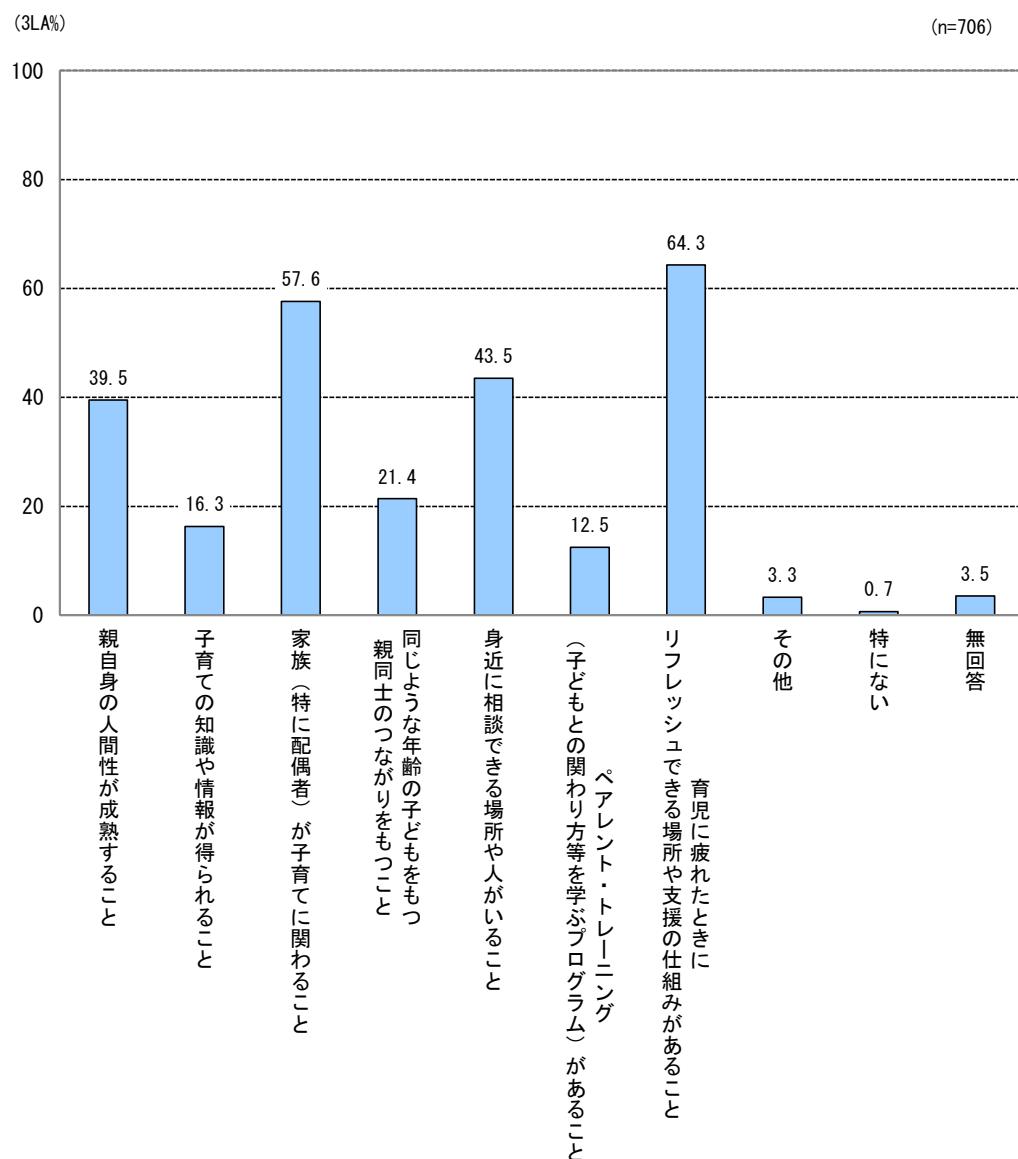


問53 子どもの虐待を防止するために、何が必要だと思いますか。（3LA）

【全体】

- 子どもの虐待を防止のために必要だと思うことについて、「育児に疲れたときにリフレッシュできる場所や支援の仕組みがあること」が 64.3%で最も多く、次いで「家族（特に配偶者）が子育てに関わること」が 57.6%、「身近に相談できる場所や人がいること」が 43.5%となっています。
- その他の内訳として、周囲・環境（13 件）、親について・支援（11 件）、サービスや勉強の場（6 件）、啓蒙・啓発（2 件）、子どもへの対応（1 件）となっています。

【子どもの虐待防止のために必要だと思うこと（3LA）】

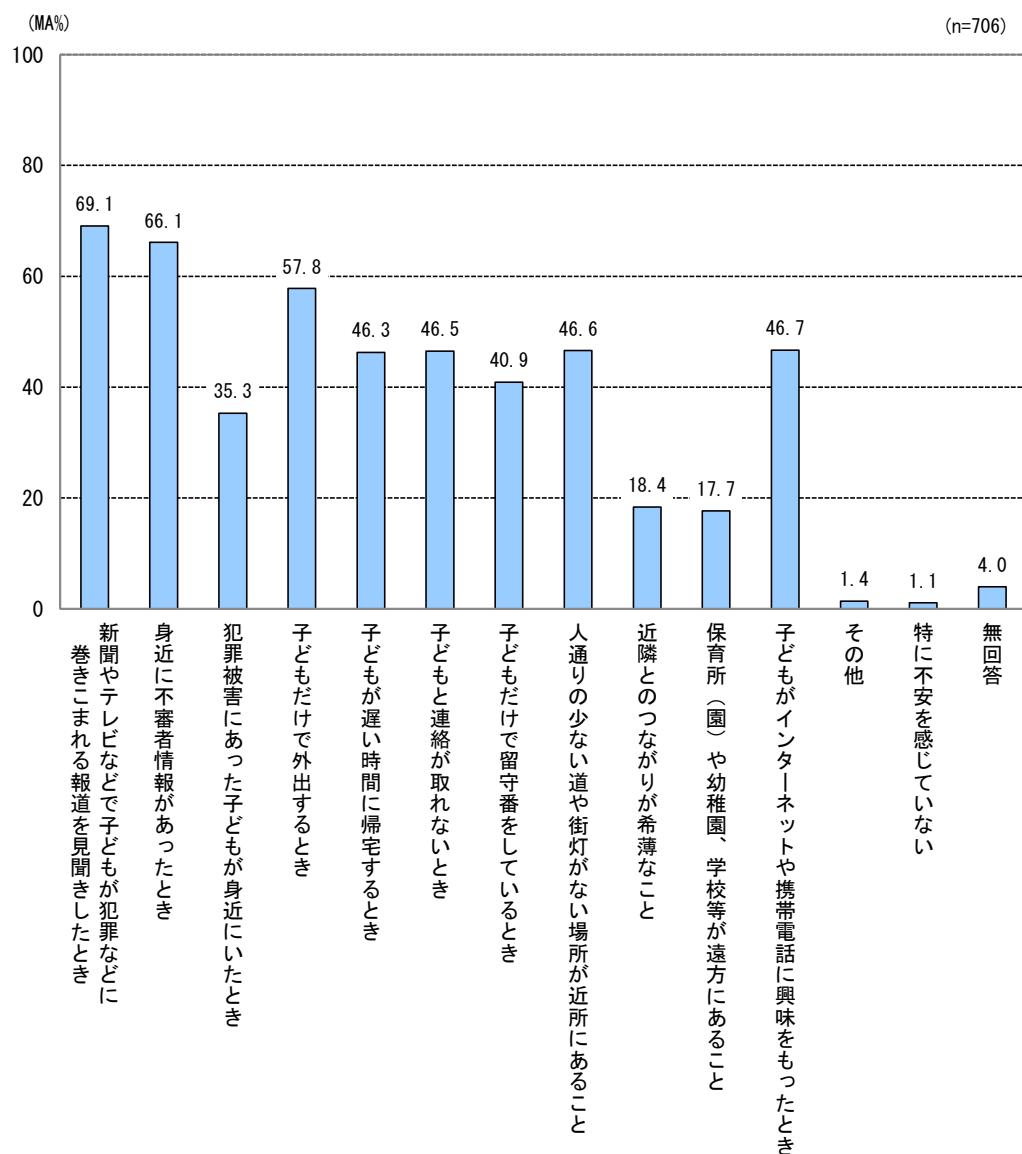


問54 あなたは、どのようなことで子どもの安心・安全がおびやかされるのではないかと不安に感じますか。 (MA)

【全体】

- 子どもの安心・安全がおびやかされるのではないかと不安に感じることについて、「新聞やテレビなどで子どもが犯罪などに巻きこまれる報道を見聞きしたとき」が 69.1%で最も多く、次いで「身近に不審者情報があったとき」が 66.1%、「子どもだけで外出するとき」が 57.8%となっています。
- その他の内訳として、災害・事故（4件）、メディア（2件）、いじめ（1件）、子どもの写真（1件）、交通安全（1件）となっています。

【子どもの安心・安全がおびやかされるのではないかと不安に感じること (MA)】



13. 子育て支援対策の全般について

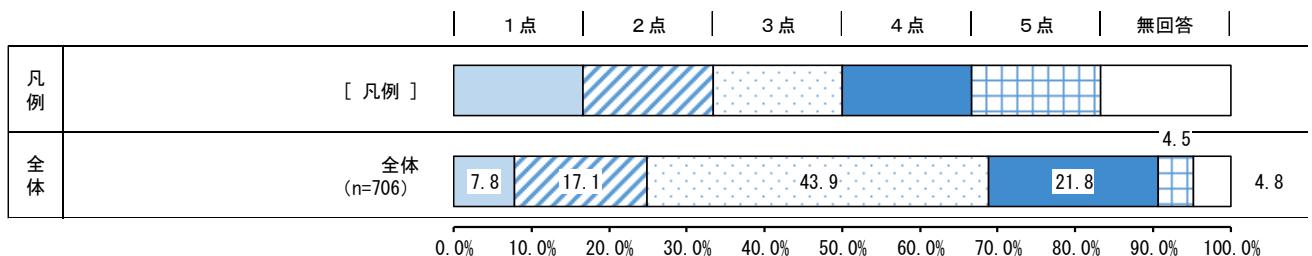
(1) 子育て支援

問55 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。

【全体】

- お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、「3点」が43.9%で最も多く、次いで「4点」が21.8%、「2点」が17.1%となっています。

【お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度】



問56 あなたにとって望ましい子育て支援施策は何ですか。（3LA）

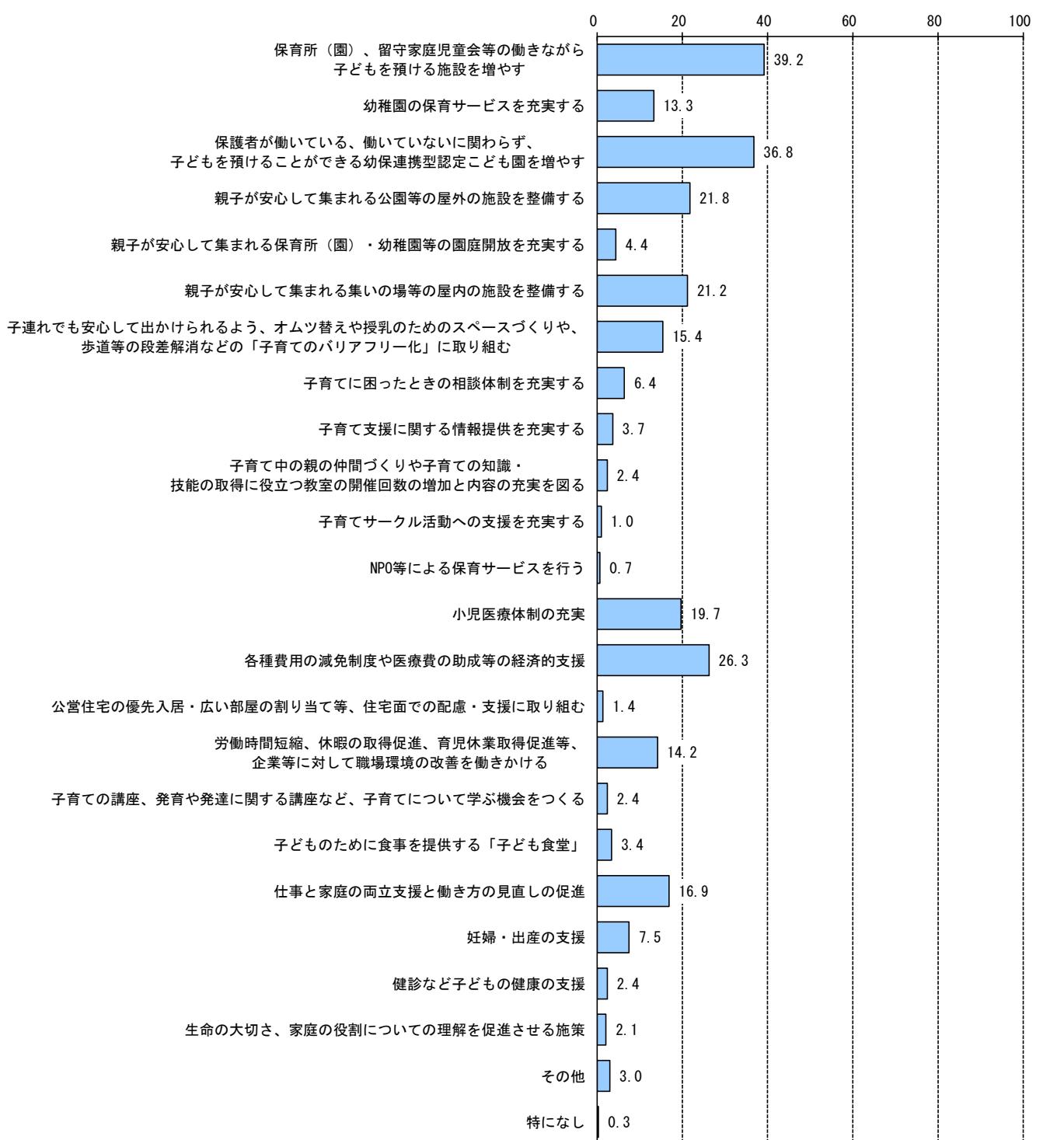
【全体】

- 望ましい子育て支援施策について、「保育所（園）、留守家庭児童会等の働きながら子どもを預ける施設を増やす」が39.2%で最も多く、次いで「保護者が働いている、働いていないに関わらず、子どもを預けることができる幼保連携型認定こども園を増やす」が36.8%、「各種費用の減免制度や医療費の助成等の経済的支援」が26.3%となっています。
- その他の内訳として、経済支援（5件）、施設・設備整備（4件）、企業・就労状況（2件）、保育環境の充実（2件）、教育環境（2件）、サービスなどの支援（2件）、地域委員の免除対象者の見直し（2件）となっています。また、安全・安心、療育、病院、給食の見直し、相談する環境などの意見も挙がっています。

【望ましい子育て支援施策（3LA）】

(n=706)

(3LA%)

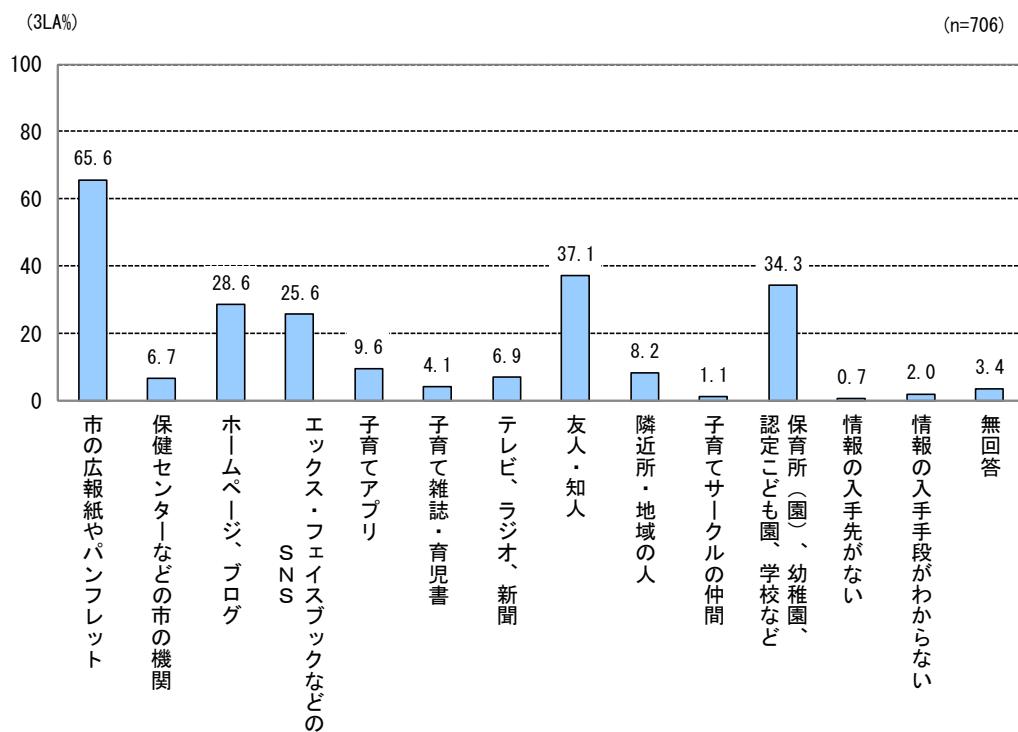


問57 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手していますか。（3LA）

【全体】

- 子育てに必要な施策などの情報の入手先について、「市の広報紙やパンフレット」が 65.6%で最も多く、次いで「友人・知人」が 37.1%、「保育所（園）、幼稚園、認定こども園、学校など」が 34.3%となっています。

【子育てに必要な施策などの情報の入手先（3LA）】

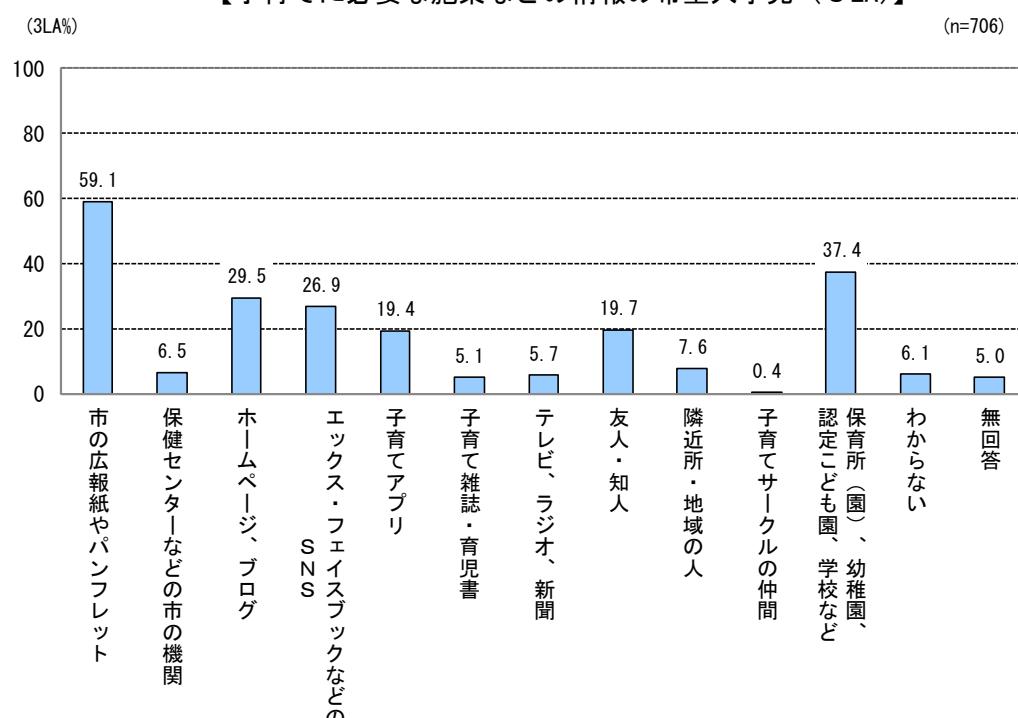


問58 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手したいですか。（3LA）

【全体】

- 子育てに必要な施策などの情報の入手先（希望）について、「市の広報紙やパンフレット」が 59.1%で最も多く、次いで「保育所（園）、幼稚園、認定こども園、学校など」が 37.4%、「ホームページ、ブログ」が 29.5%となっています。

【子育てに必要な施策などの情報の希望入手先（3LA）】



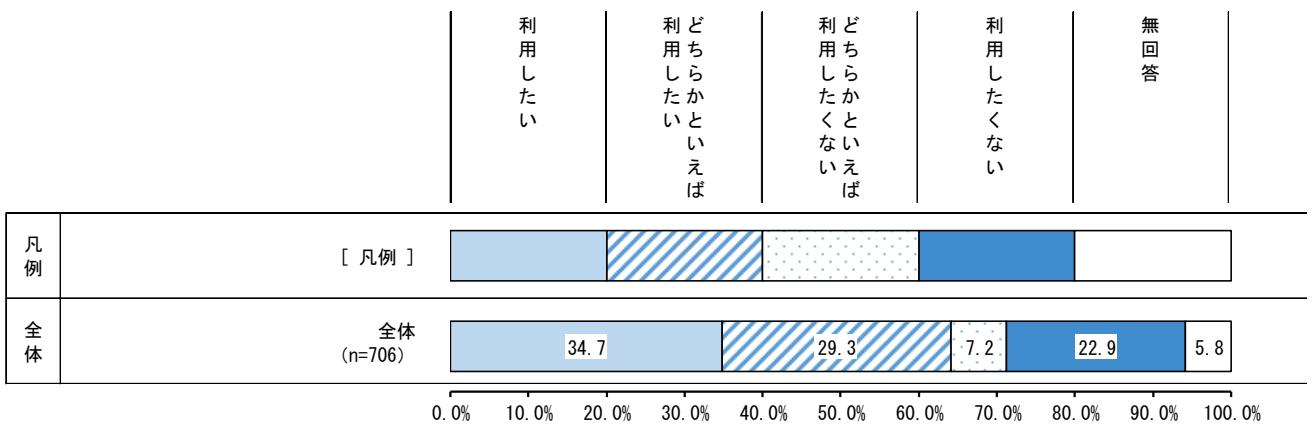
(2) 「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用希望

問59 令和8年度から始まる「こども誰でも通園制度（仮称）」を利用したいですか。

【全体】

- こども誰でも通園制度（仮称）の利用希望について、「利用したい」が34.7%で最も多く、次いで「どちらかといえば利用したい」が29.3%、「利用したくない」が22.9%となっています。

【こども誰でも通園制度（仮称）の利用希望】

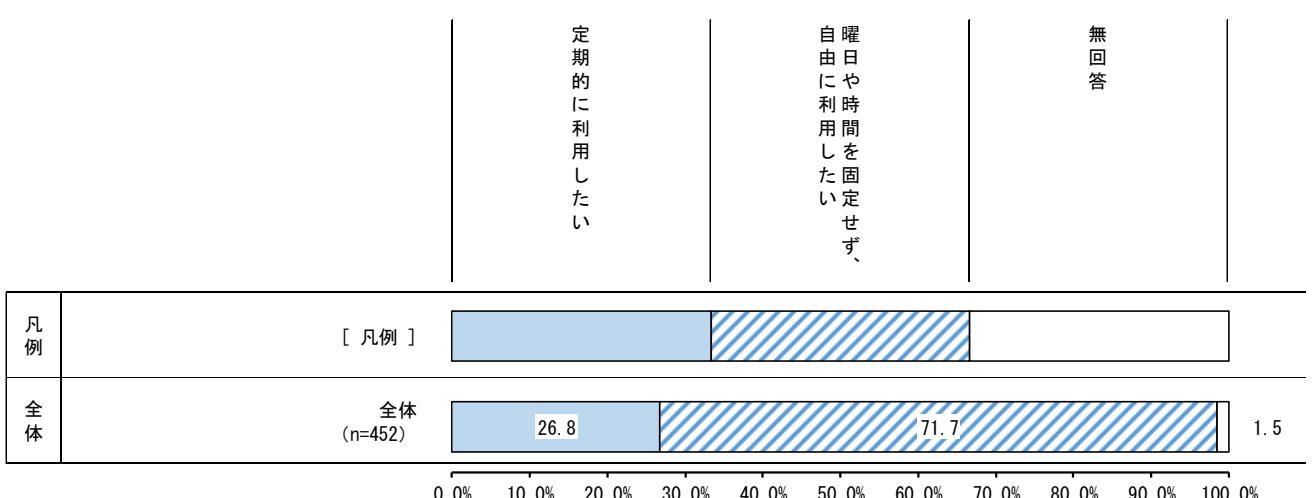


問59-1 「こども誰でも通園制度（仮称）」をどのように利用したいですか。（問59で「1. 利用したい」「2. どちらかといえば利用したい」を選んだ方）

【全体】

- こども誰でも通園制度（仮称）をどのように利用したいかについて、「定期的に利用したい」が26.8%、「曜日や時間を固定せず、自由に利用したい」が71.7%となっています。

【こども誰でも通園制度（仮称）をどのように利用したいか】

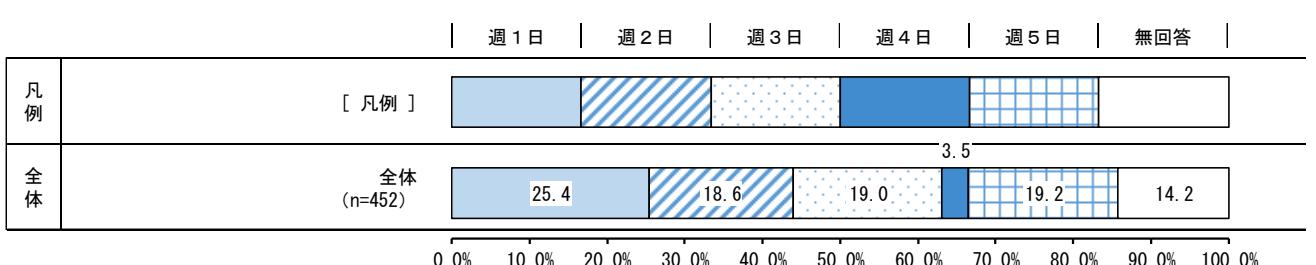


問59-2 (1) こども誰でも通園制度の利用希望日数をお答えください。（問59で「1. 利用したい」「2. どちらかといえば利用したい」を選んだ方）

【全体】

- こども誰でも通園制度の利用希望日数について、「週1日」が25.4%で最も多く、次いで「週5日」が19.2%、「週3日」が19.0%となっています。

【こども誰でも通園制度の利用希望日数】

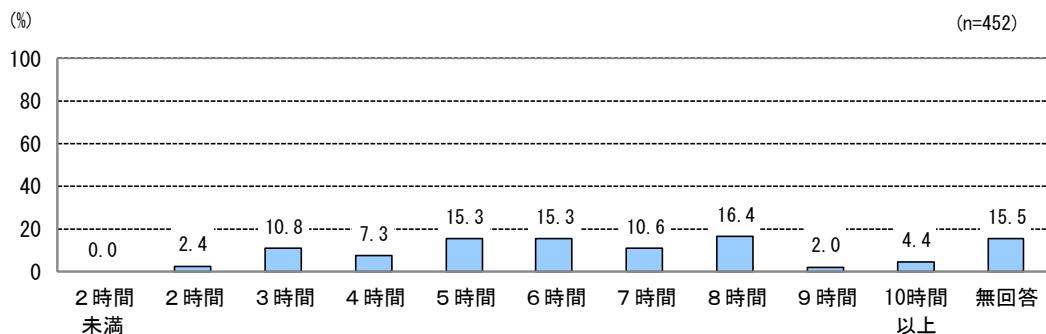


問59-2 (2) こども誰でも通園制度の1日あたりの利用希望時間をお答えください。(問59で「1. 利用したい」「2. どちらかといえば利用したい」を選んだ方)

【全体】

- こども誰でも通園制度の利用希望時間について、「8時間」が 16.4%で最も多く、次いで「5時間」「6時間」が 15.3%、「3時間」が 10.8%となっています。

【こども誰でも通園制度の利用希望時間】

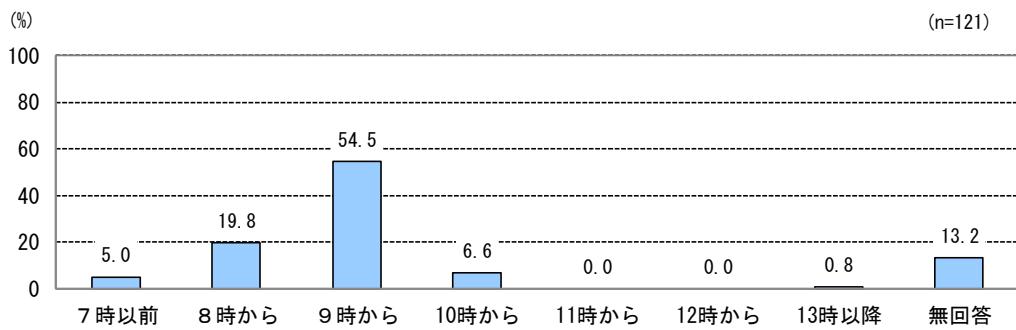


問59-3 (1) こども誰でも通園制度の希望開始時間帯をお答えください。(問59-1で「1. 定期的に利用したい」を選んだ方)

【全体】

- こども誰でも通園制度の希望開始時間帯について、「9時から」が 54.5%で最も多く、次いで「8時から」が 19.8%、「10時から」が 6.6%となっています。

【こども誰でも通園制度の希望開始時間帯】

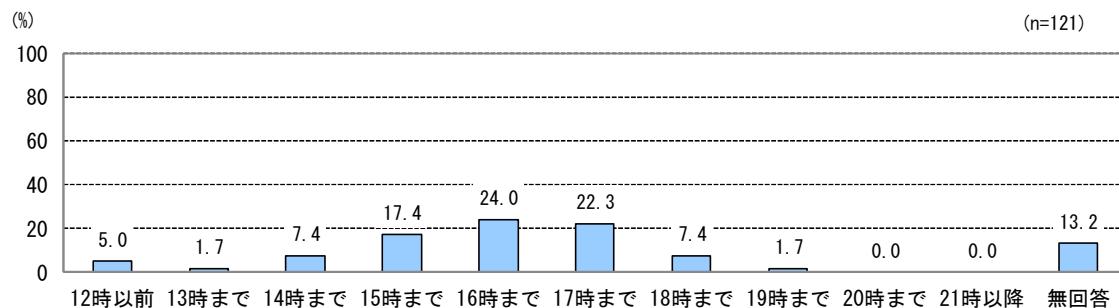


問59-3 (2) こども誰でも通園制度の希望終了時間帯をお答えください。(問59-1で「1. 定期的に利用したい」を選んだ方)

【全体】

- こども誰でも通園制度の希望終了時間帯について、「16時まで」が 24.0%で最も多く、次いで「17時まで」が 22.3%、「15時まで」が 17.4%となっています。

【こども誰でも通園制度の希望終了時間帯】

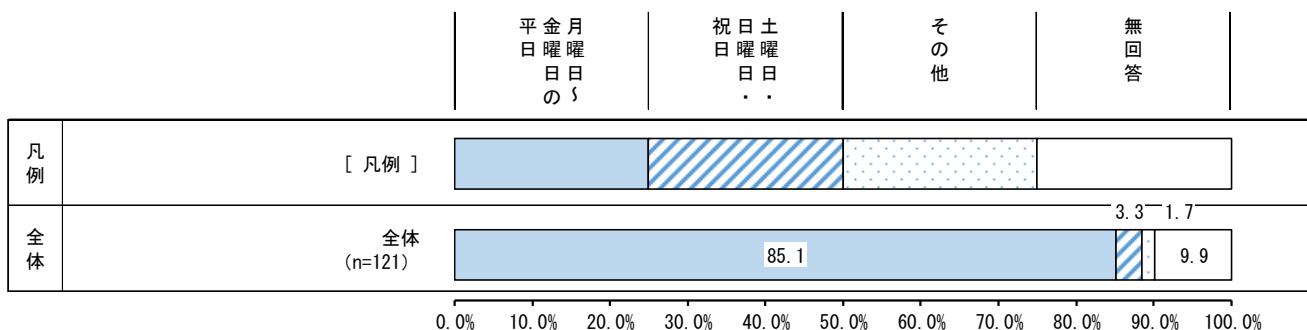


問59-4 「こども誰でも通園制度（仮称）」をどのように利用したいですか。（問59-1で「1. 定期的に利用したい」を選んだ方）

【全体】

- こども誰でも通園制度（仮称）を利用する日について、「月曜日～金曜日の平日」が 85.1%で最も多く、次いで「土曜日・日曜日・祝日」が 3.3%、「その他」が 1.7%となっています。

【こども誰でも通園制度（仮称）を利用する日】

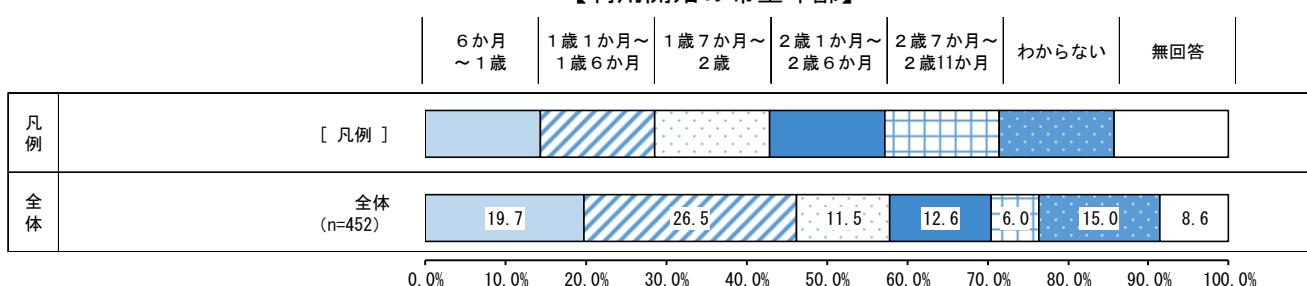


問59-5 お子さんが何歳くらいになったら利用開始したいですか。（問59で「1. 利用したい」「2. どちらかといえば利用したい」を選んだ方）

【全体】

- 利用開始の希望年齢について、「1歳1か月～1歳6か月」が 26.5%で最も多く、次いで「6か月～1歳」が 19.7%、「わからない」が 15.0%となっています。

【利用開始の希望年齢】

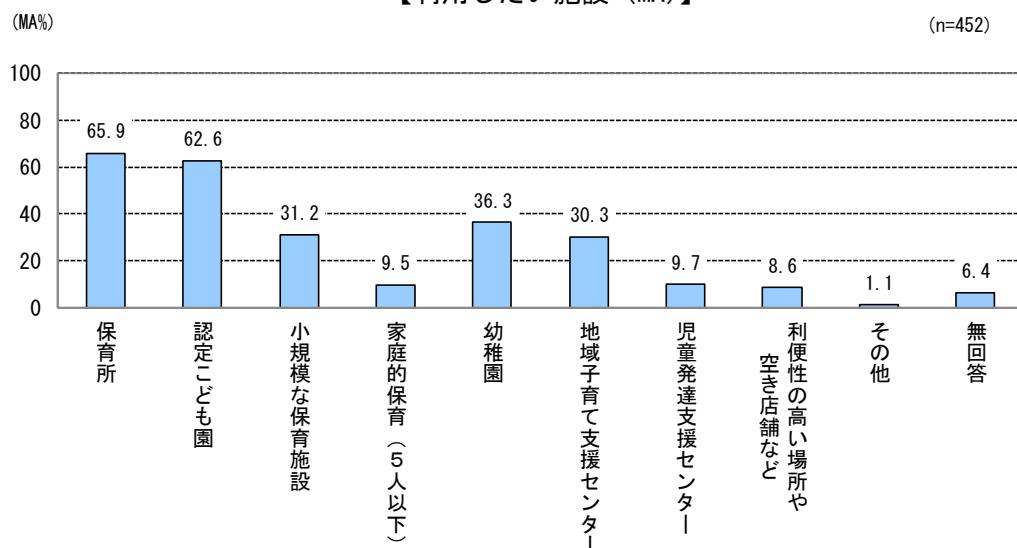


問59-6 どの施設で利用したいですか。（MA）（問59で「1. 利用したい」「2. どちらかといえば利用したい」を選んだ方）

【全体】

- 利用したい施設について、「保育所」が 65.9%で最も多く、次いで「認定こども園」が 62.6%、「幼稚園」が 36.3%となっています。
- その他の内訳として、きょうだいの通っている施設や自宅の近くなどの意見も挙がっています。

【利用したい施設（MA）】



問60 教育・保育環境の充実など、子育て支援全般について、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

【全体】

- 子育て支援全般のご意見の分類について、公園・施設・イベント（97件）、保育園・幼稚園（73件）、支援・補助（73件）、学童・児童会・児童館・一時預かり（53件）、市内環境（道路等）整備・防犯（43件）、教育環境（43件）、小学校（40件）、アンケートについて（32件）、待機児童・きょうだいの同施設入園・途中入園（25件）、給食・宅配弁当について（15件）、保育・教育・その他減額・無償化（15件）、医療・病院・病児保育（14件）、療育・放課後デイ等・発達支援（12件）、就業・企業（12件）、市職員の対応（9件）、保育や教育に関わる人の処遇改善（7件）、子育て支援（6件）、子育て支援（6件）、申請の簡略化（6件）、情報収集・情報発信・広報（3件）となっています。
- その他に、子育てをするための社会の在り方、障がいのある子どもやグレーゾーンの子どもへの対応、PTAの廃止、地域とのつながり、親の学びの場、いじめに対する取組、相談（窓口など）の開始時刻、多胎児への対応、相談の場、地域格差、通学バス、保育士の学びの場、病気になった際の対応や支援、グレーゾーンの子どもがいる親の相談の場などの意見も挙がっています。

III 調査結果からの分析

1. ご家族の生活状況について

生活の状況について、多くの家庭が普通と感じているものの、約3割の家庭は苦しい（「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた割合）と回答がありました。

悩みや不安を感じていることについては、「仕事と子育ての両立が困難である」が最も多く、次いで「子どもの教育（進学）やしつけのことで困っている」となっています。

このような状況で、必要とされている支援は「保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供」が最も多く、次いで「生活や就学のための経済的補助」や「子どもが仲間と出会え、一緒に活動できるところ」が求められています。

2. お子さんの育ちをめぐる状況について

約3割の子どもが日常的に保育所（園）に通っていますが、24.5%はどこにも通っていません。また、子育てに最も影響を与える環境は家庭と考えられており、保育所（園）や地域も重要とされています。

緊急時には祖父母に子どもを見てもらえる家庭が多いものの、親としては負担をかけていることに心苦しさを感じている人もいます。

子育て自体を楽しんでいる親が多い一方で、教育や将来の教育費、しつけ、食事や栄養、病気や発育・発達など様々な悩みをもち、不安に感じています。

相談相手がいる人と答えた人が多く、特に配偶者や祖父母等の親族、友人が頼りにされていますが、地域との交流は薄く、地域の催しへの参加も少ないです。休日や夜間の急な発病時には、応急診療所や救急外来が主な対応先となっています。

子育てで重視する点について、家族のふれあいや子どもの個性を伸ばすこと、子どもの自主性を尊重することが多く挙がっています。

3. お子さんの保護者の就労状況について

現在、就学前児童を持つ母親と父親の多くが働いていますが、母親の一部は以前就労していたものの現在は働いていない人が約3割います。就労日数は週5日が最も多く、就労時間は8時間が一般的です。

母親、父親ともに出勤時刻は7時から8時が多くなっていますが、理想的な出勤時刻は8時から9時となっています。また、帰宅時刻は母親が18時から19時、父親が19時から20時が最も多くなっている一方、理想の帰宅時間は母親が17時から18時、父親が18時から19時が多く、出勤時刻、帰宅時刻ともに1時間の差が生じています。

母親はパートタイムで働き続けることを望んでいる人もいますが、一部はフルタイムへの転換を希望しながらも実現の見込みがないと感じています。母親の多くは、子どもが4歳や7歳になる頃に働き始める望んでいますが、父親に有効な回答はありませんでした。母親の就労希望形態はパートタイムが大半を占め、就労日数は週3日、就労時間は4時間を希望する人が多いです。

4. お子さんの平日の定期的な教育・保育の利用状況

全体の約7割が定期的な教育・保育を利用しており、主に認可保育所（園）や認定こども園が利用されています。利用開始年齢については、特に0歳からの利用が小規模な保育施設で68.8%を占め、年齢が上がるにつれて公立幼稚園や私立幼稚園の利用が増加する傾向がみられます。

利用日数に関しては、週5日の利用が92.4%で最も多く、利用時間帯では9時からの利用が41.2%で最も多いことがわかります。また、利用終了時間帯については14時までが22.9%で最も多く、次いで、16時までが22.5%、18時までが20.2%となっています。利用希望日数や時間は、週5日、8時間が多くなっています。

利用理由としては、「保護者が現在就労している」や「子どもの教育や発達のため」が主な要因であり、特に京田辺市内での利用が86.3%と多くなっています。また、利用したいと考える教育・保育施設としては、認可保育所（園）や認定こども園が多く挙げられ、特に3歳児を対象とするニーズが顕著です。

また、保育所（園）・幼稚園・認定こども園に期待する付加的なサービスやメリットとして、「社会的なあいさつやマナーの指導」、「小学校教育へスムーズにつながるカリキュラムの充実」、そして「給食の提供」が特に重要視されています。

5. お子さんの長期休暇中の定期的な教育・保育の利用希望について

土曜日の定期的な教育・保育については、全体の約6割が「利用する必要はない」と回答し、利用希望が低いことがわかります。日曜日・祝日も、「利用する必要はない」が約7割と多くなっています。一方で、長期休暇期間中においては、「休みの期間中、週に数日利用したい」が49.3%と最も多く、一定の利用需要があります。

また、定期的な利用を希望する理由としては、「毎週仕事があるため」が80.8%で最も多く、家庭との両立を図るために必要性が示されています。一方で、たまに利用したい理由には、「月に数回仕事があるため」が50.7%で主流であり、平日に済ませられない用事をまとめて済ませるためやリフレッシュのために利用する意向も多くみられます。

6. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

地域子育て支援拠点事業において、全体の約8割が「利用していない」状況です。その理由は「利用する必要がなかった」が最も多く、次いで「開いている時間帯が利用しづらい」「特に理由はない」が続きました。また、利用を増やしたいと考える割合も低く、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が56.1%となっています。1週間あたりの利用回数では「週1回」が最も多く、次いで「週2回」「週3回」が続いています。さらに、他の類似事業に対する利用意向も低く、今後の利用希望に関しても積極的な意欲を示す人が少なくなっています。

京田辺市が実施している事業において、認知、利用、利用希望に関する課題が明確になっています。まず、認知度については、「子育ての総合相談窓口（はぐはぐ）」や「児童館・地域子育て支援センターの活動」が多くなっている一方、「家庭児童相談室等の情報・相談事業」や「教育相談センター・教育相談室」の認知度は低い傾向にあります。また、事業の利用については、「児童館・地域子育て支援センターの活動」が多くなっている一方、「家庭児童相談室等の情報・相談事業」や「教育相談センター・教育相談室」などの利用が少ない傾向にあります。利用希望については、「児童館・地域子育て支援センターの活動」が52.3%と多く、他の区分よりも多くの人が利用を希望しています。

7. お子さんの病気の際の対応について

病気やケガで幼稚園や保育所（園）を休むとき、母親が仕事を休むケースが最も多いです。母親が休んだ日数は「6～10日」が、父親が休んだ日数は「2～3日」が最も多くなっています。

また、多くの親は病児・病後児保育事業を利用することに消極的ですが、利用希望がある中では病院や幼稚園、保育所（園）に併設された施設を特に望んでいます。

仕事を休んで子どもの看病を希望する親も多いですが、仕事の忙しさや休暇日数の不足がその妨げとなっており、病児・病後児を他人に預けることに不安を感じる親も多いのが特徴です。

8. お子さんの不定期の教育・保育利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

保護者の用事で不定期に事業を利用している人は少なく、利用する場合は幼稚園の預かり保育が最も多くなっています。利用しない理由として「特に利用する必要がない」が多く、利用したい場合は私用やリフレッシュ目的が多くなっています。

保護者が泊りがけで不在にする際は、親族や知人にみてもらうことが多くなっている一方、預け先が見つからず子どもを同行させる人も一定数います。親族や知人へ頼みやすいと感じる人が半数を超えてであることから、宿泊保育（こどもショートステイ）の利用希望が少なくなっていることが推測されます。

9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

放課後の過ごし場所として最も多いものは自宅であり、特に低学年と高学年の両方で「週5日」が最も多くなっています。低学年では留守家庭児童会の利用が多く、高学年になると習い事への参加が増えています。

留守家庭児童会の利用終了時間については、低学年、高学年ともに「18時まで」が最も多くなっています。また、放課後以外の留守家庭児童会の利用希望においては、「必要はない」という回答が顕著であり、特に日曜日・祝日の利用に関しては「必要はない」が80.7%に達しています。

10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

母親の育児休業取得率は多く、育児に専念するために退職している場合もあります。一方、父親の取得率は少なくなっています。その理由として主に配偶者のサポートや職場の忙しさを挙げていますが、36.0%の人が育児休業を取りにくい雰囲気があったと回答しています。

育児休業から職場復帰する際に、多くの母親は年度始めの保育所（園）入所に合わせていますが、父親は少なくなっています。また、希望より早く復帰する母親は保育所（園）の確保が主な理由であり、父親は経済的理由が大きくなっています。さらに、短時間勤務制度の利用は母親が多いものの、父親は約3割が利用できなかったと回答しています。利用できなかった理由は、母親、父親いずれも、職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったと回答しています。

満1歳までの育児休業給付の認知度は94.0%、満3歳までの保険料免除制度の認知度は63.0%と、それぞれ高くなっています。

仕事と子育ての両立に関して、大変だと感じていることは、約5割が自分や子どもが病気・ケガをした時に世話をする人がいない、子どもと接する時間が少ない、と回答しています。仕事と子育ての両立が難しく、特に病気やケガの際のサポートが不足していることもうかがえます。

介護と子育てを同時に行うことも一部の親にとって負担となっており、母親と父親の双方が「精神的、体力的に苦しい」と感じています。また、仕事と家庭生活の両立を希望する親が多く、現状では「家庭生活」を優先したいと考える親が大多数です。職場環境の改善策としては、妊娠・出産・子育てにおける職場の理解や、短時間勤務制度、フレックスタイム制などの柔軟な働き方、そして子どもの病気の際に取得できる看護休暇が求められています。

11. 子育てのストレスについて

子育てにストレスを感じている保護者も多く、その原因は自分のやりたいことができないことや、子どもとの接し方・遊び方、仕事との両立などが挙げられます。また、いらいらして子どもに手をあげてしまうことや、食事を作って食べさせるのがめんどうに感じることがあるということも一部あり、保護者自身が子どもの頃に虐待を経験したことがある人も一定数存在します。

虐待防止のためにはリフレッシュできる場所や支援の仕組み、家族が子育てに関わること、身近に相談できる場所や人がいることが重要とされています。さらに、犯罪報道や不審者情報、子どもだけでの外出に不安を感じる保護者も多いです。

12. 子育て支援対策の全般について

地域の子育て環境や支援に対して満足度は5点中3点と回答した割合が43.8%、次いで4点が21.8%、2点が17.1%となりました。

望ましい子育て支援施策としては、保育所（園）やこども園などの施設の増設や、各種費用の減免制度の充実を求めています。

情報の入手先としては、市の広報紙やパンフレットが65.6%と最も多く、次いで友人・知人、保育所（園）、幼稚園、認定こども園、学校などが続きます。ホームページ、ブログは28.6%、SNSは25.6%と少なくなっていました。情報の入手希望についても、市の広報紙やパンフレットが最も多く、ホームページやSNSは3割弱となっていました。今後は、ホームページのみやすきや、SNSでの情報発信頻度の課題があると推測されます。

多くの保護者は、自由な曜日や時間で利用できる「こども誰でも通園制度」を希望し、その利用開始は1歳前後が理想とされています。また、利用したい施設は保育所が最も多く、次いで認定こども園が希望されています。